

千葉市立弥生小学校エレベータ設置工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	図面リスト	—	A-26	外部仮設計画図（参考図）	(A-1)1:400 (A-3)1:800	EV-01	昇降機設備図（1）	—
A-01	案内図・配置図	(A-1)1:400 (A-3)1:800	A-27	内部仮設計画図1（参考図）	(A-1)1:200 (A-3)1:400	EV-02	昇降機設備図（2）（参考図）	(A-1)1:20 (A-3)1:40
A-02	計画概要・面積表	(A-1)1:500 (A-3)1:1000	A-28	内部仮設計画図2（参考図）	(A-1)1:200 (A-3)1:400	EV-03	昇降機設備図（3）（参考図）	(A-1)1:40 (A-3)1:80
A-03	敷地求積図	(A-1)1:200, 250, 500 (A-3)1:400, 500, 1000	A-29	消火器位置図 1	(A-1)1:200 (A-3)1:400	EV-04	昇降機設備図（4）（参考図）	(A-1)1:20 (A-3)1:40
A-04	増築部 求積図・面積表	(A-1)1:50 (A-3)1:100	A-30	消火器位置図 2	(A-1)1:200 (A-3)1:400	EV-05	昇降機設備図（5）（参考図）	(A-1)1:4 (A-3)1:8
A-05	仕上表	—				EV-06	昇降機設備図（6）（参考図）	(A-1)1:10 (A-3)1:20
A-06	エレベータ設置 1, 2階平面図	(A-1)1:200 (A-3)1:400	S-01	構造設計標準仕様書	—	EV-07	昇降機設備図（7）（参考図）	(A-1)1:4 (A-3)1:8
A-07	エレベータ設置 3, 4階平面図	(A-1)1:200 (A-3)1:400	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	—			
A-08	エレベータ設置 R階平面図・エレベータ棟屋根伏図	(A-1)1:50, 1:200 (A-3)1:100, 1:400	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	—	M-01	機械設備 1階平面図（撤去・改修）	(A-1)1:100 (A-3)1:200
A-09	既存 立面図	(A-1)1:100 (A-3)1:200	S-04	鉄骨構造標準図（1）	—			
A-10	エレベータ設置 立面図	(A-1)1:100 (A-3)1:200	S-05	Q.Lデッキスラブ施工標準図（参考図）	—	E-01	案内図・配置図	(A-1)1:400 (A-3)1:800
A-11	既存 平面詳細図・天井伏図	(A-1)1:30 (A-3)1:60	S-06	ベースバック柱脚工法 標準図（参考図）	—	E-02	受変電設備改修図	(A-1)1:50 (A-3)1:100
A-12	エレベータ設置 平面詳細図 1	(A-1)1:30 (A-3)1:60	S-07	伏図・軸組図・リスト	(A-1)1:100 (A-3)1:200	E-03	外構幹線設備改修図	(A-1)1:200 (A-3)1:400
A-13	エレベータ設置 平面詳細図 2・天井伏図・庇改修詳細図	(A-1)1:30 (A-3)1:60	S-08	鉄骨詳細図	(A-1)1:40 (A-3)1:80	E-04	幹線設備改修詳細図	(A-1)1:30 (A-3)1:60
A-14	既存 矩計図	(A-1)1:30 (A-3)1:60				E-05	1階電灯設備改修図	(A-1)1:100 (A-3)1:200
A-15	エレベータ設置 矩計図	(A-1)1:15, 30 (A-3)1:30, 60				E-06	1～4階電灯コンセント設備改修詳細図	(A-1)1:30 (A-3)1:60
A-16	既存・エレベータ設置 展開図	(A-1)1:50 (A-3)1:100				E-07	1階弱電設備改修図	(A-1)1:100 (A-3)1:200
A-17	段差解消改修詳細図 1	(A-1)1:30, 1:50 (A-3)1:60, 1:100				E-08	1階弱電設備改修詳細図	(A-1)1:30 (A-3)1:60
A-18	段差解消改修詳細図 2 外構改修図	図示				E-09	1階自動火災報知設備改修図	(A-1)1:100 (A-3)1:200
A-19	建具キープラン 1	(A-1)1:200 (A-3)1:400				E-10	4階自動火災報知設備改修詳細図	(A-1)1:30 (A-3)1:60
A-20	建具キープラン 2	(A-1)1:200 (A-3)1:400						
A-21	代替進入口姿図	(A-1)1:50 (A-3)1:100						
A-22	建具表 1	(A-1)1:50 (A-3)1:100						
A-23	建具表 2	(A-1)1:50 (A-3)1:100						
A-24	雑詳細図 1	図示						
A-25	雑詳細図 2	(A-1)1:30 (A-3)1:60						



----- 雨水排水經路（埋設管）



Ⅰ：エレベータ設置

- ・エレベータ設置工事
- ・上記に伴う設備工事

Ⅱ：バリアフリー対策

- ・昇降口 段差改修工事
- ・敷地内通路 段差改修工事
- ・コンピュータ室 段差改修工事

Ⅲ：その他工事

- ・代替出入口に係る既存サッシ改修工事
- ・既存倉庫等の移設及び撤去新設
- ・既存倉庫の基礎緊結（２か所）
- ・延焼の恐れのある範囲に係る既存サッシ改修工事

- ・KBMは校舎棟1FL=6L+400とする
- ・校舎棟周囲地盤面は高低差なし（設計 ± 0 =平均6L）
- ・受水槽ポンプ室は主要構造部が不燃材料であり校舎に面する部分に開口部はない
よって、延焼の恐れのある範囲は生じない

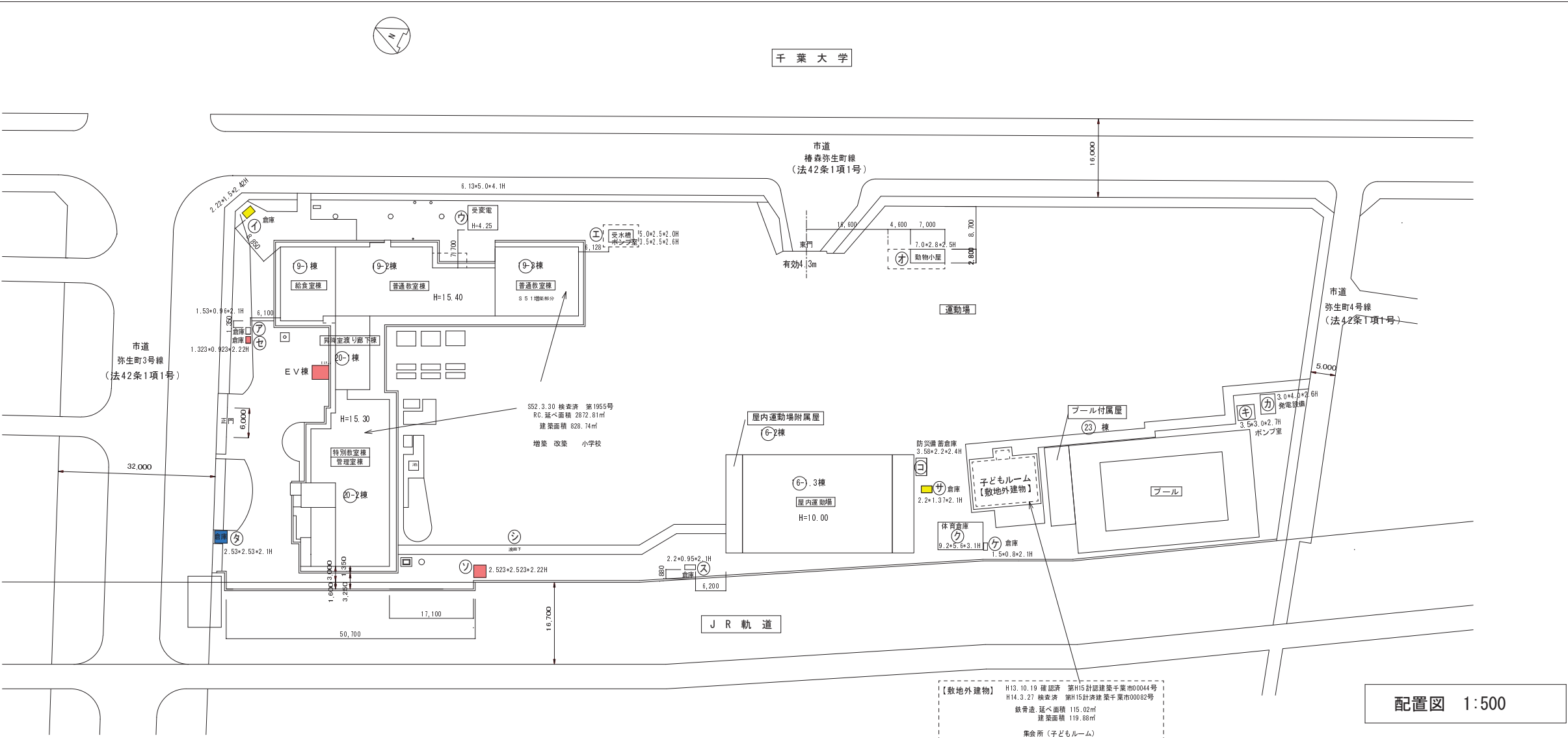
千葉市都市局建築部営繕課

工事名	千葉市立弥生小学校エレベータ設置工事
-----	--------------------

設計年月日		令和 7 年 10 月 日	設計年月日		令和 年 月 日	設計年月日		令和 年 月 日
特記事項			特記事項			特記事項		

案内図・配置図

縮 尺	A1	1:400	図 面 番 号	A-01
	A3	1:800		



計 画 概 要	
申 請 場 所	千葉市稲毛区弥生町3-18
敷 地 面 積	16,790.07 ㎡
地域・地区・区域 その他	・ 第一種住居地域 ・ 第一種高度地区 (20m)
	・ 法第22条指定区域 ・ 防火指定無し
	・ 容積率 200% ・ 建蔽率 60% (角地緩和 70%)
	・ 宅地造成工事等規制区域
建 物 用 途	小学校 (申請部分：エレベーター、倉庫)
構 造 ・ 規 模	既存部分 (校舎棟)：鉄筋コンクリート造 4 階建 (耐火建築物) 申請部分 (エレベーター棟)：鉄骨造 4 階建 (耐火建築物) 申請部分 (倉庫)：鉄骨造 1 階建 (その他)

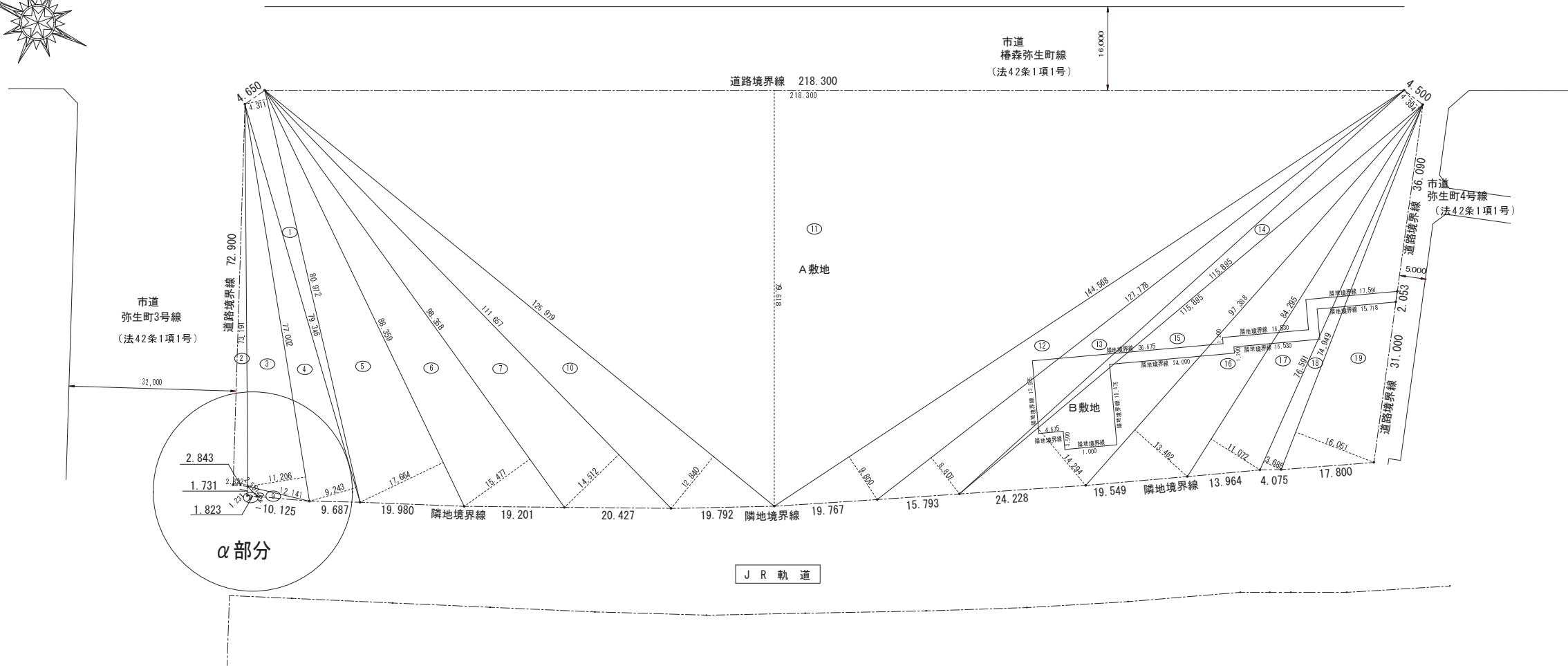
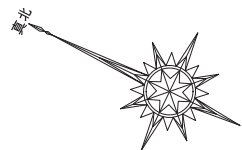
	既存部分	計画部分	合 計	
建築面積	2,381.84 + 274.03	9.24 + 13.98	2,679.09 ㎡	建蔽率 15.96%
	2,655.87	23.22		
延べ面積	5,800.35 + 151.13	49.44 + 13.98	6,014.90 ㎡	—
	5,951.48	63.42		
容積対象床面積	5,800.35 + 151.13	18.92 + 13.98	5,984.38 ㎡	容積率 35.65%
	5,951.48	32.90		
建築面積	2,391.08 + 288.01 = 2,679.09 ㎡		建蔽率	15.96%
延べ面積	5,849.79 + 165.11 = 6,014.90 ㎡		—	—
容積対象床面積	5,819.27 + 165.11 = 5,984.38 ㎡		容積率	35.65%

凡 例

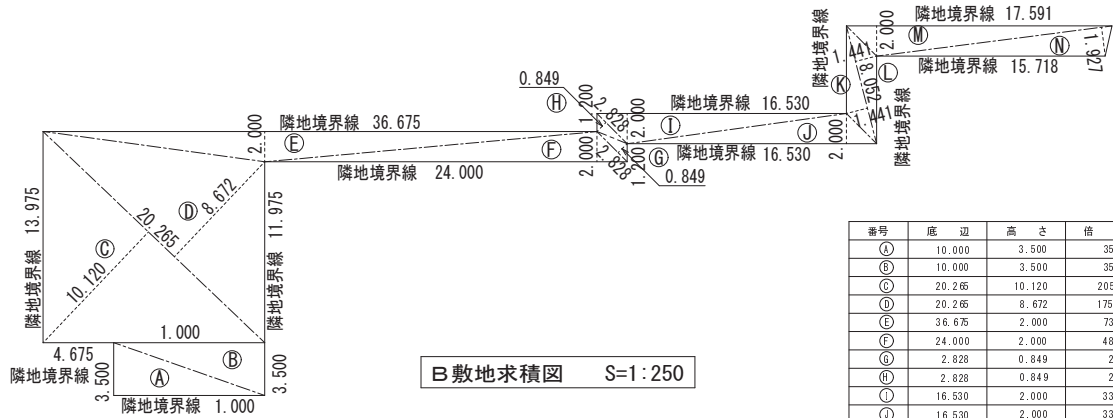
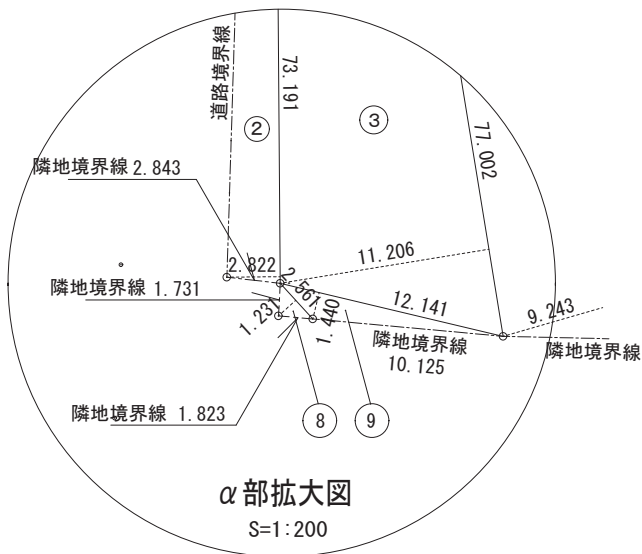
- 新設
- 基礎緊結
- 移設

棟番号	用途	構造	階数	建築面積(㎡)		延床面積(㎡)		軒高	高さ	屋根	外壁	備考欄	確認の履歴等
				既存部分	計画部分	既存部分	計画部分						
19-1 棟	給食室棟	RC造	1階				166.06						
19-2 棟	普通教室棟	RC造	4階	720.65		2093.85	1723.79		14.80	15.40	塩ビシート防水	防水型外装薄塗材 E RC躯体・モルタル地下調整	
20-1 棟	昇降室渡り廊下棟	RC造	4階				204.00						
19-3 棟	普通教室棟	RC造	4階	257.39		988.55			14.80	15.40	塩ビシート防水	防水型外装薄塗材 E RC躯体・モルタル地下調整	S52.3.30 検査済 第1955号
20-2 棟	管理棟・特別教室棟	RC造	4階	567.81		1884.26							
16-1, 2, 3 棟	屋内運動場	S 造	2階	758.99		756.69		7.00	10.00	カラー鉄板瓦葺葺	窯業系サイディング張		
23 棟	プール付属屋	RC造	1階	77.00		77.00		3.77	4.07	塩ビシート防水	防水形外装薄塗材 E		
—	エレベーター棟	S 造	4階		9.24		49.44	14.60	15.15	塩ビシート防水	防水形外装薄塗材 E (A L C)	今回申請建物	
校舎・屋内運動場・附属棟の合計 建築面積				2,381.84	9.24			(合 計)	2,391.08				
校舎・屋内運動場・附属棟の合計 延べ面積						5,800.35	49.44	(合 計)	5,849.79				
校舎・屋内運動場・附属棟の合計 容積対象床面積						5,800.35	18.92	(合 計)	5,819.27				

棟番号	用途	構造	階数	建築面積 (㎡)		延床面積 (㎡)		軒高	高さ	屋根	外壁	備考欄
				既存部分	計画部分	既存部分	計画部分					
㊦	倉庫	1.53×0.96×2.1H	S造	平屋	1.47		1.47	2.00	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り
㊧	倉庫	2.22×1.5×2.42H	S造	平屋	3.33		3.33	2.30	2.42	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定無し：今回緊結
㊨	受変電室	5.92×4.86×4.25H	S造	平屋	26.99		26.99	4.10	4.25	カラー折板葺	複層仕上塗材 E (ALC地)	RC直接基礎
㊩	受水槽・ポンプ室	3.5×2.5×2.0H	S造	平屋	8.75		8.75	2.60	2.60	鋼板張り	鋼板張り	RC直接基礎
㊪	動物小屋	7.0×2.8×2.5H	S造	平屋	21.28		21.28	2.40	2.52	コロニアル葺き	サイディング張	基礎固定有り
㊫	発電設備	3.0×4.0×2.6H	S造	平屋	12.00		12.00	2.60	2.60	ステンレス	ステンレス	基礎固定有り
㊬	ポンプ室	3.5×3.0×2.7H	S造	平屋	10.50		10.50	2.70	2.70	FRP	FRP	基礎固定有り
㊭	体育倉庫	9.2×5.6×3.1H	S造	平屋	51.52		51.52	3.10	3.20	ルーフデッキ	鋼板張り	RC直接基礎
㊮	倉庫	1.5×0.8×2.1H	S造	平屋	1.20		1.20	2.10	2.20	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り
㊯	防災備蓄倉庫	3.58×2.2×2.4H	S造	平屋	7.88		7.88	2.30	2.40	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り
㊰	倉庫	2.2×1.31×2.1H	S造	平屋	4.12		4.12	2.00	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定無し：今回緊結
㊱	渡り廊下		木造	平屋	122.90		0	2.41	2.60	カラー鉄板波板	カラー鉄板波板 (腰壁)	基礎固定有り
㊲	倉庫	2.2×0.95×2.1H	S造	平屋	2.09		2.09	2.00	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り
㊳	倉庫	1.323×0.923×2.22H	S造	平屋		1.22		2.18	2.22	鋼板張り	鋼板張り	コンクリート基礎 (新築) 今回申請建物
㊴	倉庫	2.523×2.523×2.22H	S造	平屋		6.36		2.18	2.22	鋼板張り	鋼板張り	コンクリート基礎 (新築) 今回申請建物
㊵	倉庫	2.53×2.53×2.1H	S造	平屋		6.40		2.00	2.10	鋼板張り	鋼板張り	コンクリート基礎 (移設) 今回申請建物
ポンプ室・受変電室・倉庫等の合計 建築面積					274.03	13.98		(合 計)	288.01			
ポンプ室・受変電室・倉庫等の合計 延べ面積								(合 計)	165.11			



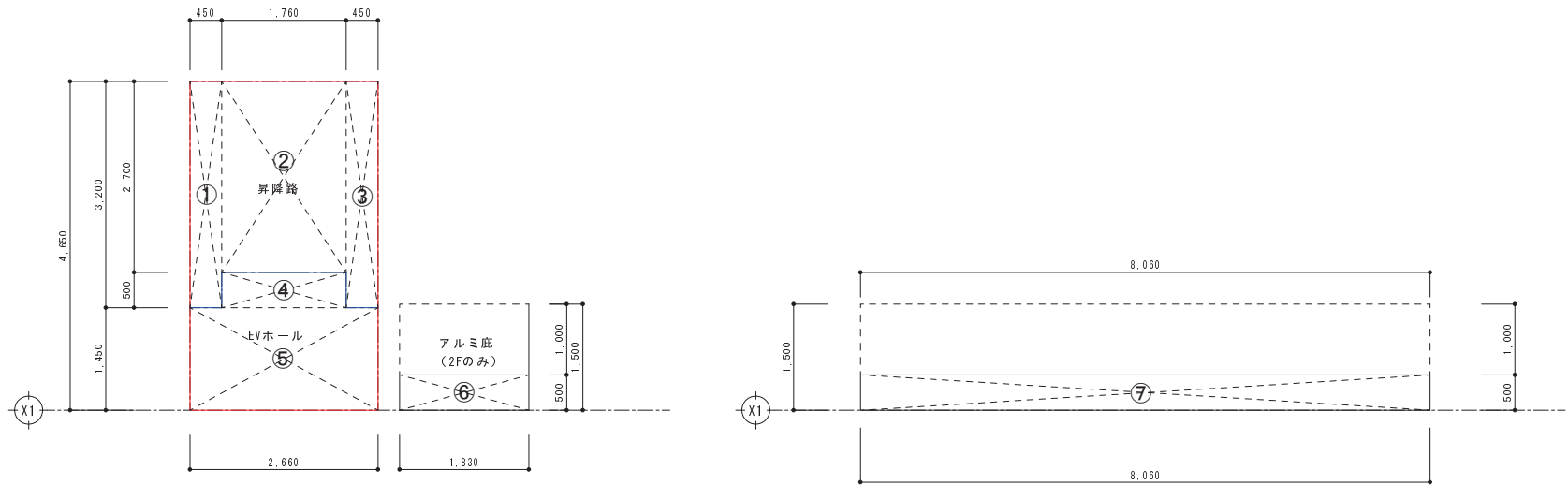
A敷地求積図 S=1:500



番号	底辺	高さ	倍面積	面積
①	10.000	3.500	35.000000	17.500000
②	10.000	3.500	35.000000	17.500000
③	20.265	10.120	205.081800	102.540900
④	20.265	8.672	175.738080	87.869040
⑤	36.675	2.000	73.350000	36.675000
⑥	24.000	2.000	48.000000	24.000000
⑦	2.828	0.849	2.400972	1.200486
⑧	2.828	0.849	2.400972	1.200486
⑨	16.530	2.000	33.060000	16.530000
⑩	16.530	2.000	33.060000	16.530000
⑪	8.052	1.441	11.602932	5.801466
⑫	8.052	1.441	11.602932	5.801466
⑬	17.591	2.000	35.182000	17.591000
⑭	15.718	1.927	30.288586	15.144293
合 計				365.884137
B敷地求積			敷地面積	365.88 m ²

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
①	80.972	4.311	349.070292	174.5351460
②	73.191	2.822	206.545002	103.2725010
③	77.002	11.206	862.884412	431.4422060
④	79.346	9.243	733.395078	366.6975390
⑤	88.359	17.664	1,500.773376	780.3866880
⑥	98.358	15.477	1,522.286766	761.1433830
⑦	111.657	14.512	1,620.366384	810.1831920
⑧	2.561	1.231	3.153591	1.5762965
⑨	12.141	1.440	17.483040	8.7415200
⑩	125.979	12.840	1,617.570300	808.7851800
⑪	218.300	79.618	17,380.609400	8,690.3047000
⑫	144.568	9.800	1,416.766400	708.3832000
⑬	127.778	8.807	1,125.340846	562.6704230
⑭	115.895	4.394	509.242630	254.6213150
⑮	115.895	14.294	1,656.603130	828.3015660
⑯	97.388	13.462	1,311.037256	655.5186280
⑰	84.295	11.072	933.314240	466.6571200
⑱	76.591	3.688	282.467608	141.2338040
⑲	74.949	16.051	1,203.006399	601.5031995
合 計				17,155.9576050
A敷地求積			敷地面積	17,155.95 m ²

A敷地求積 A敷地面積 17,155.95 m²
B敷地求積 B敷地面積 365.88 m²
A敷地～B敷地～敷地面積 16,790.07 m²



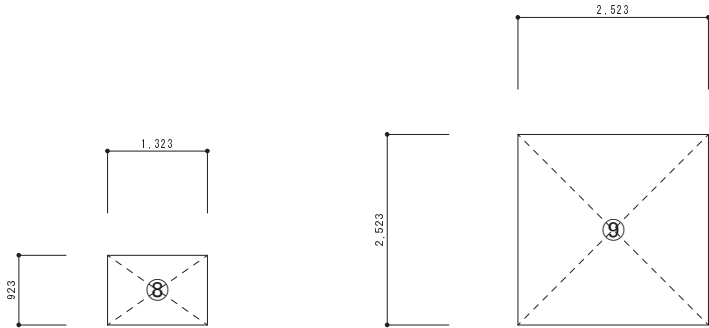
校舎棟増築部（エレベータ棟） 1～4階求積図 S=1:50

校舎棟 既存庇撤去求積図 S=1:50

校舎棟計画部 床面積算定 (㎡)				
1階床面積	① ～ ⑤	-	12.360000	12.36
2階床面積	① ～ ⑤	-	12.360000	12.36
3階床面積	① ～ ⑤	-	12.360000	12.36
4階床面積	① ～ ⑤	-	12.360000	12.36
延べ床面積	12.36	×	4	= 49.44
建築面積	計画部分：1階床面積+⑥ 13.27 既存除去部分：⑦ -4.03			

校舎棟計画部 容積対象床面積算定 (㎡)				
1階昇降路部分	① ～ ②	-	7.630000	7.63
2階昇降路部分	① ～ ②	-	7.630000	7.63
3階昇降路部分	① ～ ②	-	7.630000	7.63
4階昇降路部分	① ～ ②	-	7.630000	7.63
容積率対象外床面積	7.63	×	4	= 30.52
容積対象増築部床面積	49.44	-	30.52	= 18.92

増築部床面積計算式				
①	3.200	×	0.450	= 1.440000
②	2.700	×	1.760	= 4.752000
③	3.200	×	0.450	= 1.440000
④	0.500	×	1.760	= 0.880000
⑤	1.450	×	2.660	= 3.857000
⑥	0.500	×	1.830	= 0.915000
⑦	0.500	×	8.060	= 4.030000
⑧	0.923	×	1.323	= 1.221129
⑨	2.523	×	2.523	= 6.365529
⑩	2.530	×	2.530	= 6.400900



セ 倉庫(新設) 求積図 S=1:50

ソ 倉庫(新設) 求積図 S=1:50

計画部（校舎棟＋倉庫）床面積算定 (㎡)			
1階床面積	12.36 (校舎棟)	+	13.98 (倉庫 計)
2階床面積	12.36 (校舎棟)		
3階床面積	12.36 (校舎棟)		
4階床面積	12.36 (校舎棟)		
延べ床面積			63.42
容積対象床面積	18.92 (校舎棟)	+	13.98 (倉庫 計)
建築面積	9.24 (校舎棟)	+	13.98 (倉庫 計)

倉庫部分 床面積算定 (㎡)				
セ 倉庫	⑩	=	1.220000	1.22
ソ 倉庫	⑨	=	6.365529	6.36
タ 倉庫	(既存移設)			6.40
延べ床面積				13.98
建築面積				13.98

■ 外部仕上表（エレベータ工事）					
部 位	仕 上	部 位	仕 上	部 位	仕 上
屋 根	デッキコンクリート(30分耐火) コンクリート金ゴテ下地、立上り共 塩ビシート防水 厚2（密着工法）遮熱塗料塗	外壁	A L C版厚125 耐火目地材（1時間耐火仕様） 防水形外装薄塗材 E 換気口200φステンレス製（防虫網付）	外構	エレベーター棟（増築部）：U字溝240型＋コンクリート蓋 新設 既存：犬走り＋U字溝240型＋コンクリート蓋 一部撤去のうえ、復旧。排水枟450角＋コクリト蓋新設 既存：インターロッキング 一部撤去のうえ、新設
ルーフ・レン・竖樋	ルーフ・レン：鍍鉄製75φ横型 竖樋：カラーVP75φステンレス製受金物 掃除口付塩ビ飾り桟	外巾木	コンクリート打放し＋撥水材塗		
パラベット	コンクリート打放し 防水形外装薄塗材 E アルミ製笠木 オーバーフロー管：ステンレス製50φ	ビット外周部	ケイ酸質系塗布防水	その他	既存RC壁一部撤去。既存サッシ一部撤去 既存RC庇撤去（竖樋共）のうえアルミ庇（不燃）新設（アルミ竖樋共：メーカーオプション品）
エクスパンションジョイント カバープレート	笠木部：アルミ製（不燃 平成12年建設省告示第1400号） W200・止水シート共（1時間遮炎性能） 外壁部：アルミ製 W200・止水シート共（1時間遮炎性能）				

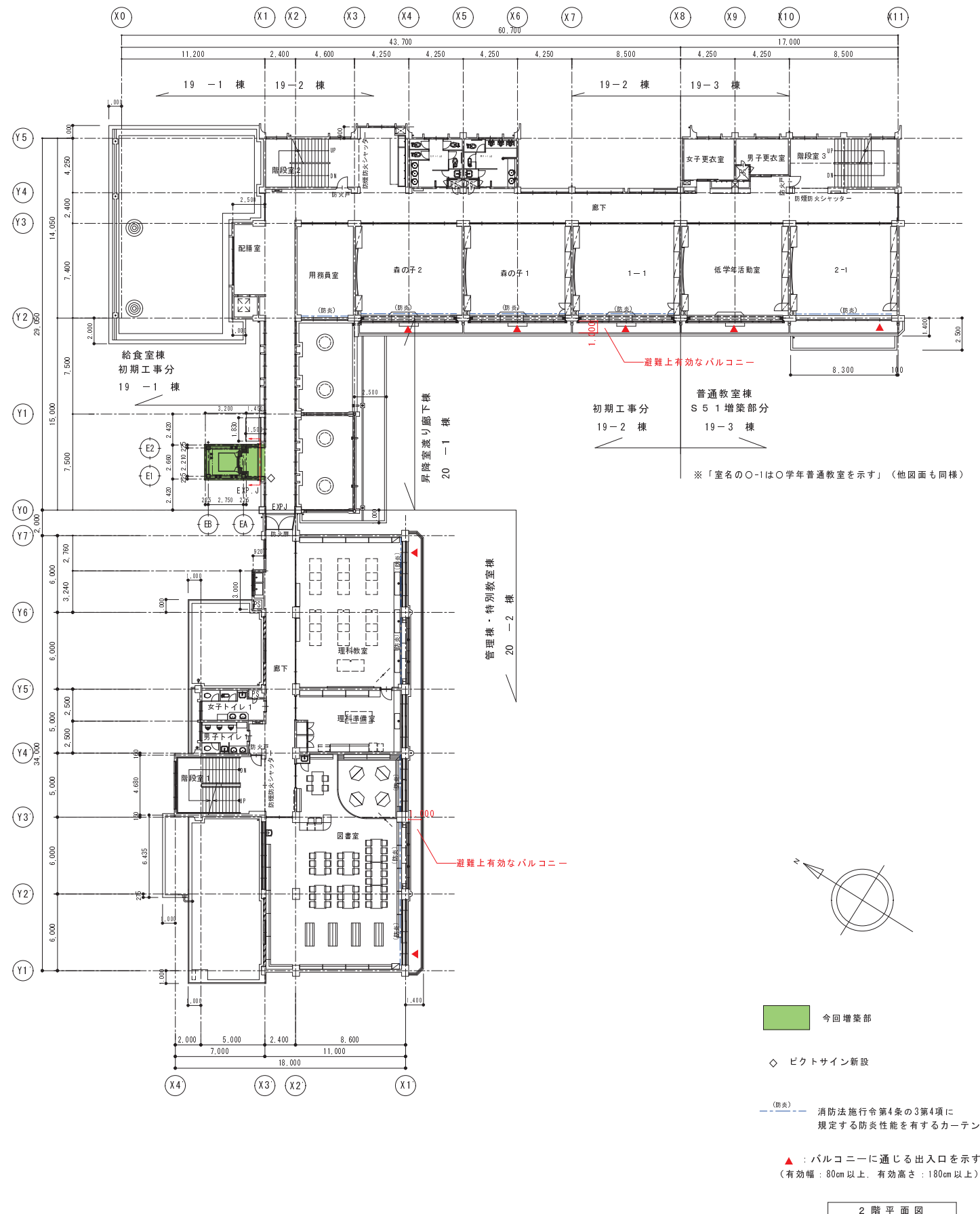
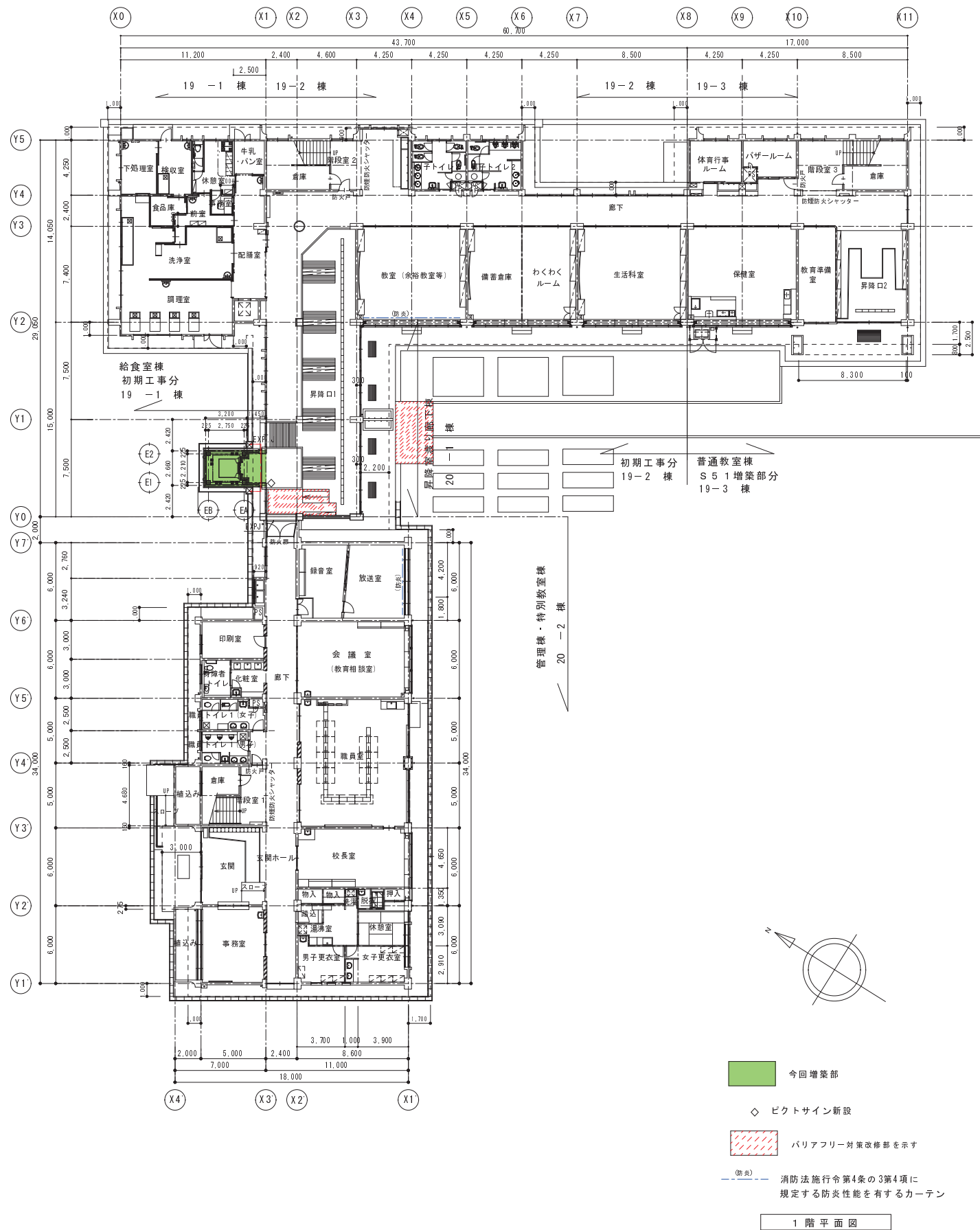
■ 内部仕上表（エレベータ工事）													
階	室 名	工事 種別	床		巾 木		壁		天 井			天井高	備 考
			下 地	仕 上	仕 上	H	下 地	仕 上	下 地	仕 上	廻縁		
共通	昇 降 路	新築	ビット内：モルタル金ゴテ厚50	塗膜防水			A L C表し ビット内：コンクリート打ち放し	現し 塗膜防水	デッキプレート	現し	-		鉄骨（梁・柱）耐火被覆：半乾式吹付ロックウール 厚25(1時間耐火仕様)
	E V ホール	新築	モルタル金ゴテ下地	ビニル床シート厚2.0 新設	ビニル巾木	100	LGS65型下地 石膏ボード 厚12.5 捨張	石膏ボード 厚9.5 E P-G	軽量鉄骨天井下地	化粧石膏ボード 厚9.5 一部、石膏ボード 厚9.5 EP-G	塩ビ	1～3F：2.570 4F：2.500	天井、壁：アルミ製EXP.Jカバー W200、1階床：ステンレス床見切りW-40 2、3、4階床：アルミ製EXP.Jカバー W200（1時間遮炎性能） コーナーガード50 L=1800 天井点検口アルミ製600×600(4階のみ)
	渡り廊下	既存	モルタル金ゴテ下地（既存のまま）	ビニル床シート厚2.0 一部撤去	木製巾木 厚21 SOP 一部撤去	100	既存RC躯体一部撤去 モルタル金ゴテ下地 一部撤去	E P-G	軽量鉄骨天井下地 一部撤去	化粧石膏ボード 厚9.5 一部撤去	塩ビ 一部撤去	1～3F：2.720 4F：2.650	既存 アルミサッシ 一部撤去
		改修	一部モルタル金ゴテ下地 新設	下地調整のうえ、 ビニル床シート厚2.0 一部新設	木製巾木 厚21 SOP 一部新設	100	モルタル金ゴテ下地 一部新設	モルタル下地新設部：E P-G 一部 下地調整のうえ、E P-G 塗替	軽量鉄骨天井下地 一部新設	化粧石膏ボード 厚9.5 一部新設	塩ビ 一部新設	1～3F：2.720 4F：2.650	ピクトサイン新設 コーナーガード50 L=1800 新設

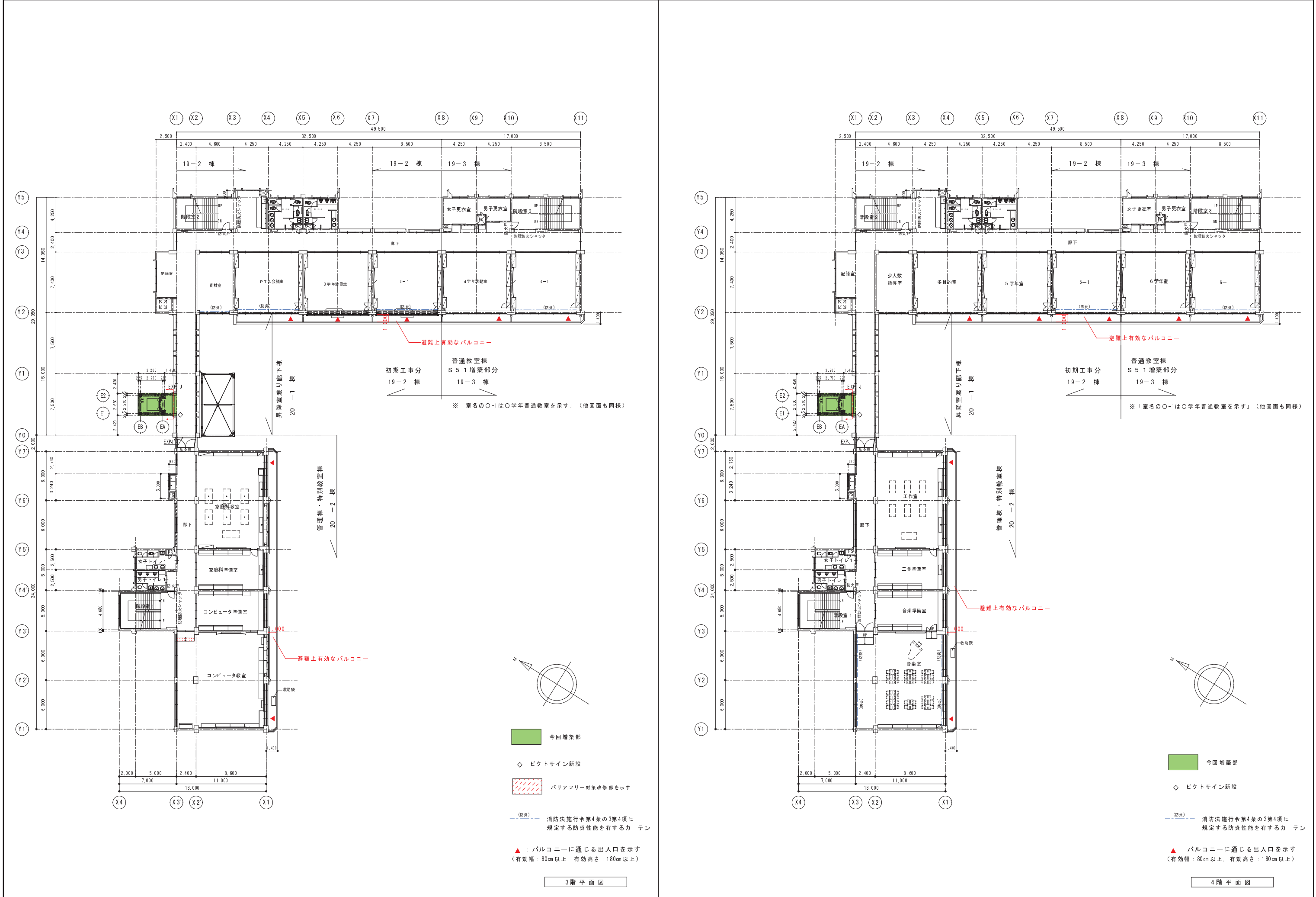
■ バリアフリー工事・その他工事 仕上表					
部 位	仕 上	部 位	仕 上	部 位	仕 上
昇降口	床一部コンクリート嵩上げのうえ、コンクリート金ゴテ下地、長尺塩ビシート厚2.0 新設 コンクリート製スロープ新設 床モルタル金ゴテ一部撤去のうえ、新設 既存下駄箱取り外し・再取付け（1か所）	通路	外部通路アスファルト舗装新設（段差部改修） 外部通路アスファルト舗装一部撤去のうえ、新設（段差部改修） 外部通路平板ブロック一部撤去のうえ、アスファルト舗装新設（段差部改修）	外部倉庫等	木造農機具置き場撤去のうえ、プレハブ倉庫（既製品）新設：1か所 プレハブ倉庫（既製品）移設：1か所、プレハブ倉庫（既製品）撤去・新設：1か所

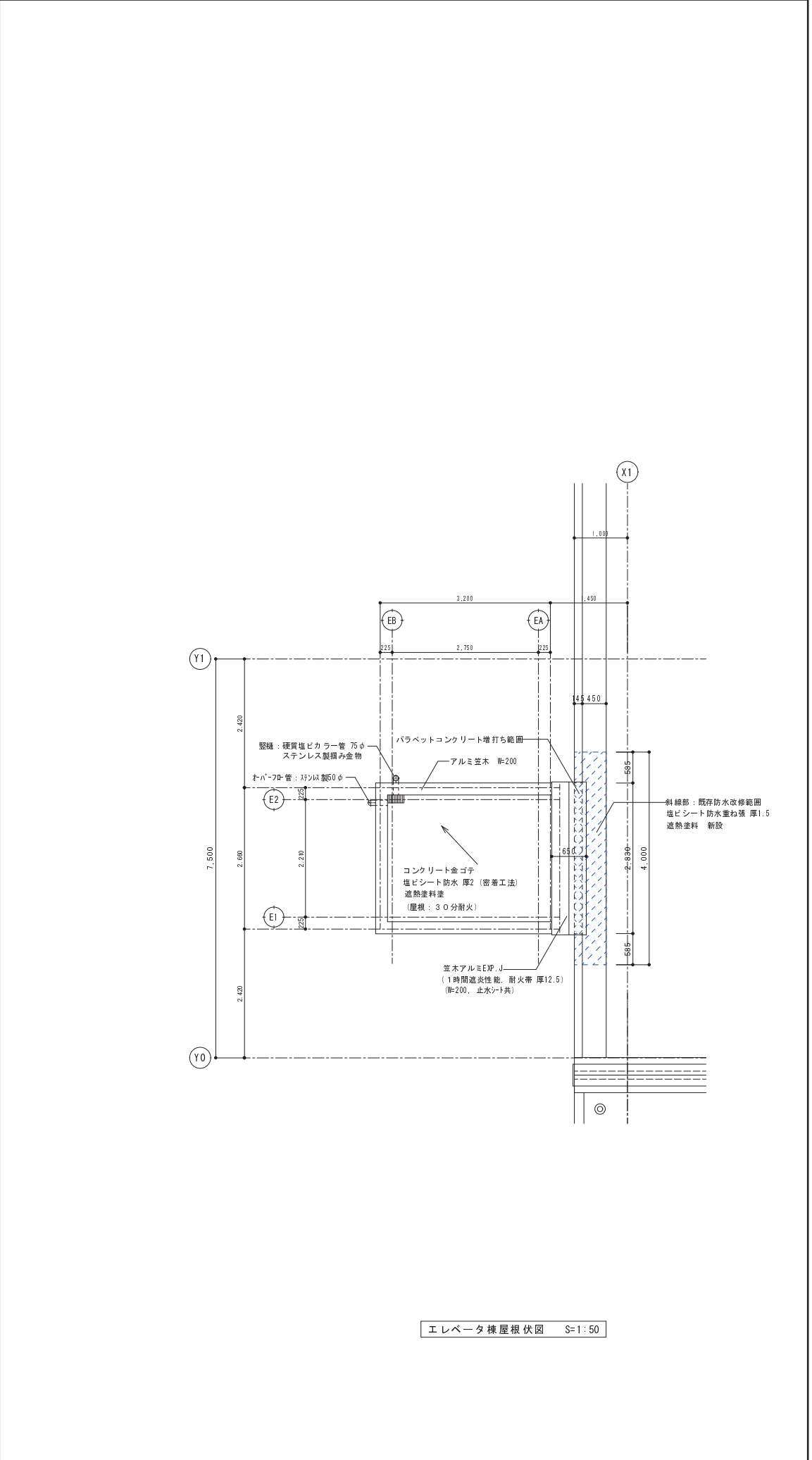
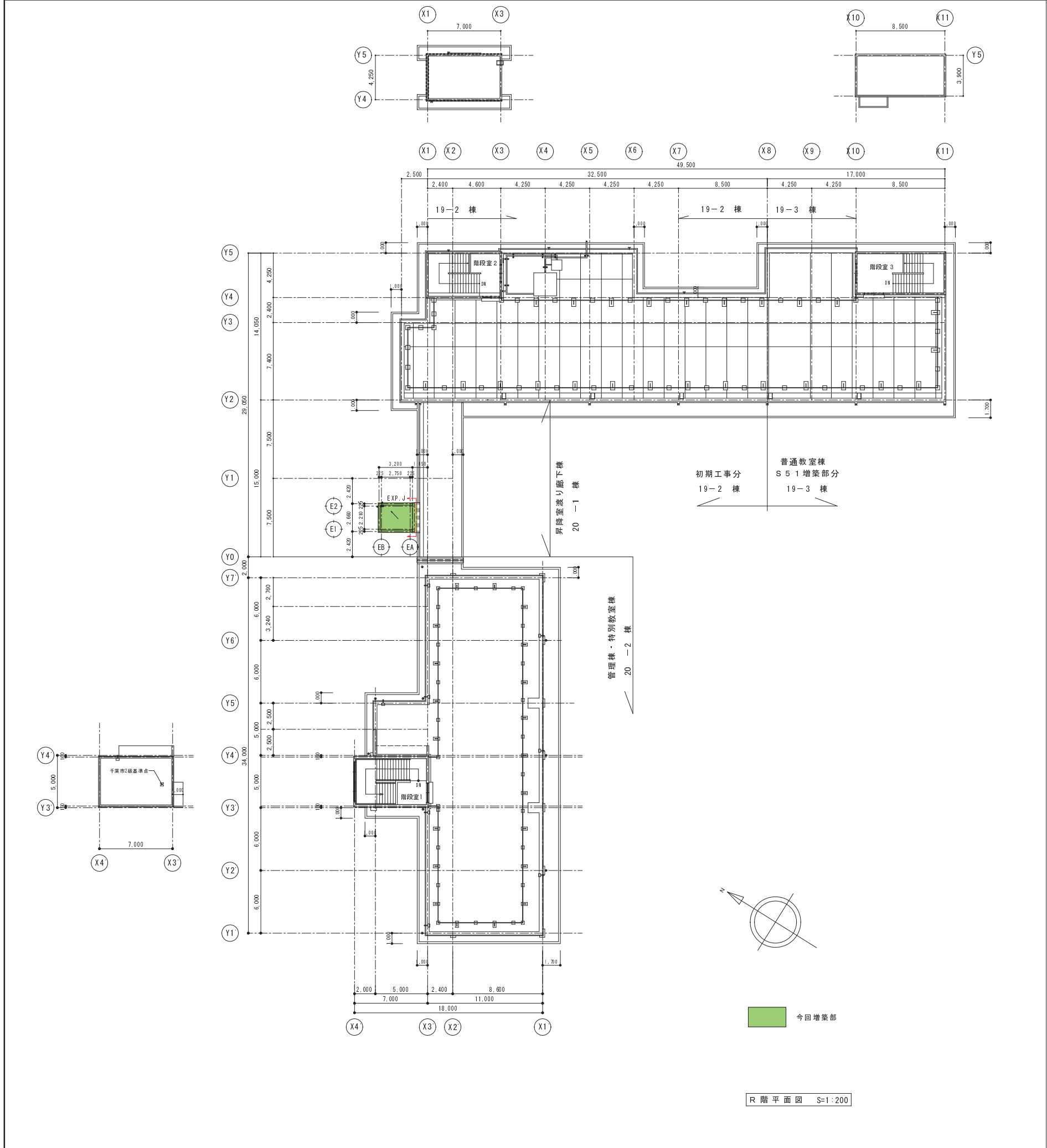
■ 特記事項		
1. ホルムアルデヒド対策 天井裏等を含む内装材に使用する材料（下地ボード・合板類・接着剤・塗装剤・断熱材等含む）は、すべて告示対象またはF☆☆☆☆（規制対象外）を使用する。	※仕上材料の防火認定番号 石膏ボード厚12.5：不燃 NM-8619 石膏ボード厚9.5：準不燃 QM-9828 化粧石膏ボード厚9.5：準不燃 QM-0524 E P-G塗装：不燃 NM-8585 アルミ：不燃 平成12年建設省告示第1400号	■アスベスト含有建材について ・今回撤去対象部について、アスベスト含有建材は無し
2. クロルビリホスの規制 建築材料にクロルビリホスを添加しない。クロルビリホスをあらかじめ添加した建築材料を使用しない。		
3. 石綿含有建材の規制 建築材料に石綿を添加しない。石綿をあらかじめ添加した建築材料を使用しない。		

■ 耐火構造リスト ■

柱 耐火被覆（1時間耐火）：半乾式吹付ロックウール厚25／F P O 6 0 C N—9 4 0 8
梁 耐火被覆（1時間耐火）：半乾式吹付ロックウール厚25／F P O 6 0 B M—9 4 0 6、F P O 6 0 B M—9 4 0 8
屋根 （30分 耐火）デッキコンクリート：QLデッキの上コンクリート厚80以上（FP060FL-9101）、塩ビシート防水（H12建告1365号第1三）、遮熱塗料塗
外壁 （1時間 耐火） A L C厚125 ：H12建告1399号第1九（第1ート）
内壁 （1時間 耐火） A L C厚100 ：H12建告1399号第1四（第1ート）
床 （1時間 耐火）デッキコンクリート：QLデッキの上コンクリート厚80以上（FP060FL-9101）
E X P . J （1時間遮炎性能）：耐火帯厚12.5mm（EAJ-防災-3013）
デッキプレートの認定番号： Q L デッキ F P 060 F L -9101
アルミ庇：不燃材料／平成12年建設省告示第1400号





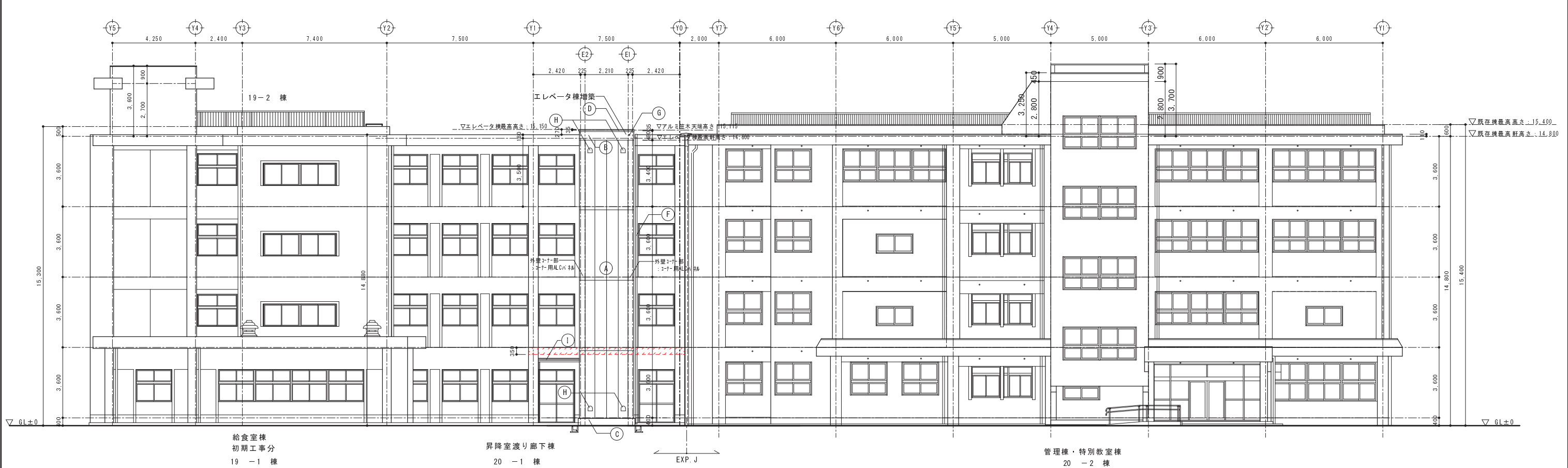




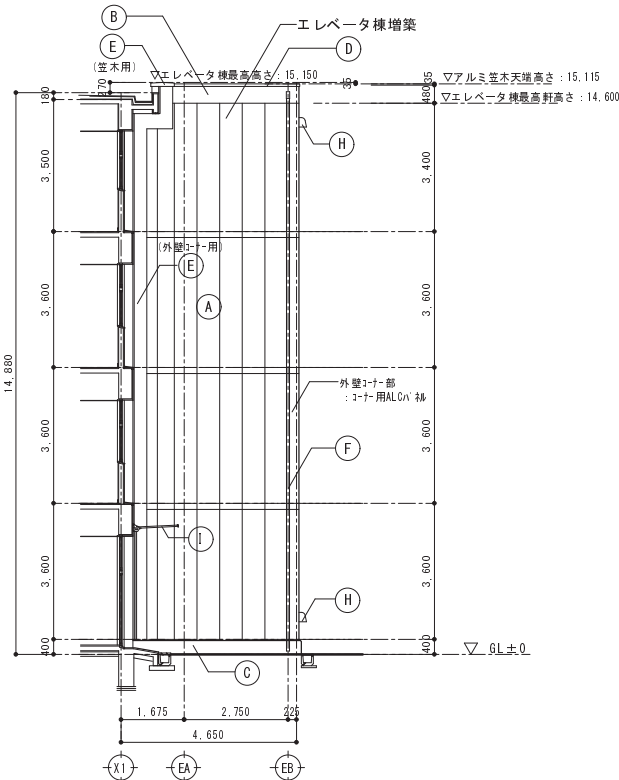
北側立面図 S=1:100



撤去範囲を示す



北側立面図 S=1:100

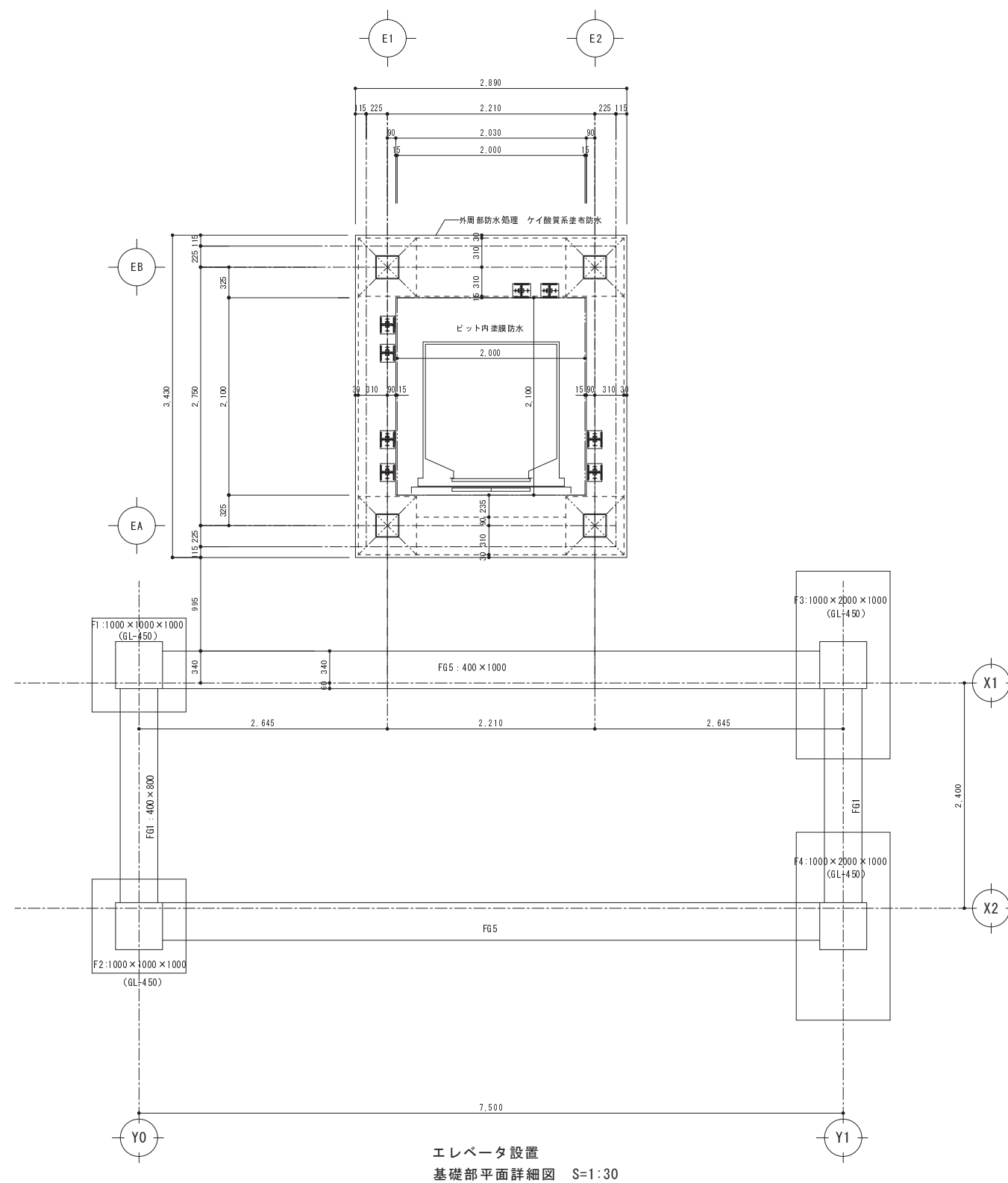


エレベータ立面図（側面） S=1:100

符号	箇 所	工事内容	符号	箇 所	工事内容
(A)	エレベータ棟：外壁	A L C 厚125 (1時間耐火仕様) 防水型外装薄塗材 E	(F)	エレベータ棟：縦樋	硬質塩ビカラー管 75φ (ステンレス製掘み金物共)
(B)	エレベータ棟：パラペット	コンクリート打放し 防水型外装薄塗材 E	(G)	エレベータ棟：オーバーブロー管	ステンレス製 50φ
(C)	エレベータ棟：外巾木	コンクリート打放し 撥水材塗	(H)	エレベータ棟：換気口	SUS換気口 200φ (防虫網付)
(D)	エレベータ棟：笠木	アルミ製笠木	(I)	アルミ庇	アルミ庇 (壁樋共：メーカーオプション品)
(E)	エレベータ棟：EXP. J	アルミ製 (1時間遮炎性能/耐火帯厚12.5mm)			

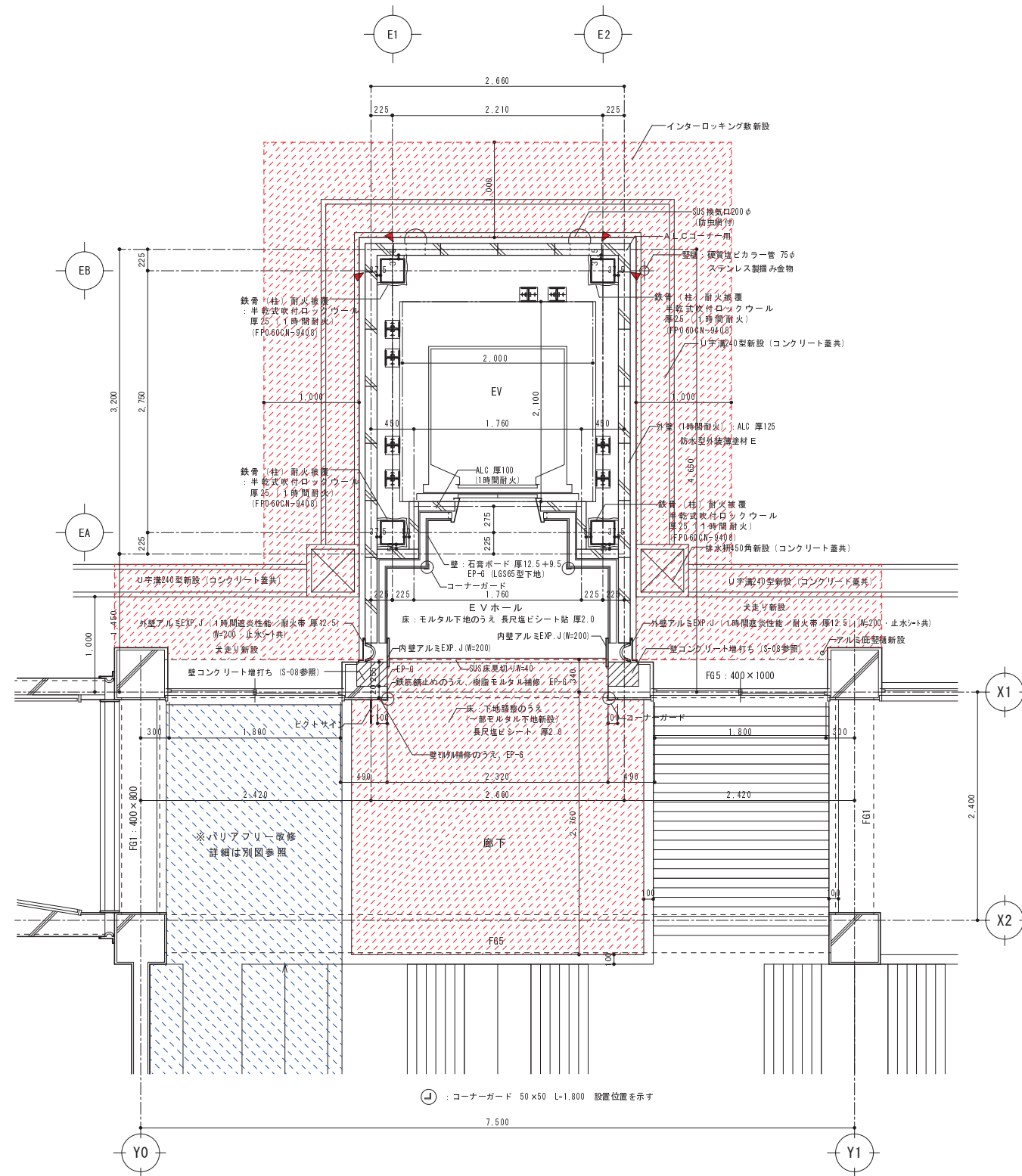
※校舎棟周囲地盤面は高低差なし (設計GL±0=平均GL)

既存底撤去跡外壁補修範囲を示す
R C底撤去跡錆び止め及び樹脂モルタル補修
防水型外装薄塗材 E



E V 設置既存改修範囲を示す

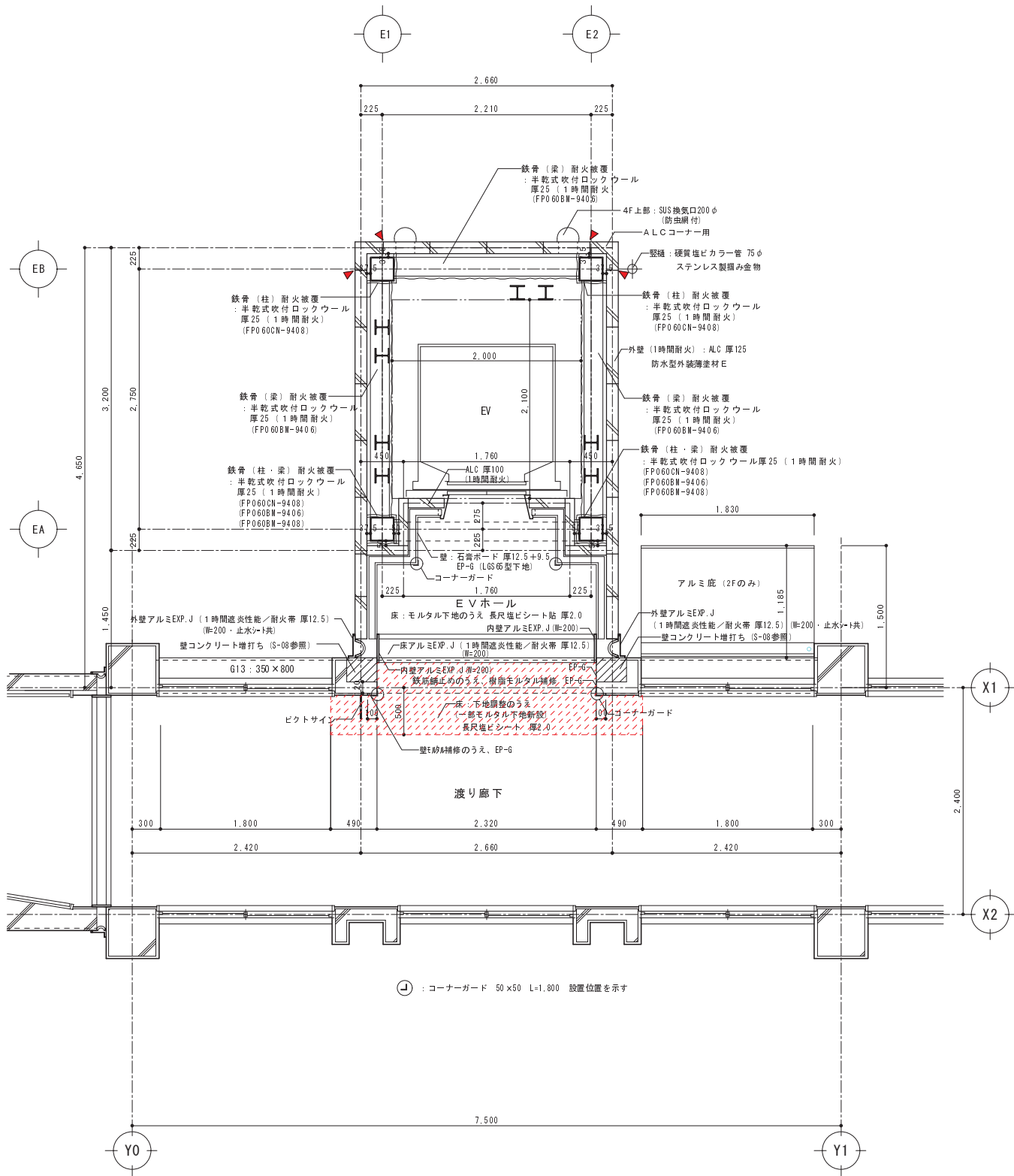
バリアフリー改修範囲を示す



※耐火被覆（半乾式吹付けロックウール）を行う際、
鉄骨とALCのクリアランスが45mm以上の場合にはラシ金網等下地設置を行うこと
（FP-060CN-9408による）

※１Ｆエレベータ扉は遮煙性能付き防火設備（防犯窓付）／大臣認定品（認定番号：CAS-1074（１））とする

▼ : 耐火目地材設置位置を示す



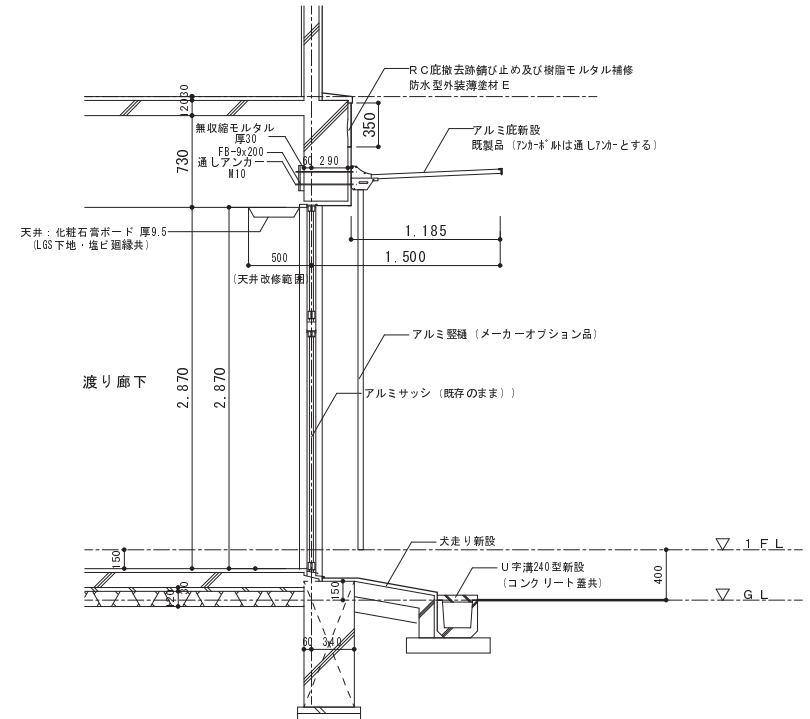
※耐火被覆(半乾式吹付けロックウール)を行う際、鉄骨とALCのクリアランスが45mm以上の場合にはラス金網等下地設置を行うこと(FP-060CN-9408による)

※2～4Fエレベータ扉は遮煙性能付き特定防火設備/大臣認定品(認定番号: CAS-1074(2))とする

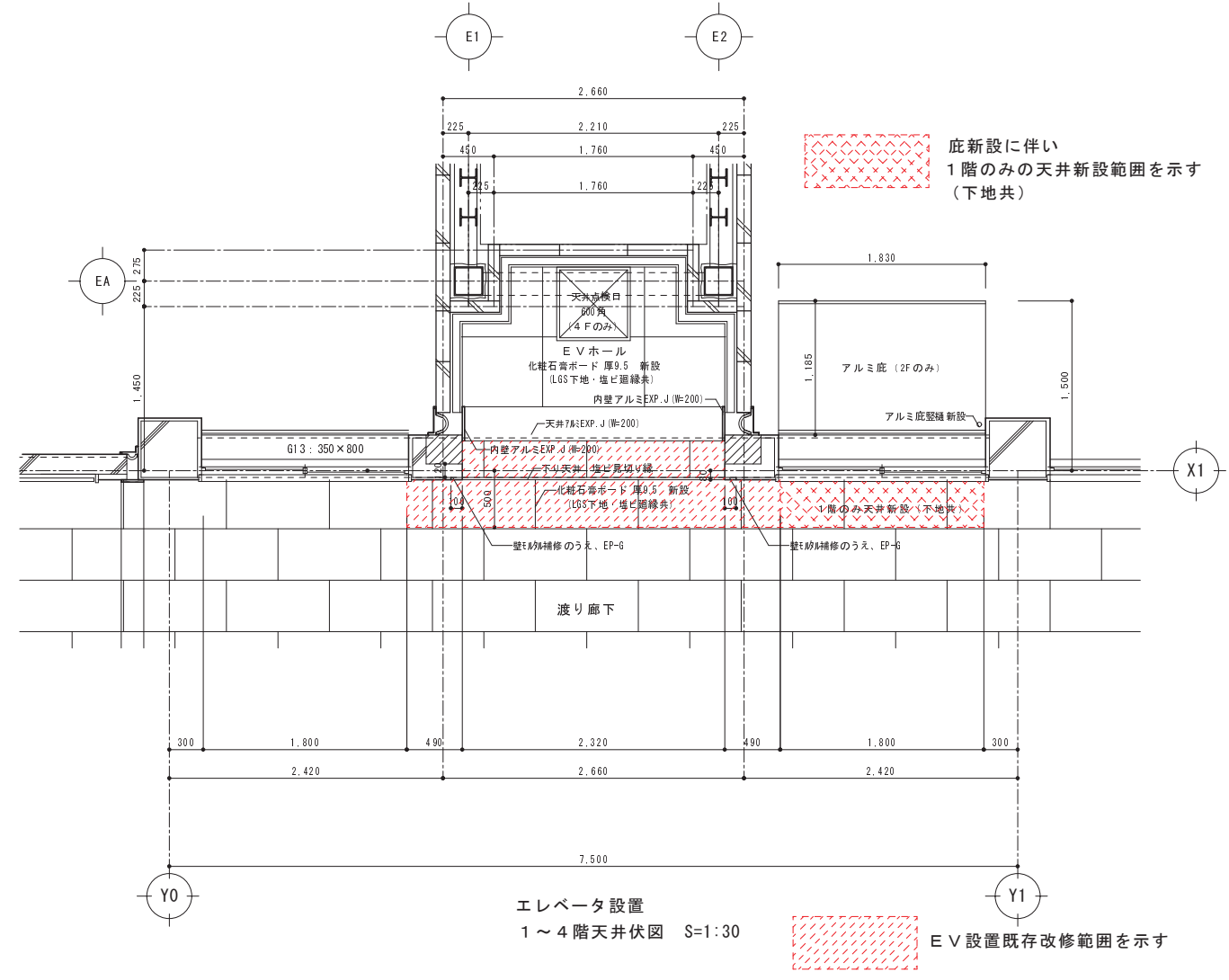
▼: 耐火目地材設置位置を示す

エレベータ設置
2～4階平面詳細図 S=1:30

EV設置既存改修範囲を示す

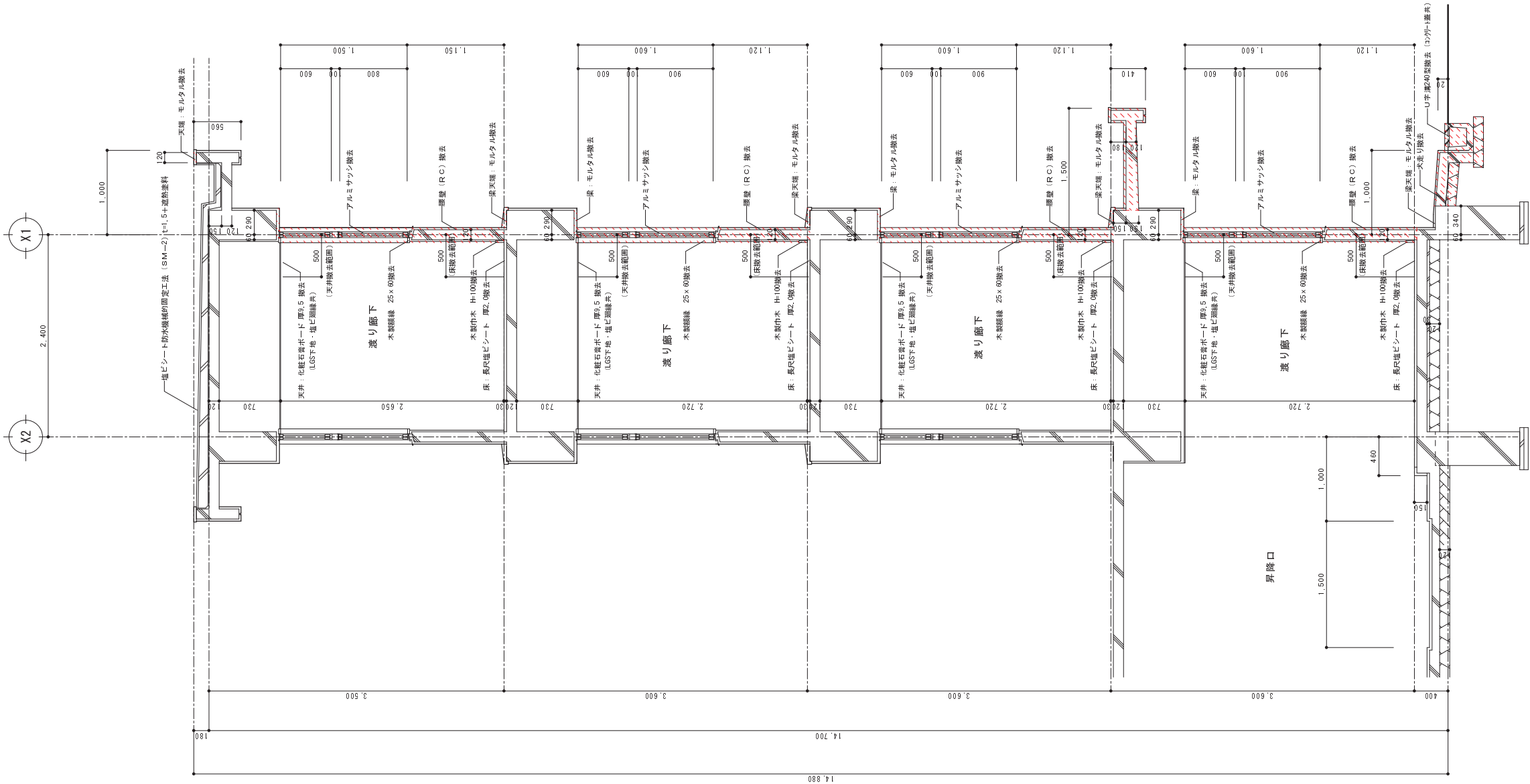


底改修詳細図 S=1:30



エレベータ設置
1～4階天井伏図 S=1:30

EV設置既存改修範囲を示す



撤去範囲を示す

工事名

設計年月日

令和

7年

10月

日

特記事項

特記事項

特記事項

特記事項

設計年月日

令和

年

月

日

特記事項

特記事項

特記事項

特記事項

特記事項

エレベータ設置
矩計図

縮尺

A1

1:15, 30

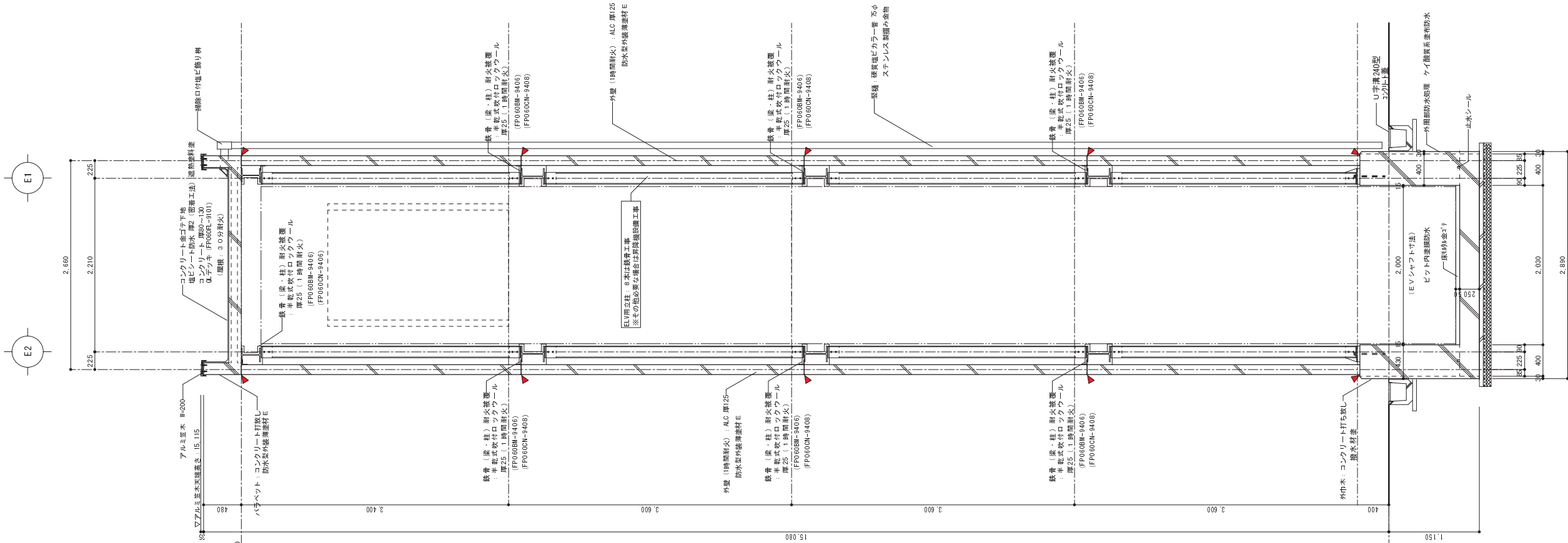
縮尺

A3

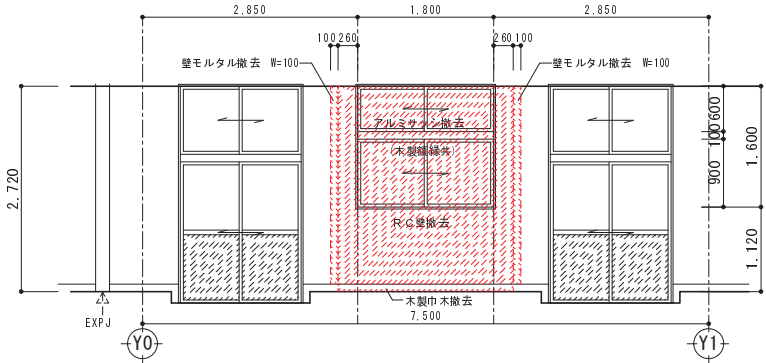
1:30, 60

図号

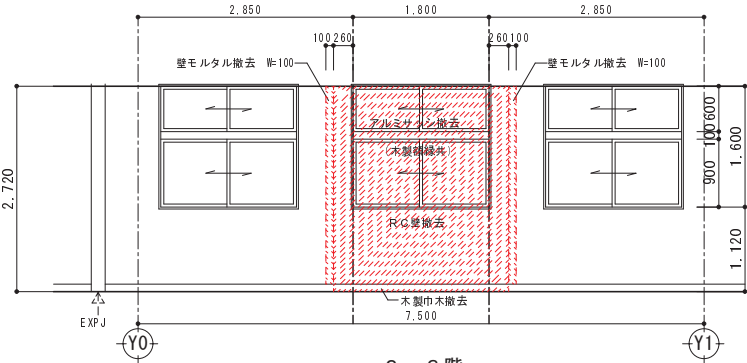
A-15



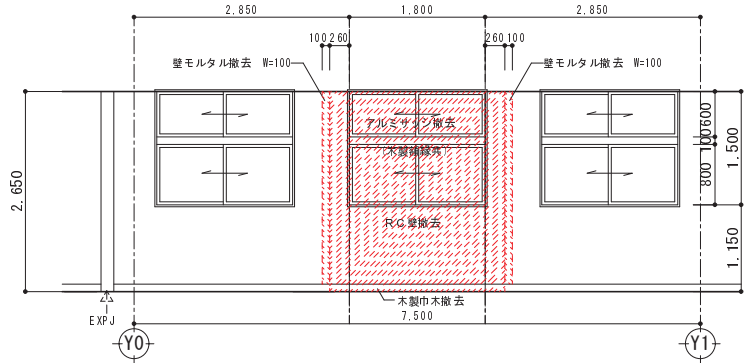
室名	渡り廊下
床	モルタル金ゴテ下地 既存のまま 長尺塩ビシート 厚2.0 一部撤去
壁	モルタル金ゴテ EP-G 一部撤去 RC壁 一部撤去
巾木	木製巾木 厚21 SGP H=100 一部撤去
天井	軽量鉄骨天井下地 一部撤去 化粧石膏ボード 厚9.5 一部撤去
備考	アルミサッシ 一部撤去



1 階



2・3 階

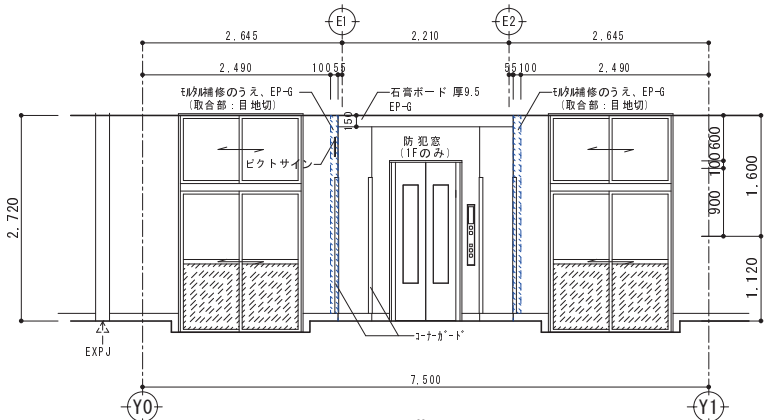


4 階

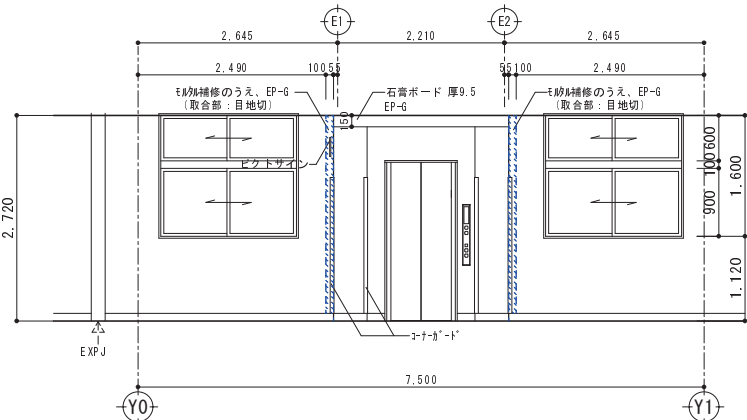
既存 渡り廊下

室名	渡り廊下
床	下地調整の上 ビニル床シート厚2.0 一部新設
壁	モルタル金ゴテ EP-G 一部新設
巾木	木製巾木 厚21 SGP H=100 一部新設
天井	軽量鉄骨天井下地 一部新設 化粧石膏ボード 厚9.5 一部新設
備考	ビクトサイン 新設

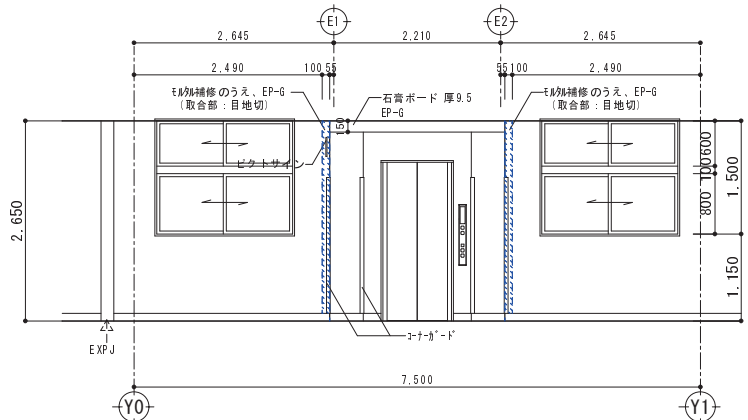
室名	EVホール
床	モルタル金ゴテ下地 ビニル床シート厚2.0
壁	LGS6型下地 石膏ボード 厚12.5 捨張 石膏ボード 厚9.5 EP-G
巾木	ビニル巾木 H=100
天井	軽量鉄骨天井下地 化粧石膏ボード 厚9.5 一部、石膏ボード 厚9.5 EP-G
備考	天井、壁：アルミ製EXP-Jカバー W200 1階床：ステンレス床見切り W=40 2、3、4階床：アルミ製EXP-Jカバー W200 (1時間耐火仕様) コーナースタンド50 L=1800 天井点検口アルミ製600×600 (4階のみ)



1 階 A

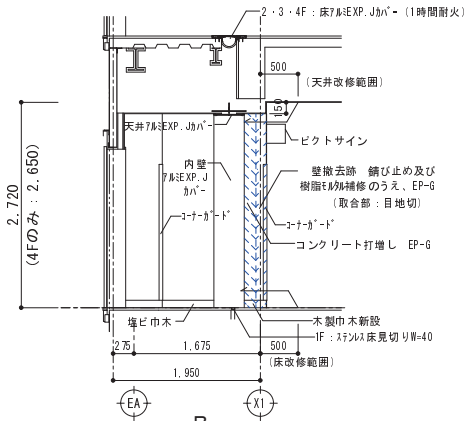


2・3 階 A

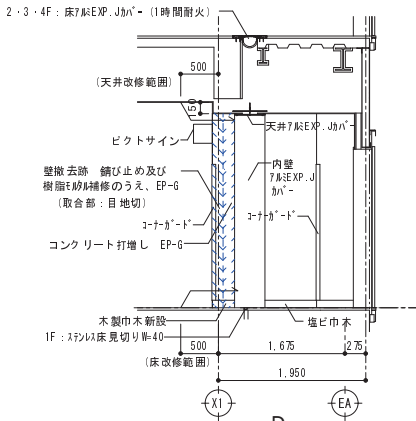


4 階 A

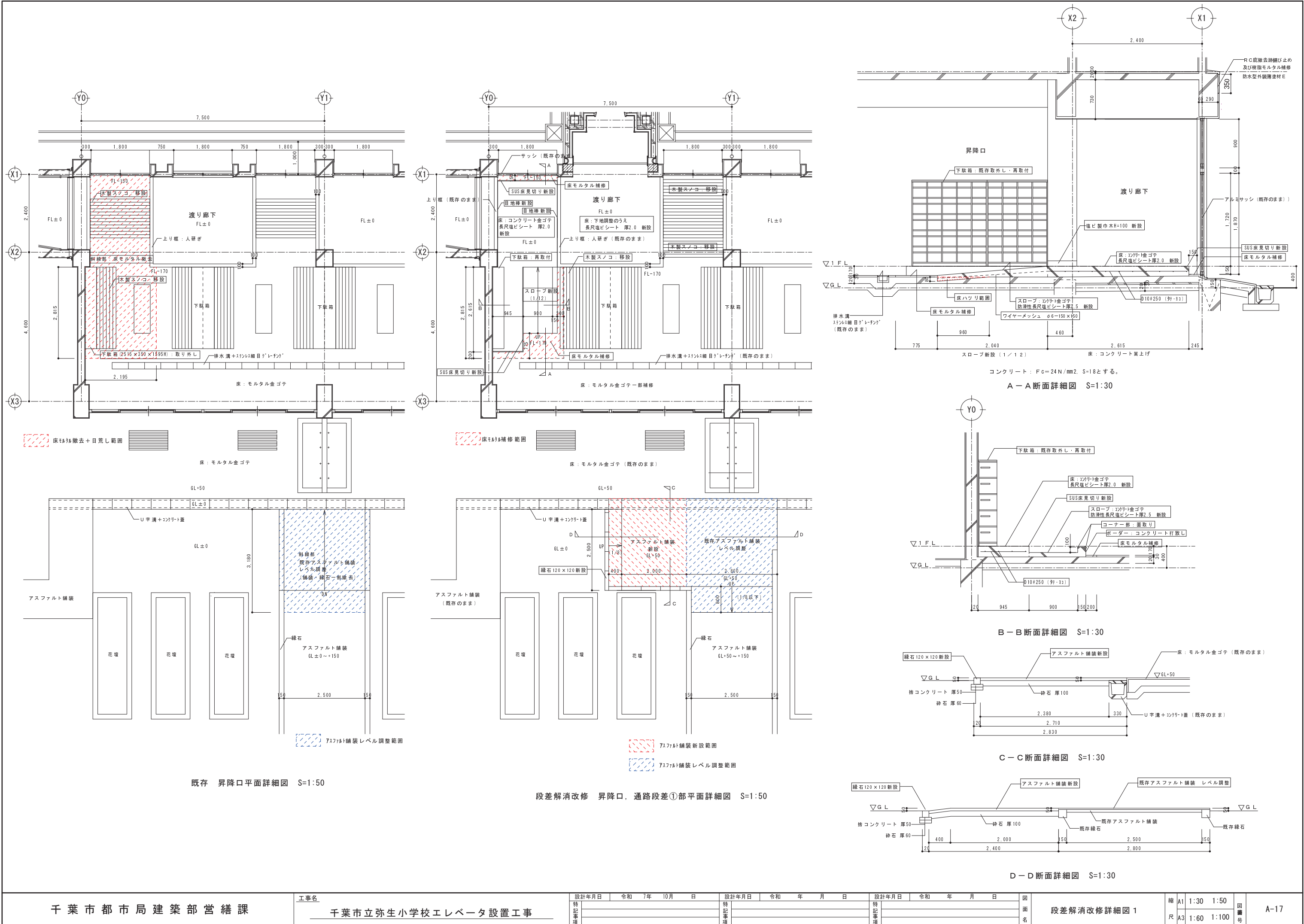
渡り廊下・EVホール

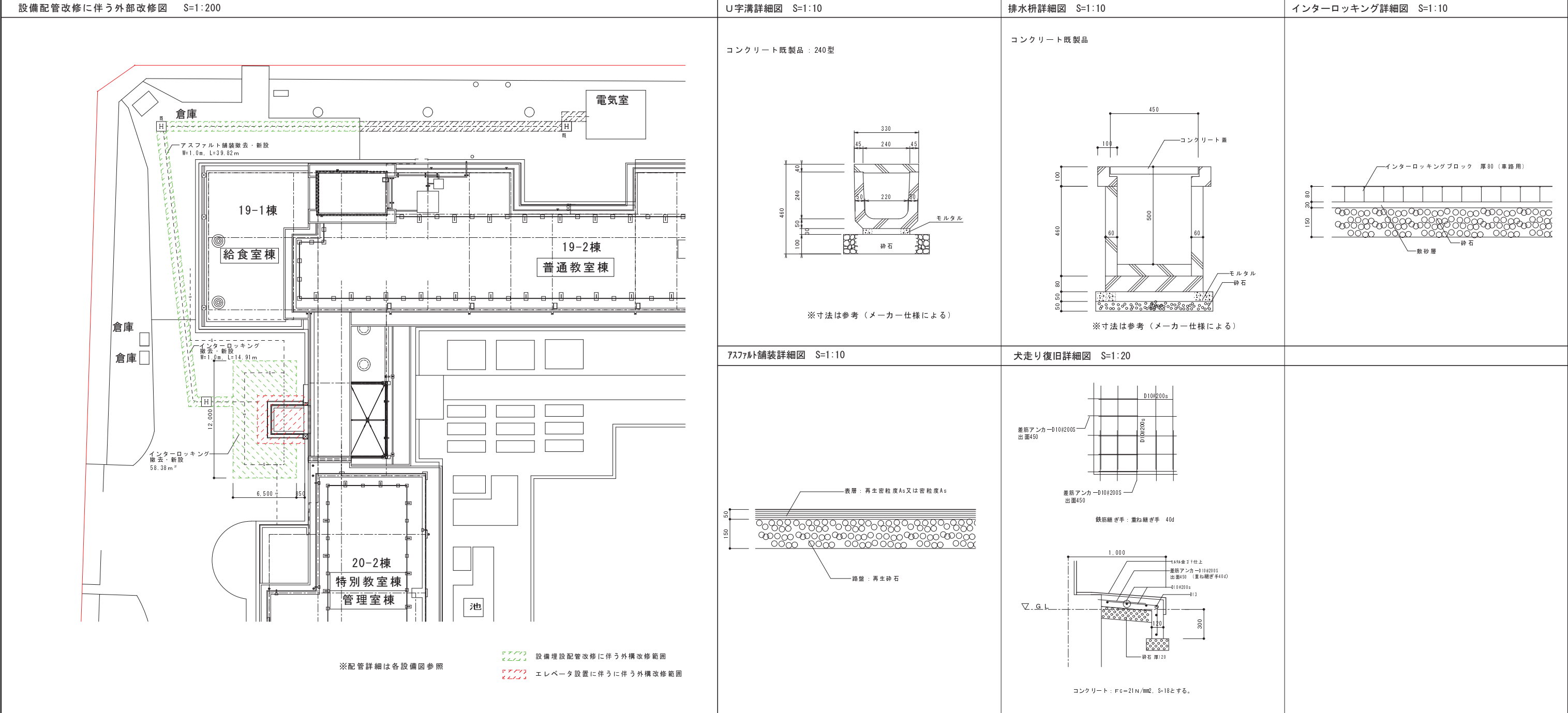
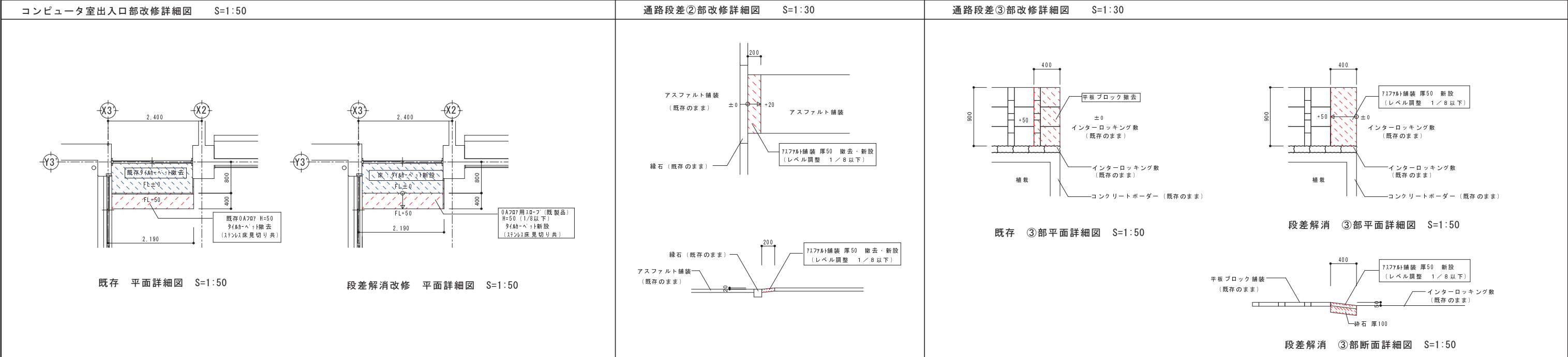


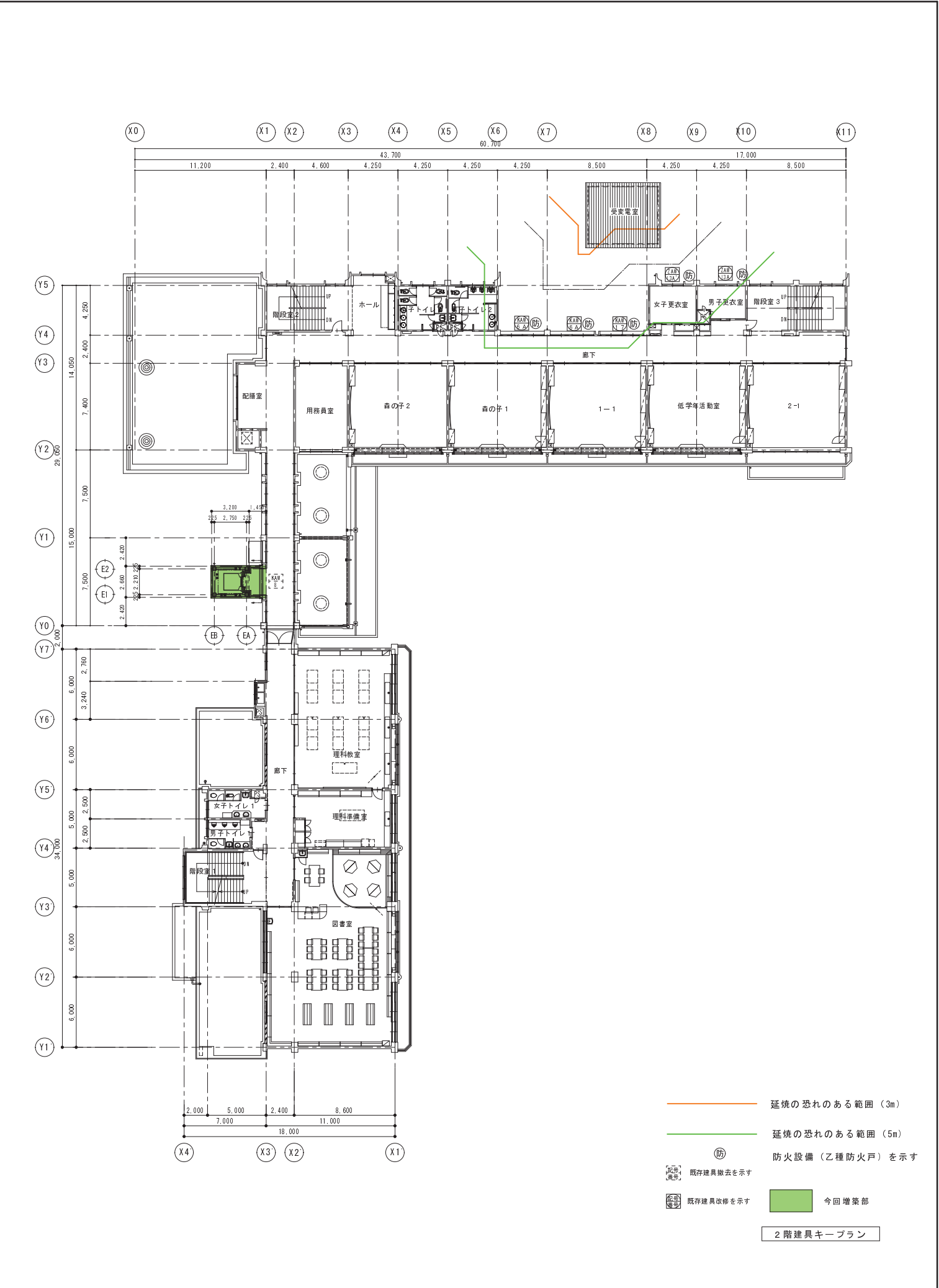
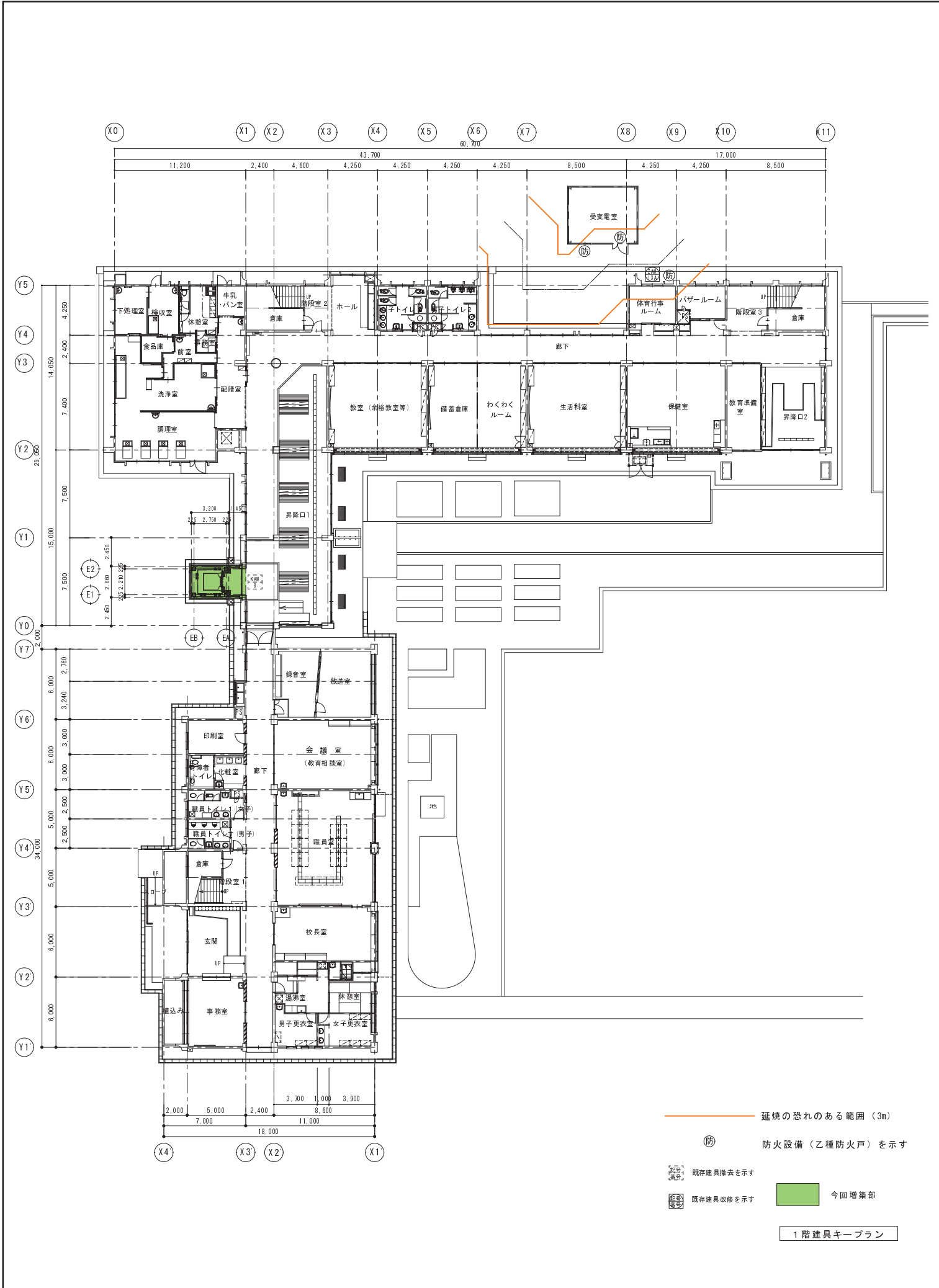
B

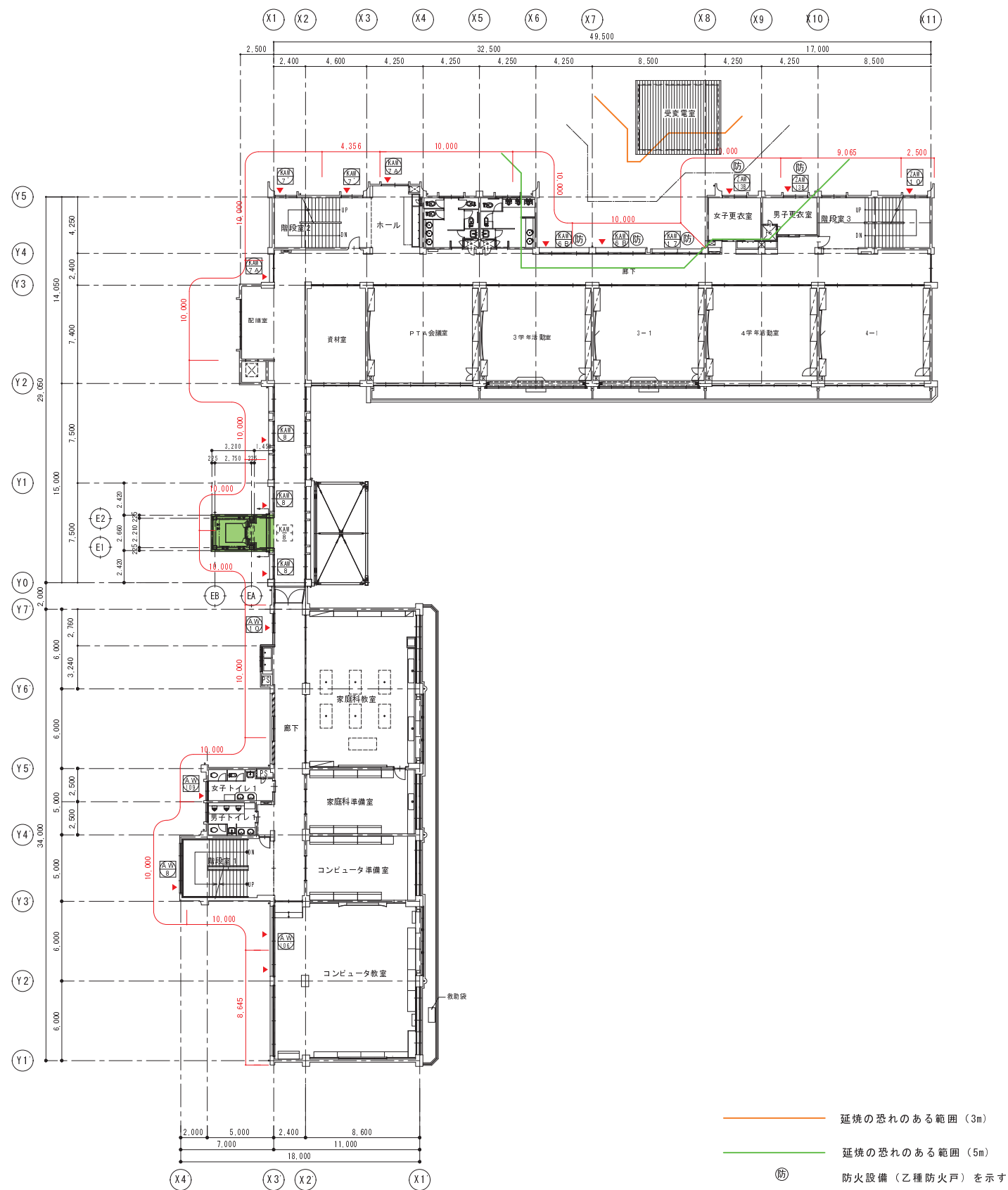


D



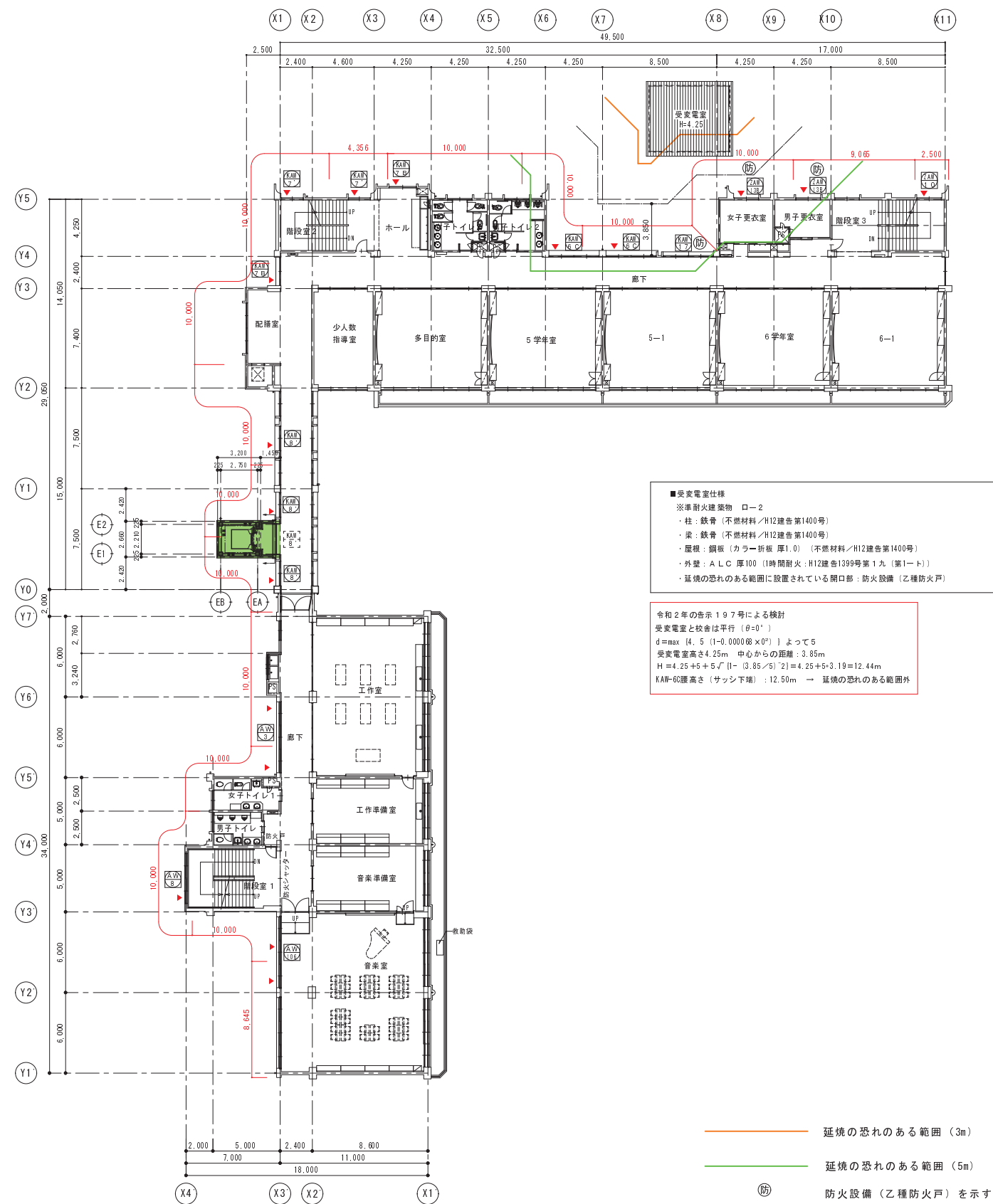






▼ 代替進入口

※「進入口設置対象部分」は道路に面する外壁部分



▼ 代替進入口

※「進入口設置対象部分」は道路に面する外壁部分

千葉市都市局建築部営繕課

工事名

千葉市立弥生小学校エレベータ設置工事

設計年月日

命和 7生

特記

設計年月日

令和 年 月 日

特記

設計年月日

令和 年 月 日

特記

	因
--	---

Real	

名

建具キープラン2

結

A 1	
-----	--

1 : 300

小日

AT	

1.200

圖 5

圖書

A-20

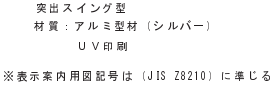
<div>KAW6B</div> <div>網入透明ガラス 厚6.8</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>KAW6C</div> <div>学校用強化ガラス 厚4</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>KAW7A</div> <div>学校用強化ガラス 厚4</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>KAW7B</div> <div>学校用強化ガラス 厚4</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>KAW7</div> <div>学校用強化ガラス 厚4</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>KAW8</div> <div>学校用強化ガラス 厚4</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>
<div>KAW8</div> <div>学校用強化ガラス 厚4</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>ZAW10</div> <div>学校用強化ガラス 厚4</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>ZAW13B</div> <div>網入型板ガラス 厚6.8</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>AW3</div> <div>透明強化ガラス 厚5</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>AW8</div> <div>透明強化ガラス 厚5</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>AW10</div> <div>透明強化ガラス 厚5</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>
<div>AW10B</div> <div>透明強化ガラス 厚5</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>AW10B</div> <div>透明強化ガラス 厚5</div> <div></div> <div>※有効開口寸法はW750×H1,200以上</div>	<div>AW109</div> <div>型板強化ガラス 厚5</div> <div></div> <div>直径1m以上の円が内接</div>			

※特記なき限り内観図とする

記号 個数		3 撤去 (エレベータ設置)		2 既存改修 (ガラス改修) (防火設備改修)		3 既存改修 (ガラス改修) (防火設備改修)		2 既存改修 (ガラス・ガラリ改修) (防火設備改修)		2 既存改修 (カバー工法＋ガラス改修)		(防火設備改修・代替進入口改修)	
姿 図		<p>(撤去は枠共)</p>											
使用箇所		1～4階 渡り廊下 (EV設置部)		普通教室棟 2階 廊下		普通教室棟 2, 3, 4階 廊下		ZAM-13A: 普通教室棟 1階 体育行事ルーム、2階 男子更衣室 ZAM-13A': 普通教室棟 2階 女子更衣室		普通教室棟 3階 廊下		改修 (カバー工法＋ガラス改修) ※カバー工法枠寸法はメーカー仕様による ※有効開口寸法はW750×H1,200以上とする (代替進入口)	
種別方式		2段引き違い窓		2連2段引き違い窓		2連2段引き違い窓		2段ランマガラリ及び引き違い窓		2連2段引き違い窓		2連引き違い窓 (カバー工法)	
見 込		70		70		70		60		70		70	
仕 上		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー	
ガ ラ ス		学校用強化ガラス 厚4		既存: 学校用強化ガラス 厚4 撤去 新設: 網入透明ガラス 厚6.8 新設		既存: 学校用強化ガラス 厚4 撤去 腰部: 網入型板ガラス 厚6.8 新設: 網入透明ガラス 厚6.8 新設 腰部: 網入型板ガラス 厚6.8 (既存のまま)		網入型板ガラス 厚6.8 (1階体育行事ルーム、2階男子更衣室)		学校用強化ガラス 厚4 撤去		網入透明ガラス 厚6.8	
金 物												附属金物一式	
備 考								※ZAM-13A' 2階 女子更衣室は既存ガラリ塞ぎのみ					
記号 個数		2 既存改修 (カバー工法＋ガラス改修) (代替進入口改修)		2 既存改修 (カバー工法) (代替進入口改修)		2 既存改修 (カバー工法) (代替進入口改修)		2 既存改修 (カバー工法) (代替進入口改修)		2 既存改修 (カバー工法) (代替進入口改修)		2 既存改修 (カバー工法) (代替進入口改修)	
姿 図													
使用箇所		普通教室棟 4階 廊下		普通教室棟 3階 廊下、ホール		普通教室棟 3階 廊下、ホール		普通教室棟 4階 廊下、ホール		普通教室棟 4階 廊下、ホール		普通教室棟 4階 廊下、ホール	
種別方式		2連2段引き違い窓		2連引き違い窓 (カバー工法)		2連引き違い窓 (カバー工法)		引き違い窓 (カバー工法)		2段引き違い窓		引き違い窓 (カバー工法)	
見 込		70		70		70		70		70		70	
仕 上		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー	
ガ ラ ス		学校用強化ガラス 厚4		学校用強化ガラス 厚4		学校用強化ガラス 厚4		学校用強化ガラス 厚4		学校用強化ガラス 厚4		学校用強化ガラス 厚4	
金 物				附属金物一式				化粧棧 附属金物一式				化粧棧 附属金物一式	
備 考													
記号 個数		4 既存改修 (カバー工法) (代替進入口改修)		3 既存改修 (カバー工法) (代替進入口改修)		3 既存改修 (カバー工法) (代替進入口改修)		3 既存改修 (カバー工法) (代替進入口改修)		3 既存改修 (カバー工法) (代替進入口改修)		3 既存改修 (カバー工法) (代替進入口改修)	
姿 図													
使用箇所		普通教室棟 3階、4階 階段室2		普通教室棟 3階 渡り廊下		普通教室棟 3階 渡り廊下		普通教室棟 4階 渡り廊下		普通教室棟 4階 渡り廊下		普通教室棟 4階 渡り廊下	
種別方式		2段引き違い窓		引き違い窓 (カバー工法)		2段引き違い窓		引き違い窓 (カバー工法)		2段引き違い窓		引き違い窓 (カバー工法)	
見 込		70		70		70		70		70		70	
仕 上		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー	
ガ ラ ス		学校用強化ガラス 厚4		学校用強化ガラス 厚4		学校用強化ガラス 厚4		学校用強化ガラス 厚4		学校用強化ガラス 厚4		学校用強化ガラス 厚4	
金 物				化粧棧 附属金物一式				化粧棧 附属金物一式				化粧棧 附属金物一式	
備 考													

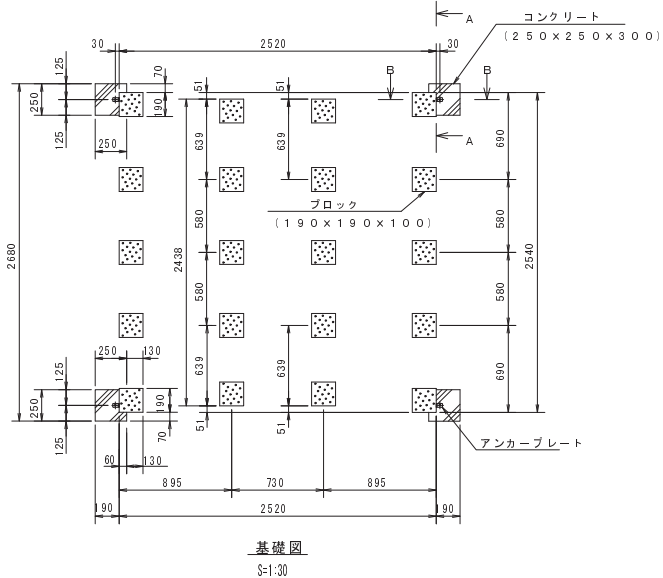
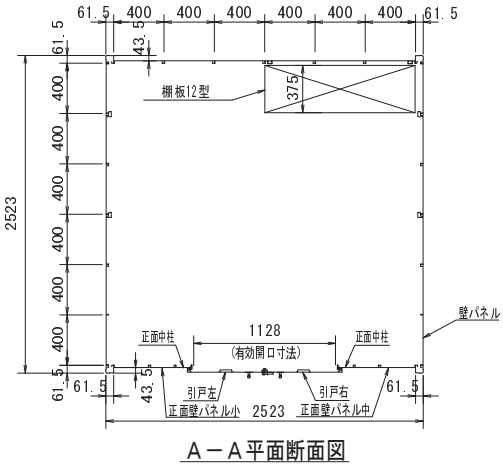
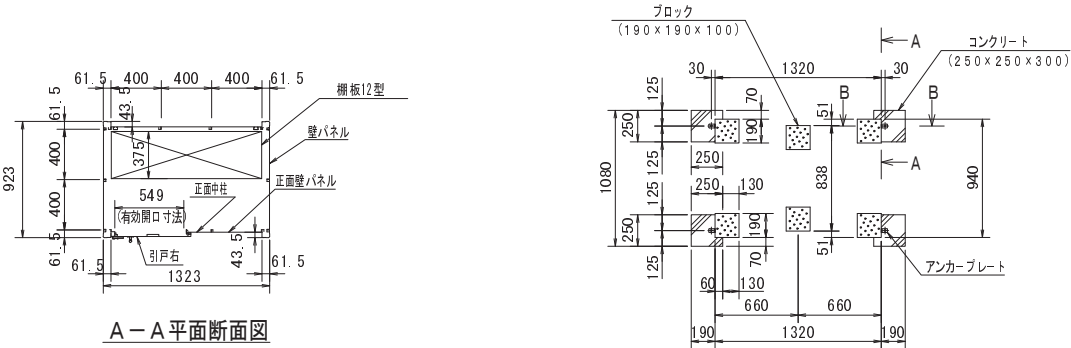
千葉市都市局建築部営繕課				工事名 千葉市立弥生小学校エレベータ設置工事				設計年月日 令和 7年 10月 日				設計年月日 令和 年 月 日				設計年月日 令和 年 月 日				図 面 名 建具表 1		縮 尺 A1 1:50 A3 1:100		図 番 号 A-22	
--------------	--	--	--	---------------------------	--	--	--	----------------------	--	--	--	-------------------	--	--	--	-------------------	--	--	--	----------------------	--	-------------------------------	--	---------------------	--

記号 個数		2 既存改修（カバー工法） <div>既存</div> <div></div>		（代替進口改修）		4 既存改修（カバー工法） <div>既存</div> <div></div>		（防火設備改修・代替進口改修）		1 既存改修（カバー工法） <div>既存</div> <div></div>		（代替進口改修）													
使用箇所		普通教室棟 3階、4階 階段室3				普通教室棟 3、4階 女子更衣室・男子更衣室				特別教室棟 4階 廊下															
種別方式		2段引き違い窓		引き違い窓（カバー工法）		2段ランマガラリ及び引き違い窓		引き違い窓（カバー工法）		3連2段引き違い窓		引き違い窓（カバー工法）													
見 込		70		70		3階：60、4階：70		70		70		70													
仕 上		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー													
ガラス		体育行事ルーム：型板強化ガラス 厚4 男子更衣室：学校用強化ガラス 厚4		学校用強化ガラス 厚4		女子更衣室：網入型板ガラス 厚6.8 男子更衣室：学校用強化ガラス 厚4		網入型板ガラス 厚6.8		透明強化ガラス 厚5		透明強化ガラス 厚5													
金 物				化粧棧 附属金物一式				附属金物一式				化粧棧 附属金物一式													
備考																									
記号 個数		AW 8 2 既存改修（カバー工法） <div>既存</div> <div></div>		（代替進口改修）		AW 10 1 既存改修（カバー工法） <div>既存</div> <div></div>		（代替進口改修）		AW 106 1 既存改修（カバー工法） <div>既存</div> <div></div>		（代替進口改修）													
使用箇所		特別教室棟 3階、4階 階段室1		改修（カバー工法） ※カバー工法特寸法はメーカー仕様による ※有効開口寸法はW750×H1,200以上とする（代替進口）		特別教室棟 3階 廊下		改修（カバー工法） ※カバー工法特寸法はメーカー仕様による ※有効開口寸法はW750×H1,200以上とする（代替進口）		特別教室棟 4階 音楽室		改修（カバー工法） ※カバー工法特寸法はメーカー仕様による ※有効開口寸法はW750×H1,200以上とする（代替進口）													
種別方式		2連2段引き違い窓		引き違い窓（カバー工法）		2段引き違い窓		引き違い窓（カバー工法）		3連2段引き違い窓		引き違い窓（カバー工法）													
見 込		3階：60、4階：70		70		3階：60		70		70		70													
仕 上		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー													
ガラス		透明強化ガラス 厚5		透明強化ガラス 厚5		透明強化ガラス 厚5		透明強化ガラス 厚5		透明強化ガラス 厚5		透明強化ガラス 厚5													
金 物				化粧棧 附属金物一式				化粧棧 附属金物一式				化粧棧 附属金物一式													
備考																									
記号 個数		AW 106 1 既存改修（カバー工法） <div>既存</div> <div></div>		（代替進口改修）		AW 109 1 既存改修（カバー工法） <div>既存</div> <div></div>		（代替進口改修）																	
使用箇所		特別教室棟 3階 コンピュータ室		改修（カバー工法） ※カバー工法特寸法はメーカー仕様による ※有効開口寸法はW750×H1,200以上とする（代替進口）		特別教室棟 3階 女子トイレ1		改修（カバー工法） ※カバー工法特寸法はメーカー仕様による ※ガラス寸法は直径1m以上の円が内接すること（代替進口）																	
種別方式		3連2段引き違い窓		引き違い窓（カバー工法）		2段引ランマ：アルミパネル引き違い窓		ハメ殺し窓（カバー工法）																	
見 込		70		70		70		70																	
仕 上		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー		アルミ シルバー																	
ガラス		透明強化ガラス 厚5		透明強化ガラス 厚5		透明強化ガラス 厚5		型板強化ガラス 厚5																	
金 物				化粧棧 附属金物一式				附属金物一式																	
備考																									
千葉市都市局建築部営繕課				工事名 千葉市立弥生小学校エレベータ設置工事				設計年月日 令和 7年 10月 日				設計年月日 令和 年 月 日				設計年月日 令和 年 月 日				図面名 建具表 2		縮尺 A1 1:50 A3 1:100		図書号 A-23	



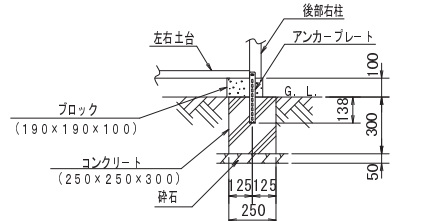
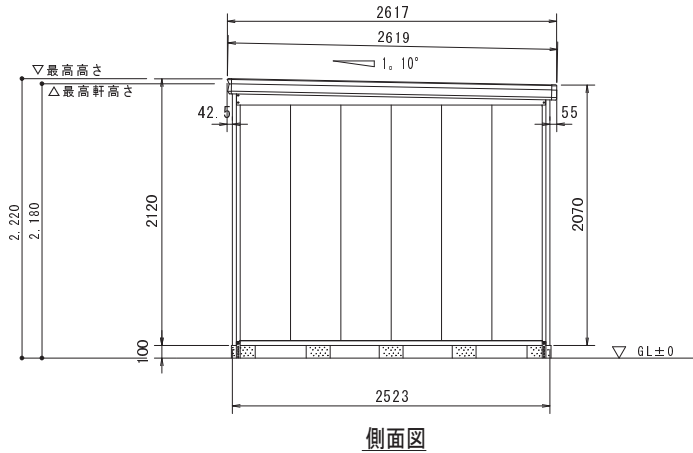
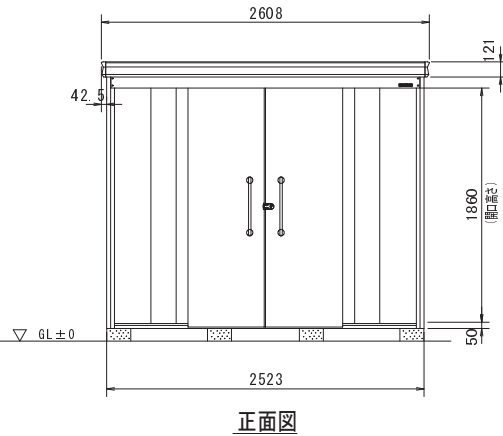
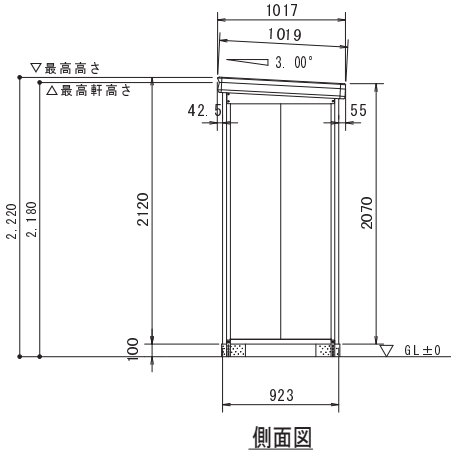
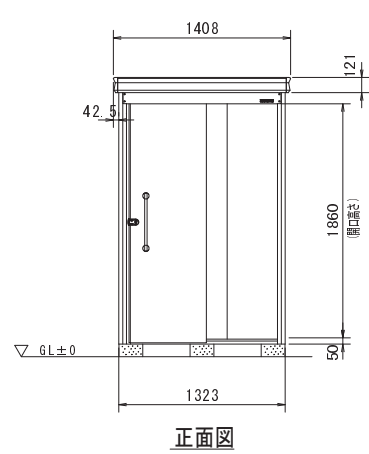
■倉庫 ㊟
参考図／(株)ダイケン：ガーデンハウス DM-Z1309同等品以上

■倉庫 ㊟
参考図／(株)ダイケン：ガーデンハウス DM-Z2525同等品以上

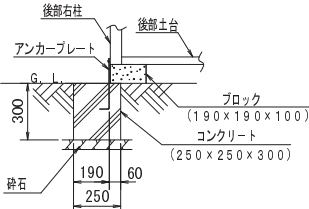


主要部材仕様表		
No	部材名	厚さ (mm) 材質
1	〔正面・後部・左右〕土台	t0.8 カラーガルバリウム鋼板
2	増大	t1.0 高耐食溶融亜鉛めっき鋼板
3	床板	t0.7 カラー鋼板
4	床板調整	t0.8 カラーガルバリウム鋼板
5	床板押え	t0.8 カラーガルバリウム鋼板
6	下レール	t1.0 カラーガルバリウム鋼板
7	〔正面左・正面右・後部左・後部右〕柱	t0.8 カラーガルバリウム鋼板
8	正面中柱	t0.8 カラーガルバリウム鋼板
9	パネルカバー	t0.5 カラーガルバリウム鋼板
10	正面扉	t1.0 カラーガルバリウム鋼板
11	後部扉	t0.7 カラーガルバリウム鋼板
12	左梁	t0.7 カラーガルバリウム鋼板
13	右梁	t0.7 カラーガルバリウム鋼板
14	扉隠し	t0.7 カラーガルバリウム鋼板
15	雨樋	t0.7 カラーガルバリウム鋼板
16	正面化粧板	t1.0 カラーガルバリウム鋼板
17	母屋A	t1.0 カラーガルバリウム鋼板
18	母屋B	t1.0 カラーガルバリウム鋼板
19	壁パネル	t0.5 カラーガルバリウム鋼板
20	正面壁パネル中	t0.5 カラーガルバリウム鋼板
21	正面壁パネル小	t0.5 カラーガルバリウム鋼板
22	屋根パネル	t0.5 カラーガルバリウム鋼板
23	引戸左・右 (NW)	t0.5 溶融亜鉛めっき鋼板
24	引戸左・右 (NE)	t0.5 溶融亜鉛めっき鋼板
25	欄板12型	t0.5 カラーガルバリウム鋼板
26	根受	t1.0 カラーガルバリウム鋼板
27	根受支柱	t1.5 カラー鋼板

※屋根：不燃材料／NM-8697 (H12建告1365号第1ー)



A-A 基礎断面図
(S=1/30)

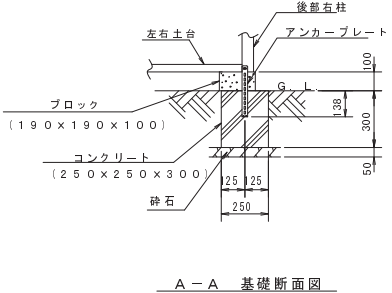
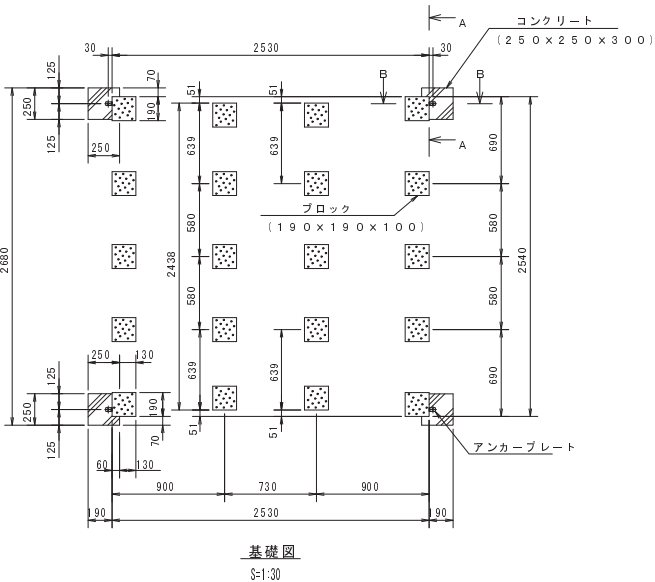


B-B 基礎断面図
(S=1/30)

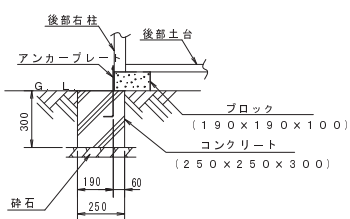
コンクリート：F_c=24N/mm²、S=18とする。

※周囲地盤面は高低差なし（設計GL±0=平均GL）

㊟ 移設倉庫詳細図 ※位置は現場再確認（校舎延焼ラインに注意すること）

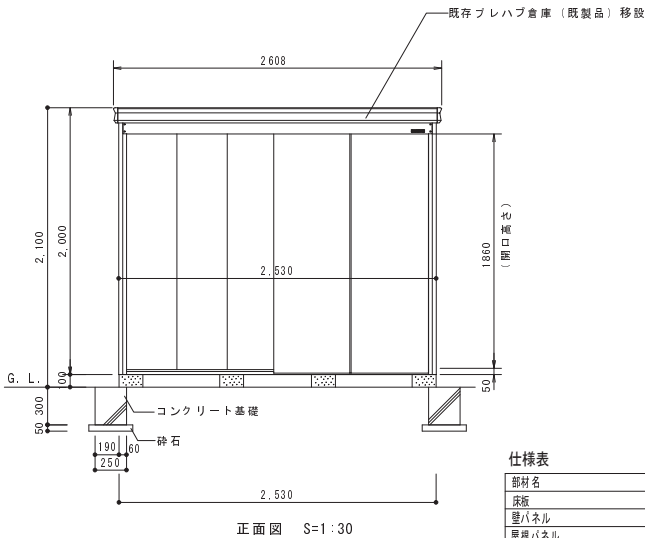


A-A 基礎断面図
(S=1:20)

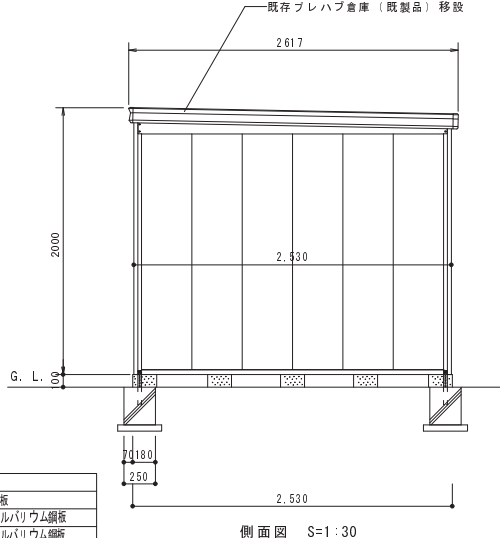


B-B 基礎断面図
(S=1:20)

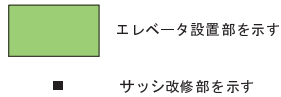
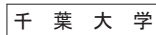
コンクリート：F_c=24N/mm²、S=18とする。



仕様表	
部材名	材質
床板	カラー鋼板
壁パネル	カラーガルバリウム鋼板
屋根パネル	カラーガルバリウム鋼板
引戸	溶融亜鉛めっき鋼板



側面図 S=1:30

千葉市都市局建築部営繕課

工事名

千葉市立弥生小学校エレベータ設置工事

設計年月日		令和 7年 10月 日		設計年月日		令和 年 月 日		設計年月日		令和 年 月 日		図 面 名
特 記 事 項				特 記 事 項				特 記 事 項				

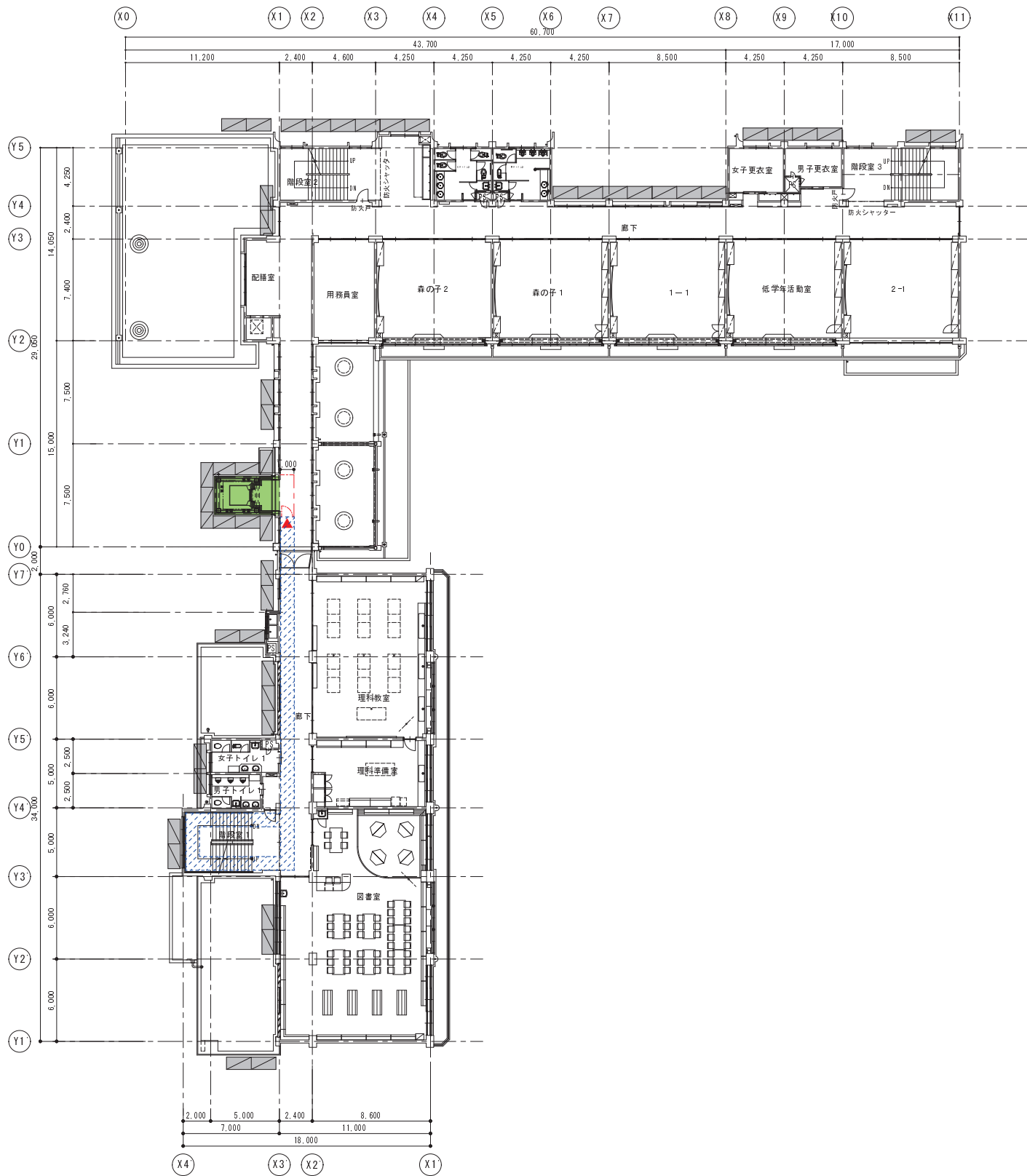
外部仮設計画図（参考図）

縮 尺	A1	1:400	図 面 番 号	A-26
	A3	1:800		



今回増築部

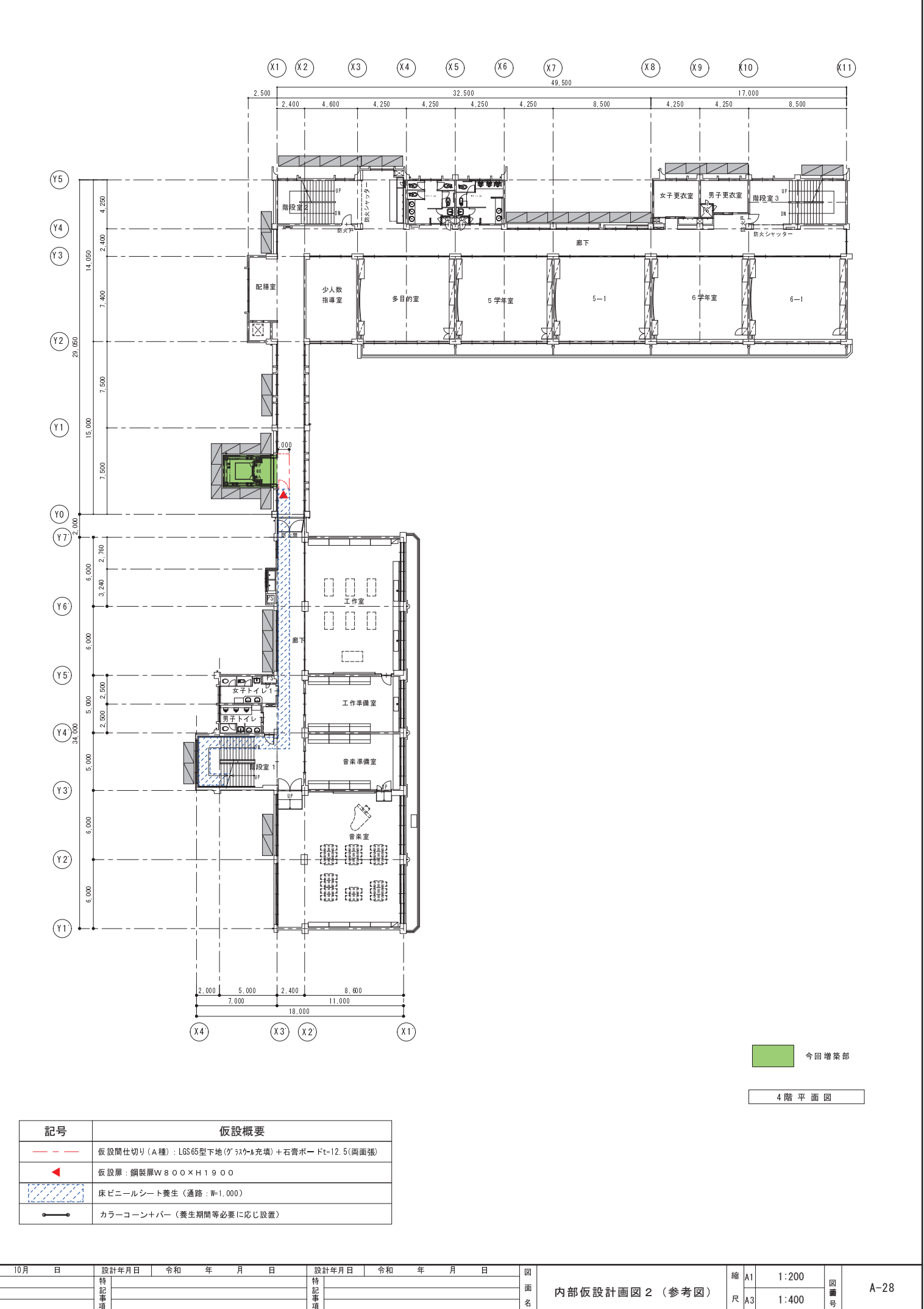
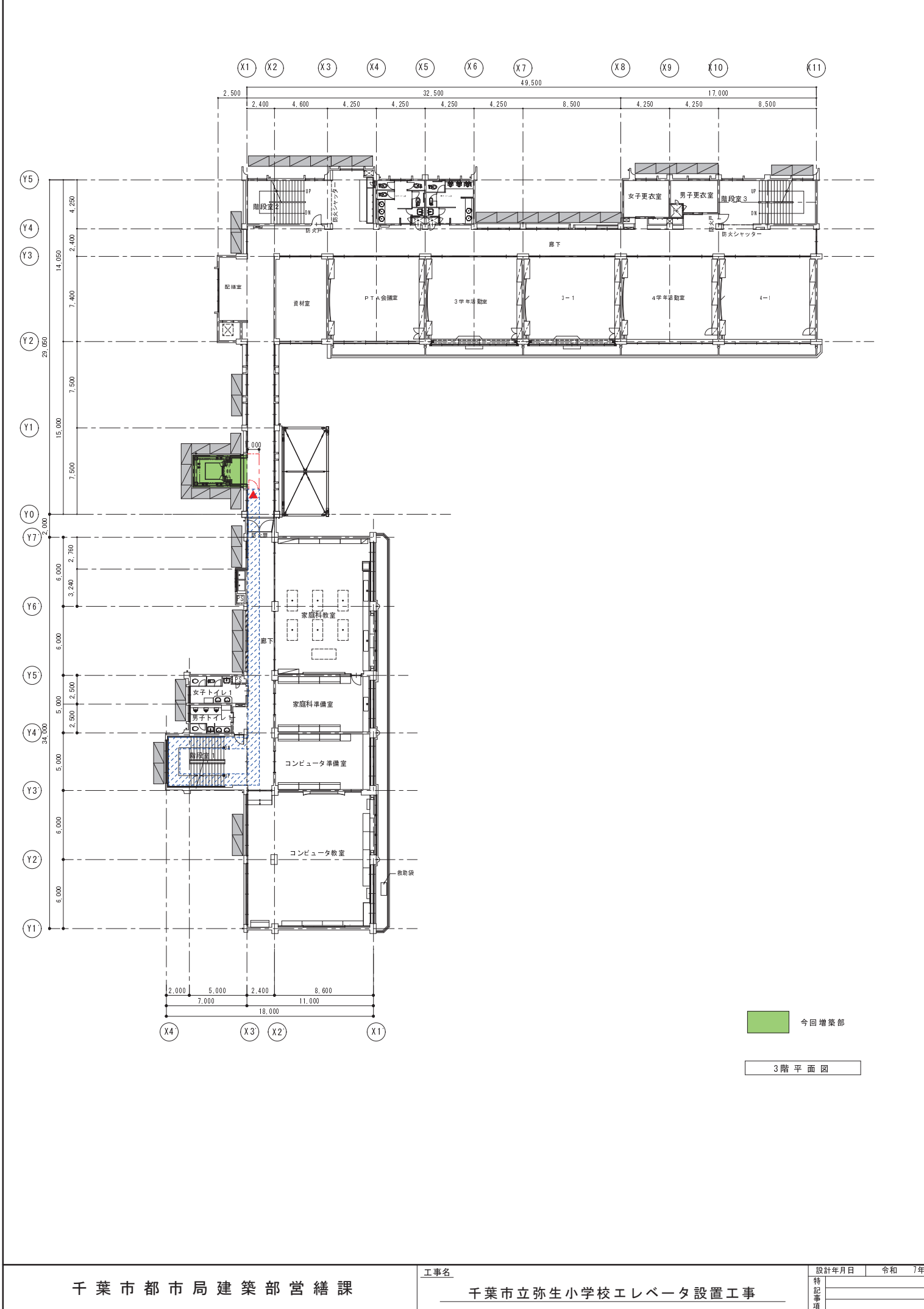
1 階平面図

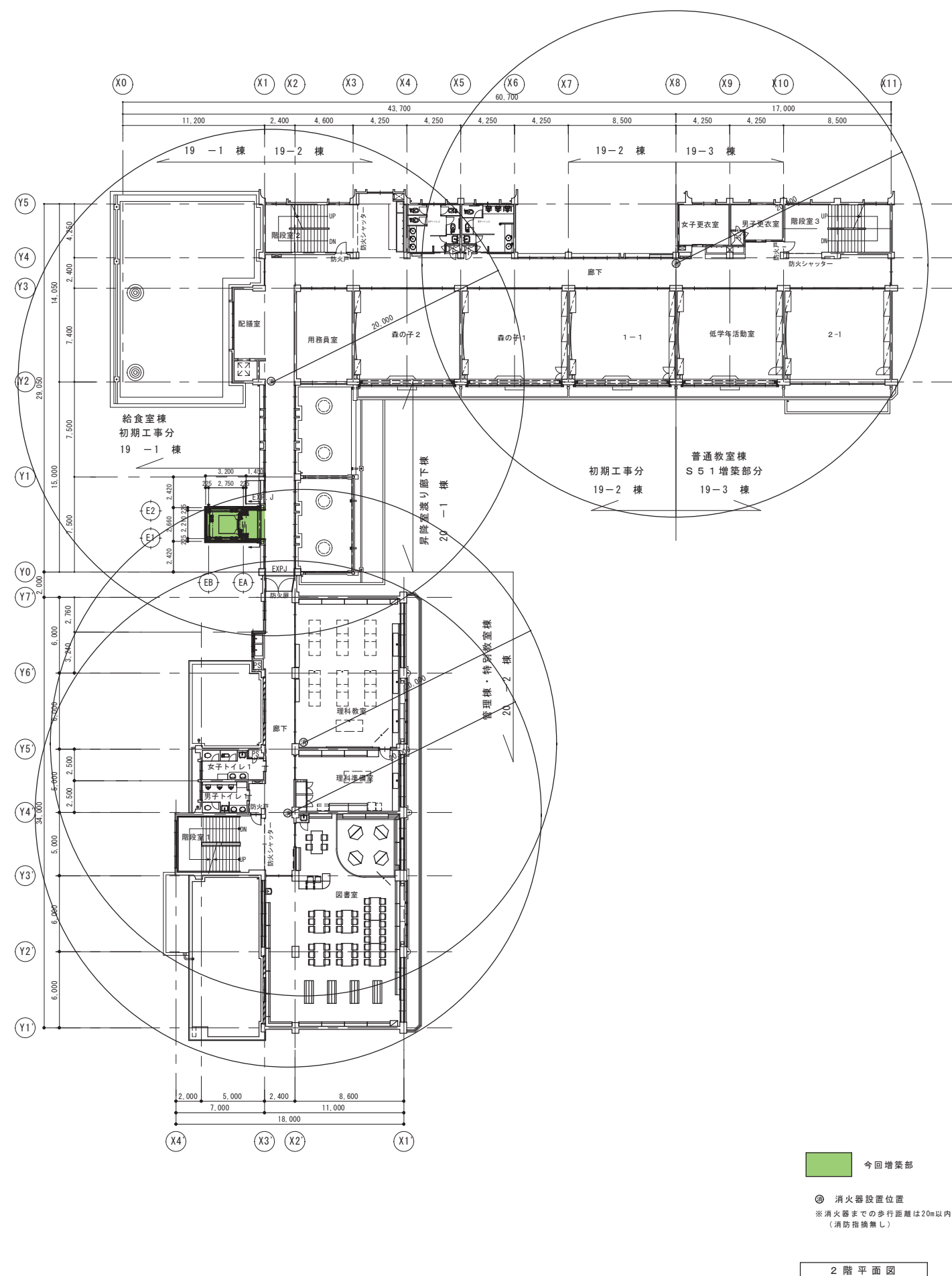


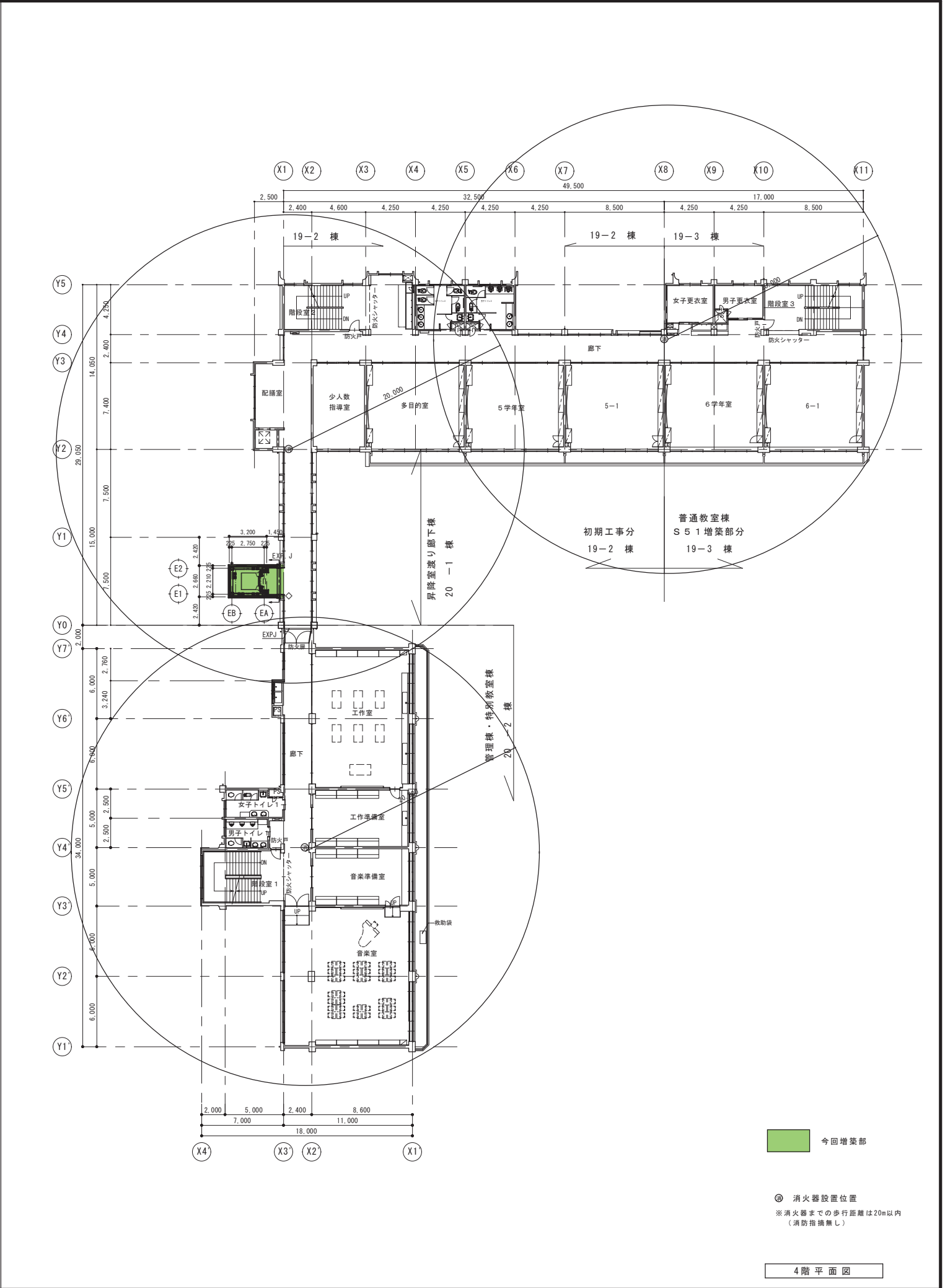
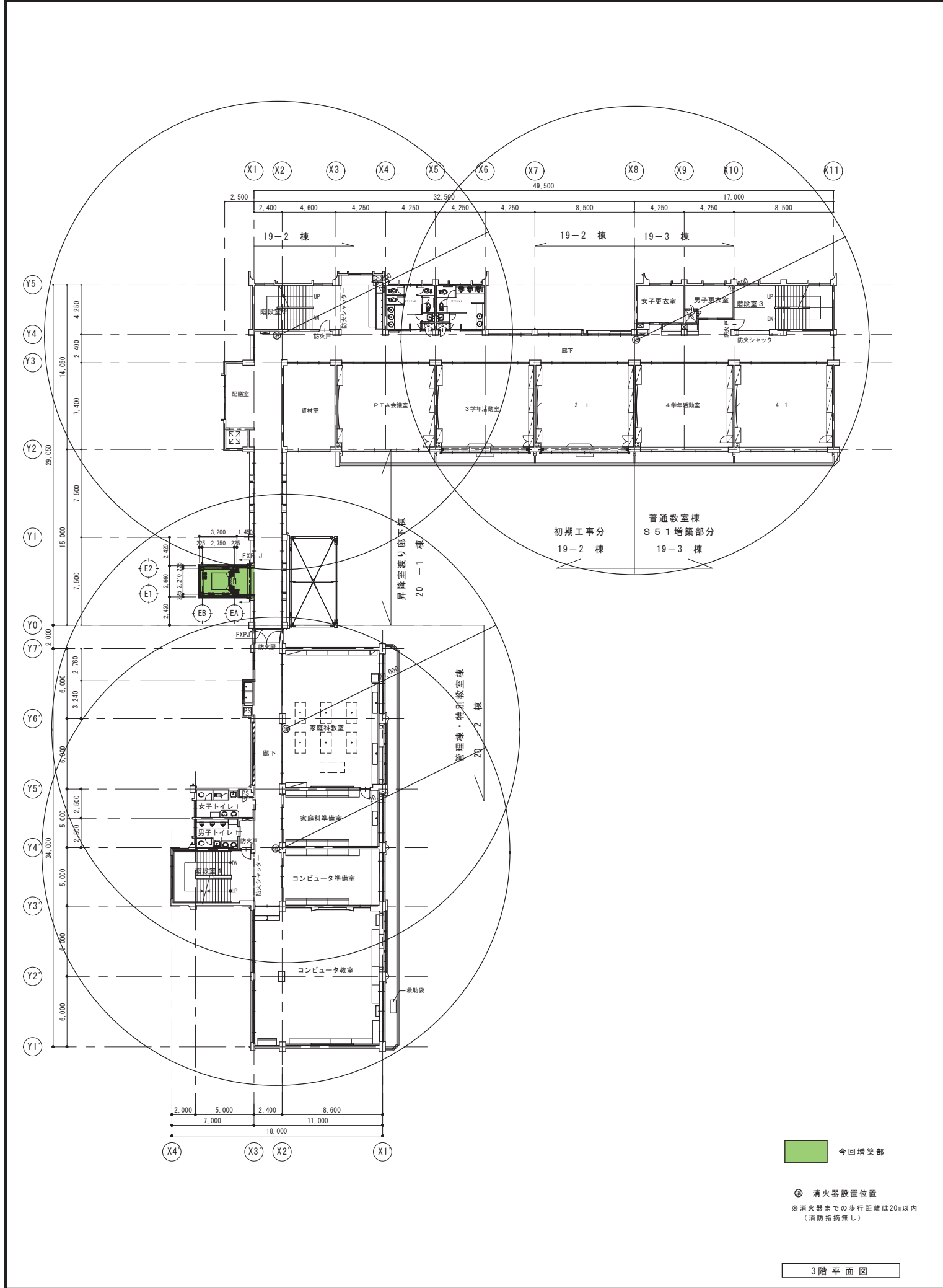
今回増築部

2 階平面図

記号	仮設概要
---	仮設間仕切り (A種) : LGS65型下地 (9°スラック充填) + 石膏ボードt=12.5 (両面張)
▲	仮設扉 : 鋼製扉W800×H1900
◆	作業員出入口
床ビニールシート養生 (通路 : W=1,000)	
カラーコーン+バー (養生期間等必要に応じ設置)	







構造設計標準仕様

適用は●印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 千葉市立弥生小学校エレベータ設置工事
建築場所 千葉市稲毛区弥生町3番18号
- (2) 工事種別 □新築 ●増築 □増改築 □改築
- (3) 構造種別
□木造 (W) □補強コンクリートブロック (CB) ●鉄骨造 (S)
□鉄筋コンクリート造 (RC) □壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
□鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) □壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
□プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)
- (4) 階数
地下 0 階 地上 4 階 塔屋 0 階
- (5) 主要用途 昇降機上屋
- (6) 屋上付属物
□高架水槽 kN □キューピクル kN □広告塔 □煙突
- (7) 特別な荷重
●エレベータ 1 1 人乗 (ロープ式 油圧式) □リフト kN □ホイスト kN
□倉庫積載床用 N/m² □受水槽 kN
- (8) 付帯工事
□門扉 □擁壁 □
- (9) 増築計画 □有 () ●無
- (10) 構造計算ルート X方向ルート 3 - () Y方向ルート 3 - ()

2. 使用構造材料

（1）コンクリート					
適用箇所	種類	設計基準強度 F _c =N/mm ²	品質管理強度 F _q =N/mm ²	スランプ cm	備考
給コンクリート	●普通	F _c = 18	F _q =		
土間コンクリート	●普通	F _c = 18	F _q =		
基礎・基礎梁	●普通	F _c = 24	F _q = 24	18.0	比重 2.3
2～4F床	●普通 □軽量	F _c = 21	F _q = 21	18.0	比重 2.3
その他	□普通 □軽量	F _c =	F _q =		比重
押えコンクリート	□普通 □軽量	F _c =	F _q =		比重
混和剤					

（2）コンクリートブロック (CB)					
□A種 □B種 □C種	厚	□100 □120 □150 □197			

（3）鉄筋				
種類	径	使用箇所	継手工法	
異形鉄筋	●SD295A	D10～D16	●重ね継手	
	□SD295B		D19未満	
	●SD345	D19～D25	●ガス圧接継手	
	□		D19以上	
高強度せん断補強筋	□		□特殊継手	
丸鋼	□SR235		()	
溶接金網 (JIS G 3551)	●	デッキプレートで使用		

4) 鉄 骨				
種 類		使用箇所	現場溶接	備 考
<input type="checkbox"/> SS400	<input type="checkbox"/> SM400	<input checked="" type="checkbox"/> SN400B	梁	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> STKR400	<input type="checkbox"/> STKR490	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<input checked="" type="checkbox"/> BCR295	<input type="checkbox"/> BCP235	<input type="checkbox"/>	柱	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> SM490A	<input checked="" type="checkbox"/> SN490C	<input type="checkbox"/>	ダクト・ケーブル	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<input checked="" type="checkbox"/> SSC400	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補助材他	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

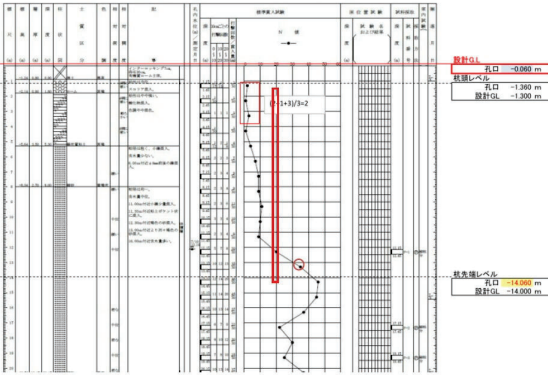
○使用箇所の詳細については別途図示とする。

5) ボ ル ト						
<input checked="" type="checkbox"/> 高力ボルト	<input checked="" type="checkbox"/> 普通: F10T	<input checked="" type="checkbox"/> 特殊: S10T	認定品 (<input type="checkbox"/> M12	<input checked="" type="checkbox"/> M16	<input checked="" type="checkbox"/> M20	<input type="checkbox"/> M22)
<input type="checkbox"/> 中ボルト		MLF-9006	高力ボルトすべり係数試験	<input type="checkbox"/> 要	<input type="checkbox"/> 否	
	M	M	高力ボルト導入強力確認試験	<input checked="" type="checkbox"/> 要	<input type="checkbox"/> 否	
<input checked="" type="checkbox"/> アンカーボルト						
ベースバック使用						
<input type="checkbox"/> 頭付スタッド						
φ = 19	L =	mm	使用箇所 (<input type="checkbox"/> 柱	<input type="checkbox"/> 大梁	<input type="checkbox"/> 小梁)	
φ =	L =	mm	使用箇所 (<input type="checkbox"/> 柱	<input type="checkbox"/> 大梁	<input type="checkbox"/> 小梁)	

6) 屋 根 ・ 床 ・ 壁			使用箇所
<input checked="" type="checkbox"/> デッキプレート	型式 ALC-125		外 壁
<input type="checkbox"/> 折版	H =	厚	
<input checked="" type="checkbox"/> デッキプレート	型式 QL99-50-12	EV-50-1.2	EZ-50-1.2 床 屋根
<input type="checkbox"/> キーストンプレート	型式	厚	
<input type="checkbox"/> 特殊デッキプレート			
<input type="checkbox"/>			

3. 地盤

- (1) 地盤調査資料
●有 (●敷地内 □近隣) ●ボーリング調査 □平板載荷試験 ●水平地盤反力係数の測定
□液状化判定 □現場透水試験 ●土質試験
□無 (調査予定 □有 □無)
- (2) 地盤調査計画
□ボーリング調査 □静的貫入試験 □標準貫入試験 □水平地盤反力係数の測定
□土質試験 □物理探査 □平板載荷試験 □試験堀 (支持層の確認)
- (3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
- (4) ボーリング標準貫入値、土質構成



4. 地業工事

（1）直接基礎				
□ベタ基礎	□布基礎	□独立基礎	試験堀	□有 □無
深さ GL	m	支持層		
長期許容支持力	KN/m ²	載荷試験	□有 □無	

（2）杭基礎				
杭種	材料	施工法	備考	
□RC □PRC	PRC (□I種□II種□III種)	□打ち込み		
□PHC □H鋼	PHC (□A種□B種□C種)	□埋込み (セメントミルク工法)		
●鋼管 □摩擦杭	鋼材 □SS400 □STK400	●羽根付き鋼管杭		
□	□SS490 □STK490			
□場所打ち	コンクリート F _c = N/mm ²	□オールケーシング □拡底杭	拡底杭	
コンクリート杭	スラップ cm	□リバースサーキュレーション	日本建築19年定	
	セメント量 kg/m ³	□アースドリル □ミニアース	第 号	
	鉄筋 主筋 SD	□BH □深礎	年 月 日	
	HOOP SD	□機械掘		
杭仕様	●施工計画承認	●杭施工結果報告書	●性能証明書等	
試験杭	(●有 □無)	(●打ち込み □載荷)	最初の 1 本	

杭径 (mm)	設計支持力 (KN)	杭長 (m)	本数	特記事項
φ 267.4 (t=8)	673KN	20m	4	
φ 700 (t=28)				

5. 鉄筋コンクリート工事

- (1) コンクリート
●コンクリートは JIS 認定品とし施工に関しては JASS5 (1997)による。
●耐久設計基準強度 F_b □一般 ●標準 □長期
●セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
●鋼骨計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
●寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
●フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。
●測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
●構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
●また、打ち込み量が150m³を超える場合は、150m³ごとは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。
●ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送機または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は15分、25℃以上の場合は12分以内とする。

- (2) 鉄筋
●鉄筋は JIS G3112の規格品を標準とする。施工は JASS5 (1997)による。
□高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定されるD種1号適合品とする。
●鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
●D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
●ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200箇所を超えときは、200箇所ごと) に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
●外観検査 ●有 □無 引張試験 ●有 □無 超音波試験 ●有 ●無
●柱の帯筋 (H O O P) の加工方法は、●H型 (タ型) □W型 (溶接型) □S型 (スパイラル型) とする。

（3）型枠		せき板				支柱	
種類	単位	基礎・はり側・柱・壁	スラブ下・はり下	スラブ下	はり下		
コンクリートの圧縮強度	15℃以上	2	3	4	6	8	17
	5℃～15℃	3	5	6	10	12	25
	5℃未満	5	8	10	16	15	28
コンクリートの圧縮強度		5.0N/mm ²		設計基準強度の50%		設計基準強度の	
						85%	100%

- 注) 1 片持ばり、底、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛りかえ後の支柱顶部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は、工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による。
●日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
●鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
●日本建築センター「冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」
- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
●製作工場 ●製作要領書 ●工作図 ●施工計画書
●認定または登録工場 (R グレード)
●材料規格証明書または試験成績表
●鋼材 ●高力ボルト ●特殊ボルト □頭付スタッド
●社内検査表 □
- (3) 工事監理者が行う検査項目
(●印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
●現寸検査 □組立・開先検査 ●製品検査
●建方検査 □ □
- (4) 接合部の溶接は下記によること
●日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
●日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

- (5) 接合部の検査
●溶接部の検査溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)
- | 検査箇所 | 検査方法 | 検査率又は検査数 | | | 備考 |
|---|------------|----------|------------|-------|---|
| | | 社内 | 第三者 | 工事監理者 | |
| ●完全溶込み溶接部 | 超音波探傷試験 | 100 % | 30 (100 %) | 0 % | () 内は、大臣認定もしくは、都知事登録工場以外の工場の場合とする。 |
| □ | 外観 (目視) 検査 | 100 % | 100 % | 100 % | |
| □ | マクロ試験・その他 | % | % | % | |
| 第三者機関名 | | 未定 | | | 第三者検査機関名とは、建築主・工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社を言う。 |
| 第三者検査機関名とは、建築主・工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社を言う。 | | | | | |
- 注1) 現場溶接部については、原則として第三者検査機関による全数検査を行うこと。
注2) 現場溶接は、超音波探傷試験を100%行う事。
●高力ボルトは JIS B1186の高力ボルトを標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。ただしショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが503以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
●高力ボルトの締付けに使用する機械はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。
- (6) 防錆塗装
●防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めのペイントは、JIS K5621、2回塗りを標準とする。
●現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。
- (7) 耐火被覆の材料
●耐火被覆1時間 (ロックウール吹付)

7. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
●設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
●床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

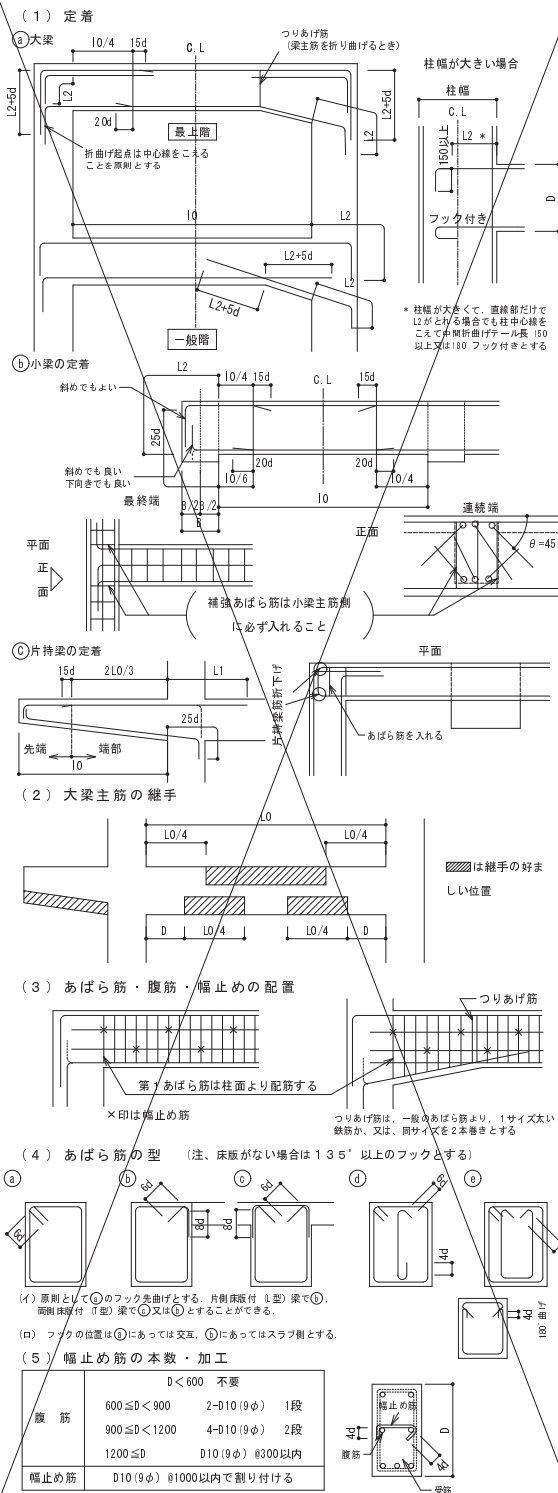
8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
●各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
●必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

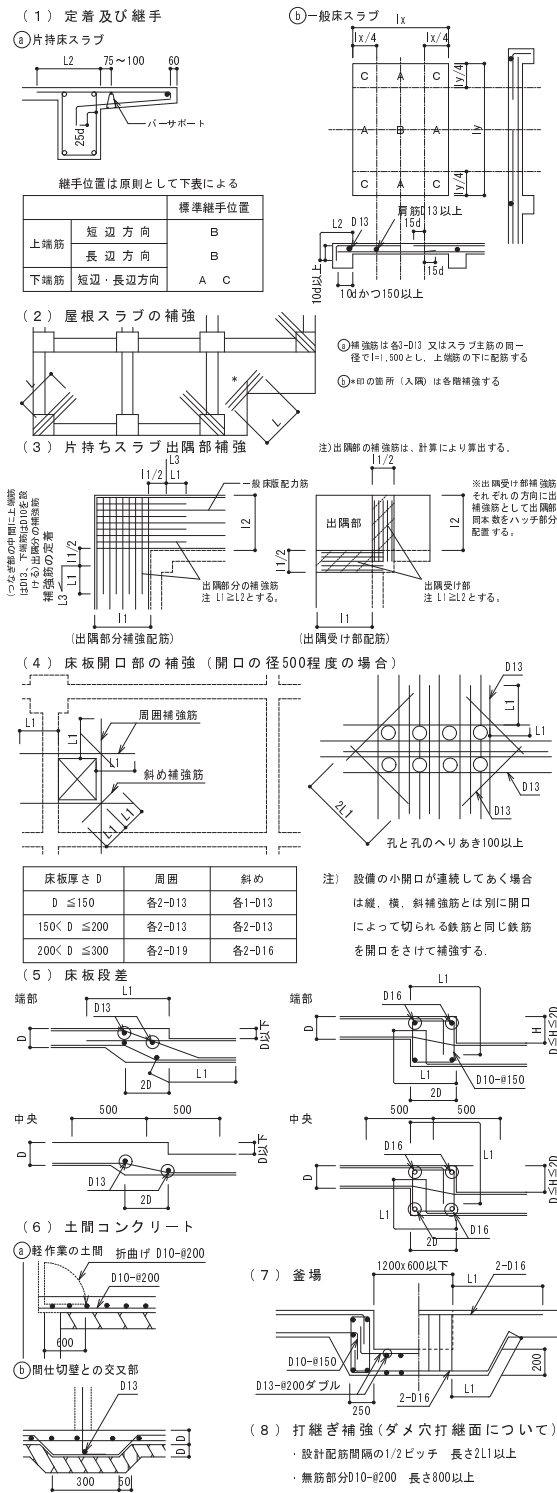
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

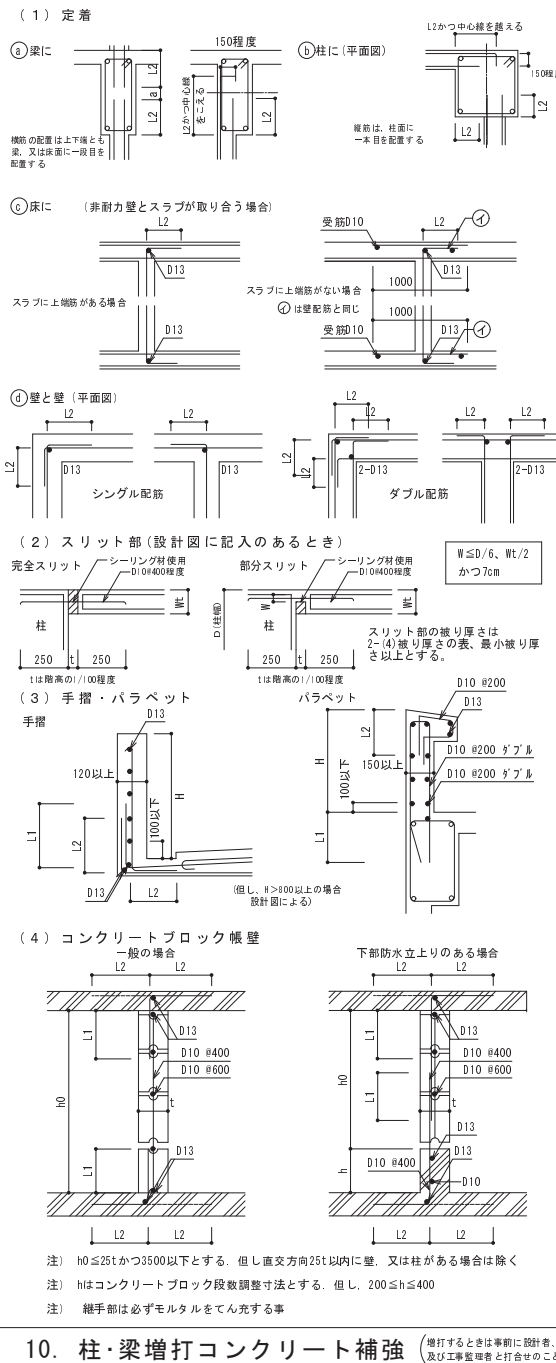
7. 大梁・小梁・片持梁

※変更事項 H.10年9月 7 (1)大梁下端筋曲上定着 7 (2)大梁主筋の継手
※改定 H.12年11月

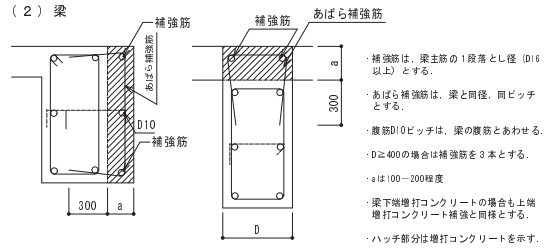
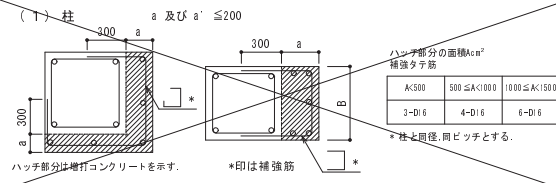
8. 床版



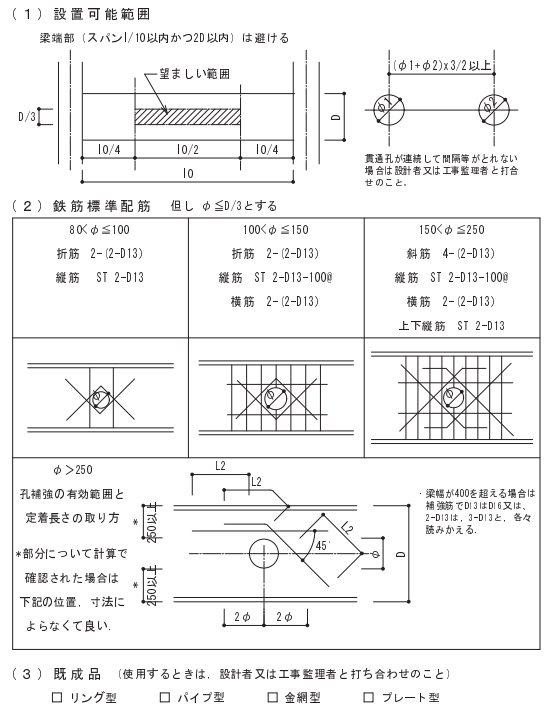
9. 壁



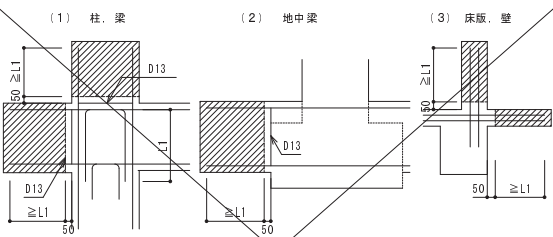
10. 柱・梁増打コンクリート補強

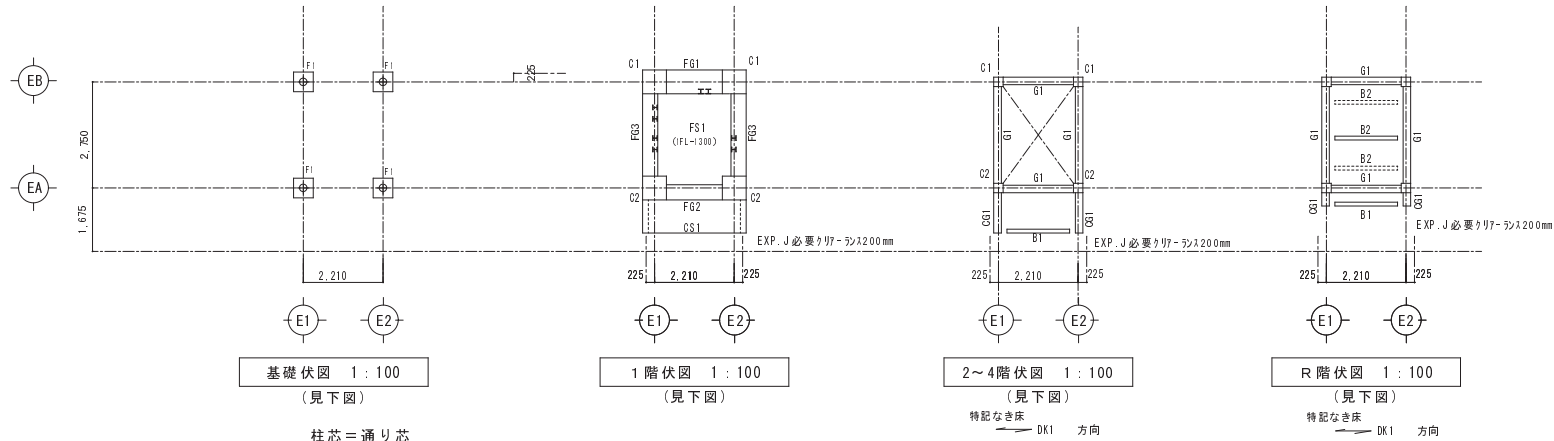


11. 梁貫通孔補強



12. 増築予定

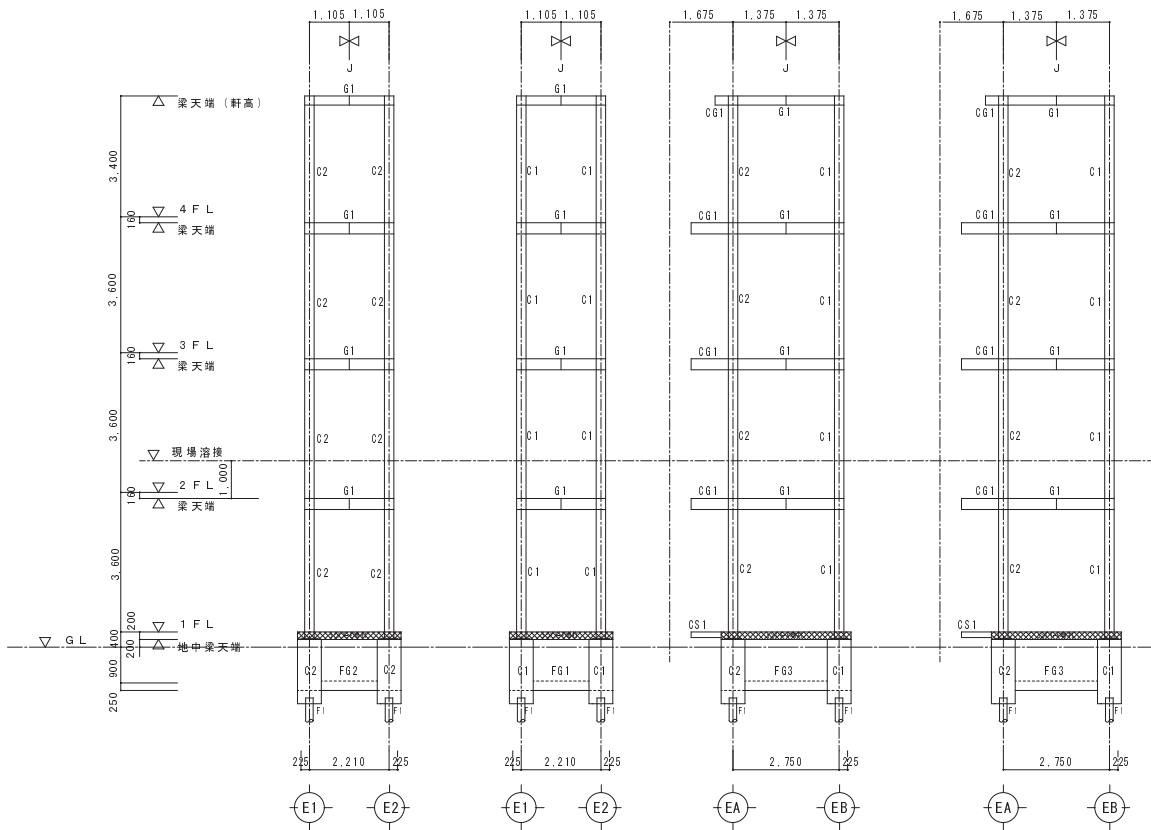




鉄骨部材リスト ■ 梁鋼種 : SN400B ■ ボルト : HTB-F10T、HTB-S10T ■ 設計 : 保有耐力継手

	鉄骨部材	JOINT						備 考		
R61	H-244x175x7x11	F	4-W20	外	PL-290×175×9	内	2PL-290×70×9	α	105	SN400B
		W	2-W20		2PL-170×140×9			⊙	60	
461 361 261	H-294x200x8x12	F	6-W20	外	PL-410×200×9	内	2PL-410×80×9	α	120	SN400B
		W	3-W20		PL-200×170×9			⊙	60	
C1	□-250x250x12	柱脚 25-16V		ベースバック仕様書 S-06参照						BCR295
C2	□-250x250x16	柱脚 25-16V		ベースバック仕様書 S-06参照						BCR295
B1	H-200x100x5.5x8	GPL- 6 H.T.B 2-M16								SN400B
B2	H-150x150x7x10	GPL- 9 H.T.B 2-M16								SN400B
RCG1	H-244x175x7x11									SN400B
3.2CG1	H-294x200x8x12									SN400B

※柱脚はベースバックとする。他の同等の工法(例 ハイベス等)の仕様の場合係員の承認の上、計算書及び図面を作成し、計画変更手続きを行う。
※外壁はALC壁厚125とする。
層間変形角が1/150以下の工法とする



地中梁リスト 1:40

※巾止筋は D10-#1000 とする

符 号	FG 1	FG 2	FG 3
位 置	全断面	全断面	全断面
断 面			
B x D	620 x 1350	400 x 1350	400 x 1350
上端筋	3 - D19	3 - D19	3 - D19
下端筋	3 - D19	3 - D19	3 - D19
腹筋	6 - D10	6 - D10	6 - D10
メタリヤ	□-D13 #200	□-D13 #200	□-D13 #200

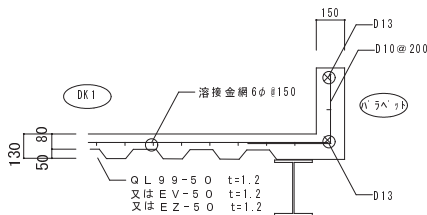
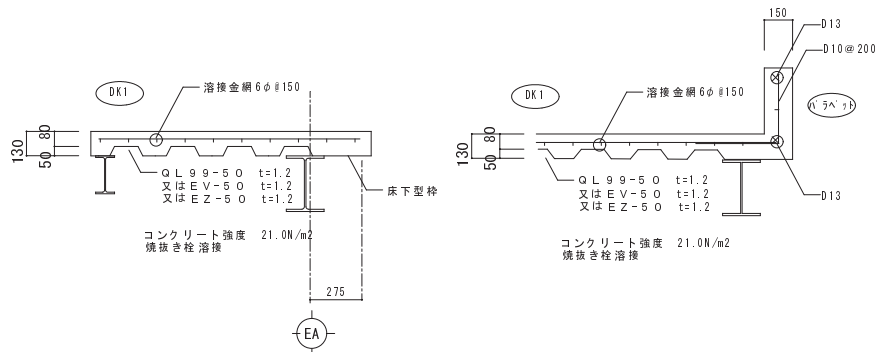
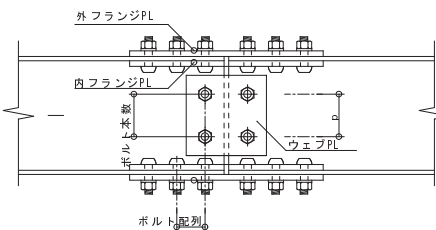
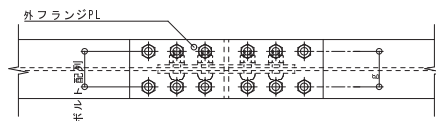
コンクリート設計基準強度 $F_c=24\text{N/mm}^2$

鉄筋 SD295A D16以下
SD345 D19以上

柱型 リスト 1:40

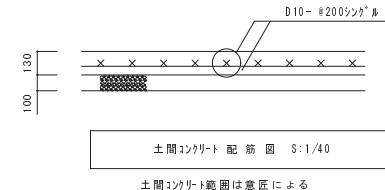
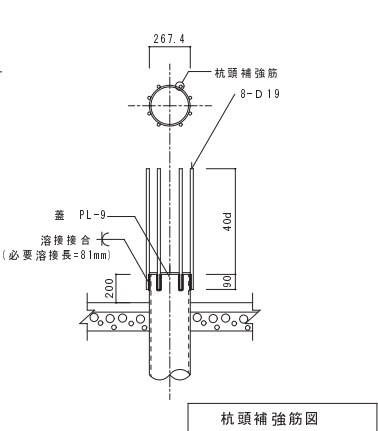
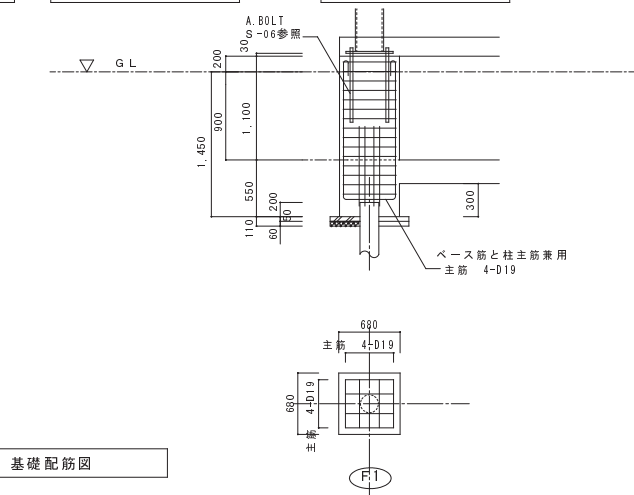
※露出型弾性固定柱脚工法仕様書による。

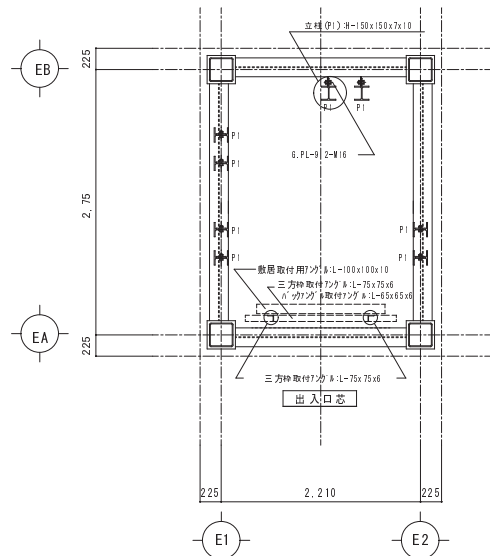
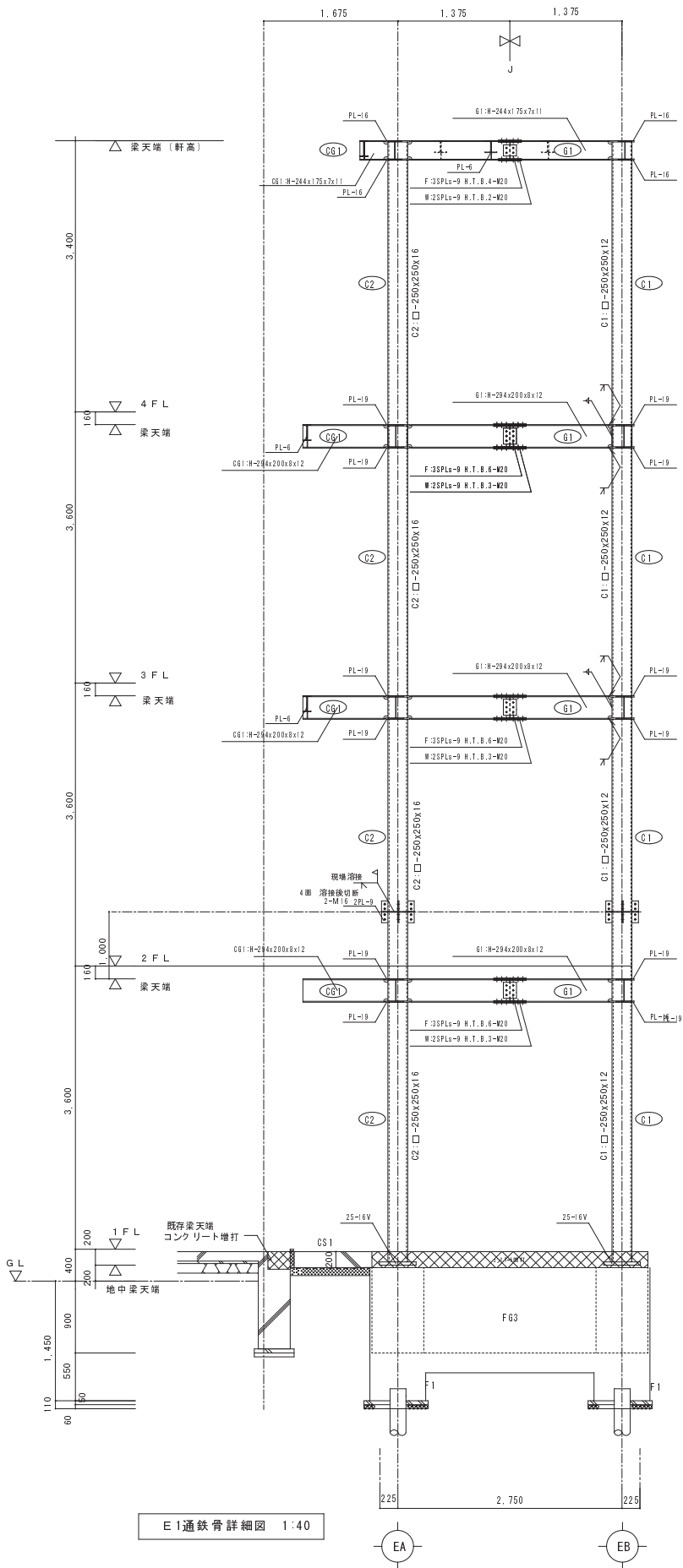
符 号	C1、2
断 面	
B x D	620 x 620
主 筋	12 - D19
H00P	□-D13 #100



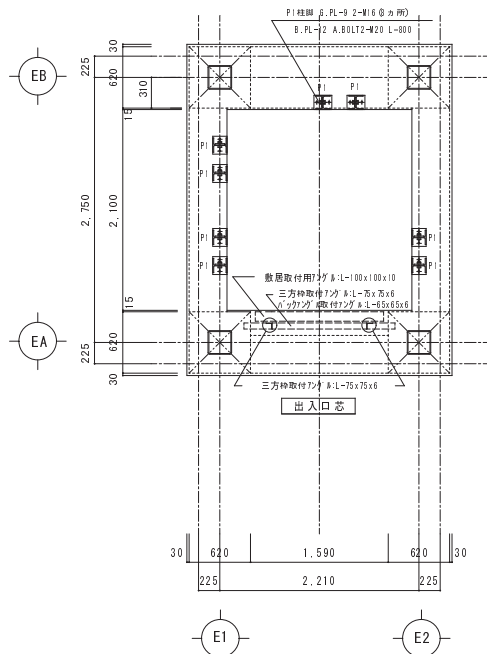
杭リスト	
工 法	羽根付き鋼管杭回転埋設工法
杭 種	F1 STK490 $\phi 267.4(t=8)$ 先端羽根部 SN490A $\phi 700(t=28)$
杭耐力	673KN 杭引耐力: 234KN
杭本数	4本
杭長	13m=5m(下)+4m(中)+4m(上)杭の継手はAKジョイント
施工誤差	100mm以下とする。100mmを超える場合は監理者と協議。

※ 杭は羽根付き鋼管杭回転埋設工法 とする。
下記3工法とする
G-ECS工法 認定番号 TACP-0595
e-pile next工法 認定番号 TACP-0493
EAZET工法 認定番号 TACP-0635
計算は、EAZET工法で算出している。
他工法の場合、監督員の承認の上、計算書を作成し経緯変更とする。



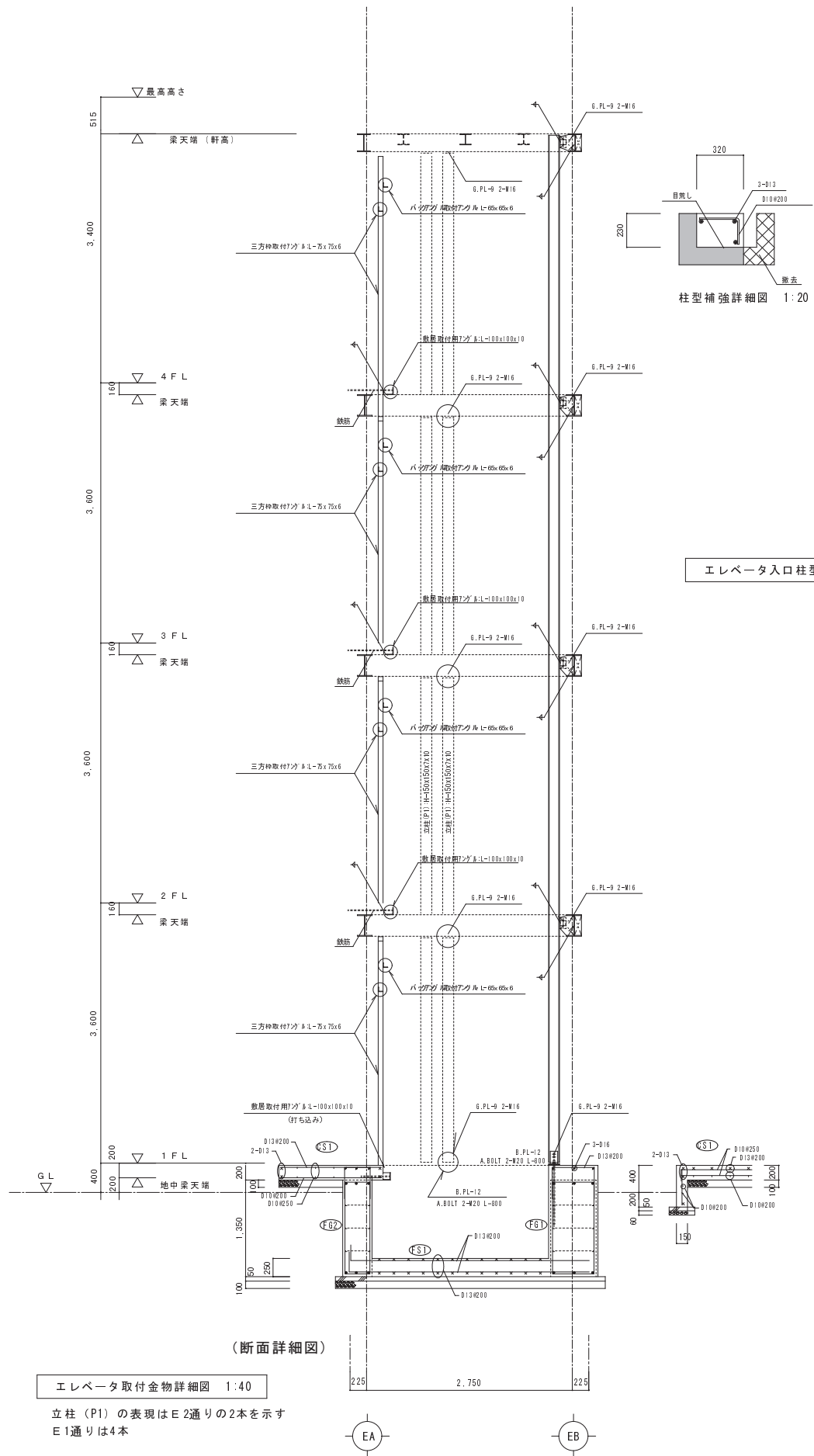


(一般階平面詳細図)



(ピット平面詳細図)

E V 取付ファスナー及び間柱の位置、大きさ、箇所はE V メーカーによる。



(断面詳細図)

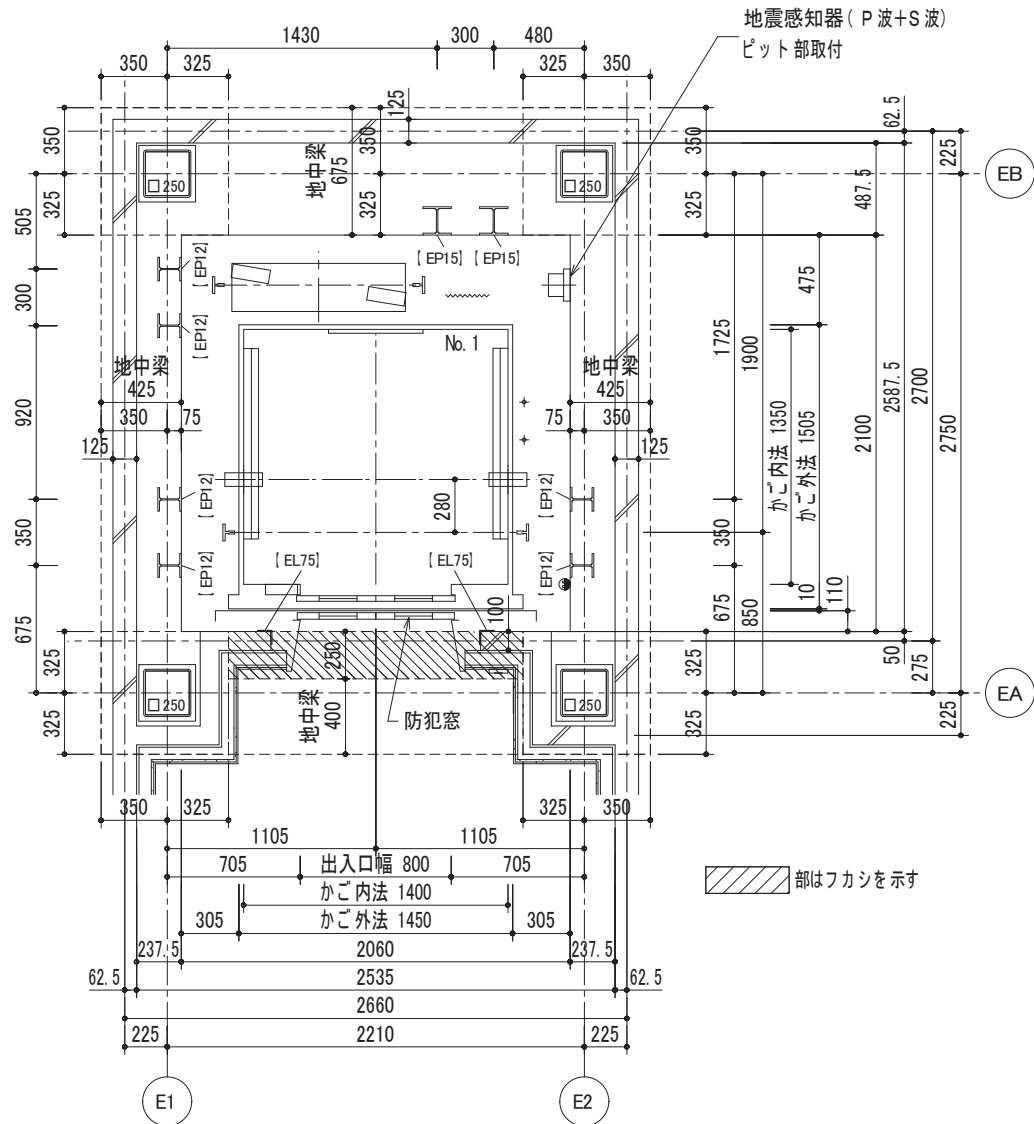
エレベータ取付金物詳細図 1:40

立柱 (P1) の表現はE 2通りの2本を示す
E 1通りは4本

エレベータ仕様					
概 略 仕 様	号機名(台数)		No. 1 (1台)		
	用途(形式)		乗用 車いす仕様		
	積載量(定員)		750 kg (11 人)		
	速度		45 m/mi n		
	制御方式		交流インバータ制御方式		
	操作方式		乗合全自動方式		
	停止ヶ所・出入口方向		(1~4FL) 4ヶ所 1 方向		
	かご内法(Wx Dx H)		1400 mm X 1350 mm X 2300 mm		
	出入口寸法(Wx H)		800 mm X 2100 mm		
	ドア方式		2 枚戸中央開き(電動式)		
	電動機出力		AC- 3.5 k W (参考)		
	電源	動力	三相3 線 200 V 50 Hz		
		照明	単相 100 V 50 Hz		
	管制運転	地震時	有 (P波+S波感知器 リスタート機能付)		
火災時		有			
自家発時		無			
浸水時/冠水時		有			
停電時自動着床装置		有			
耐震クラス		A14			
かご内連絡装置		同時通話インターホン			
乗 場 仕 様	三方枠		全階	大枠・全傾斜 ステンレス製ヘアライン仕上	
	ドア(1F:防火設備、2,3,4F:特定防火設備)		全階	鋼板製単色塗装仕上	
		防犯窓	1FL	大窓 [ドア面と面一]	
		遮煙	全階	有	
	敷居		全階	硬質アルミ製またはステンレス製	
	乗場インジケータボタン	ボタン	全階	メーカー標準仕様	
		インジケータ	全階	メーカー標準仕様	
	か ご 仕 様	天井照明		LED照明	
換気装置		メーカー標準仕様			
ドア(1F:防火設備、2,3,4F:特定防火設備)			化粧鋼板		
		防犯窓	大窓 [ドア面と面一]		
幕板		化粧鋼板			
側板		化粧鋼板			
幅木		ステンレス製ヘアライン仕上			
床		メーカー標準仕様			
敷居		硬質アルミ 製			
操作盤		ボタン	メーカー標準仕様		
		インジケータ	メーカー標準仕様		
・千葉県福祉のまちづくり条例に準拠 ・バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準に準拠					

特記事項	<div>・車いす仕様一式</div> <div>・かご内鏡付(ステンレス製鏡面)</div> <div>・かご内手摺付(ステンレス製、2方向)</div> <div>・非常放送スピーカー付(消防適合品)</div> <div>・非常呼ボタンガード付</div> <div>・非常呼ボタン応答灯付</div> <div>・機械式ドアセフティ(両側)付</div> <div>・遠隔監視機能用インターフェイス</div> <div>・音声案内装置付</div> <div>・点字銘板付</div> <div>・乗場点字注意銘板付</div> <div>・高調波対策付</div> <div>・雷サージ対策</div> <div>・公共工事標準仕様書</div> <div>・キックプレート</div> <div>・外部インターホン(1F職員室)</div>
------	---

電源設備				
(1台1回線)				
号機名		No. 1		
電源設備容量	動力	200V 4kVA		
	照明	100V 1.5kVA		
最大電流		21.3A		
動力線サイズ(mm ²)		5.5	8	14
最大引込み距離(m)		76	118	205
建屋側MCCB		30A		
接地線最小サイズ		2mm ²		
インターホン用配線		φ0.9×10本		
電話用配管・配線		φ19配管・電話線1P		
ビットコンセント容量		1kVA/台		



昇降路平面図(1 F L)

1 : 20

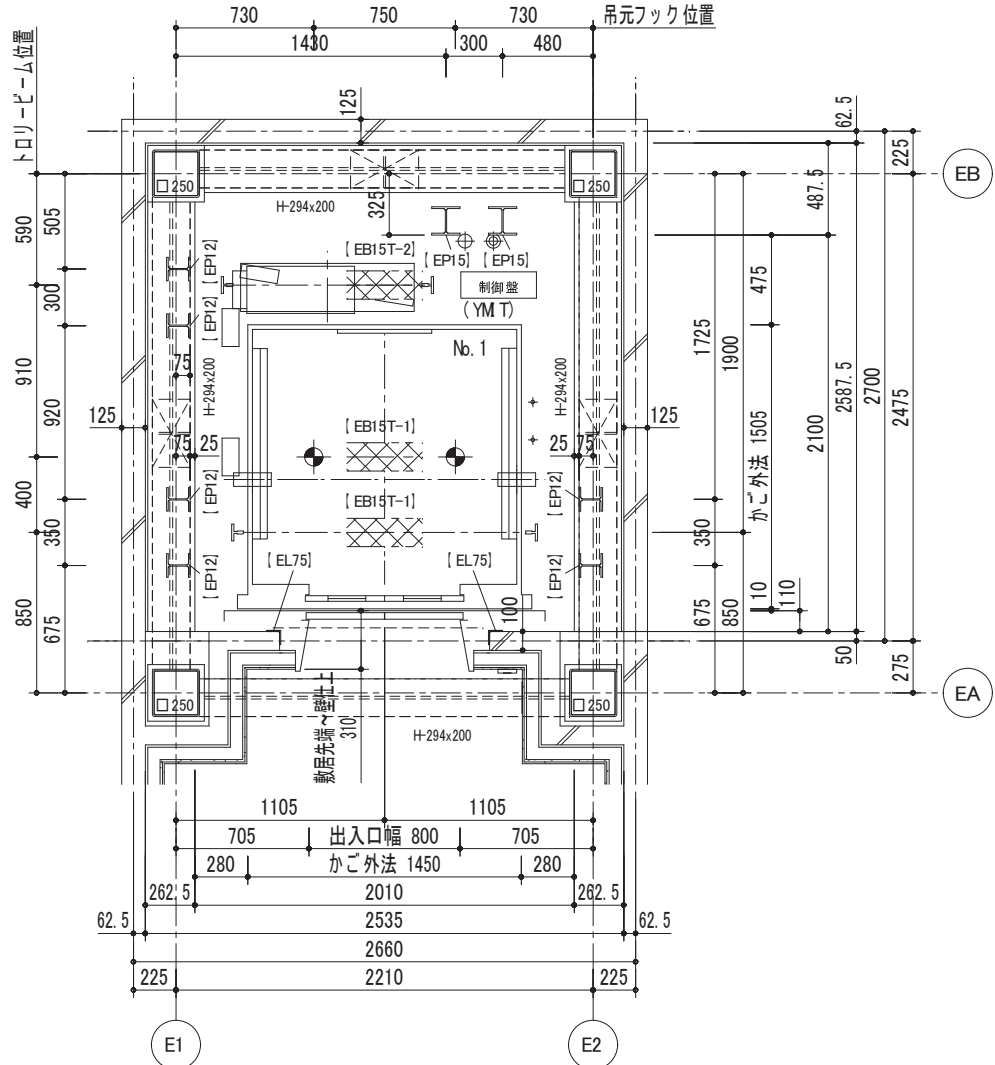
●	ビット点検用コンセント	(電気工事)
〰	T . C 保護金網	(エレベーター工事)

鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EP12	レール支持柱	H-125x125x6.5x9
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EH-ST9	吊元(荷重9.8kN用)	t12(φ75穴付)
EB15T-2	トロリービーム(荷重9.8kN)	H-150x150x7x10
EB15T-1	トロリービーム(荷重19.6kN)	H-150x150x7x10

地震感知器(P波+S波)
ビット部取付

部はフカシを示す

レール反カリスト(地震時作用荷重)			
	かご側	Px	4.10 kN
	一般階	Py	2.10 kN
	かご側	Px	4.60 kN
	最上階	Py	3.20 kN
	おもり側	Px	6.40 kN
	一般階	Py	3.20 kN
	おもり側	Px	9.60 kN
	最上階	Py	6.50 kN



※機器等は最上階を示す

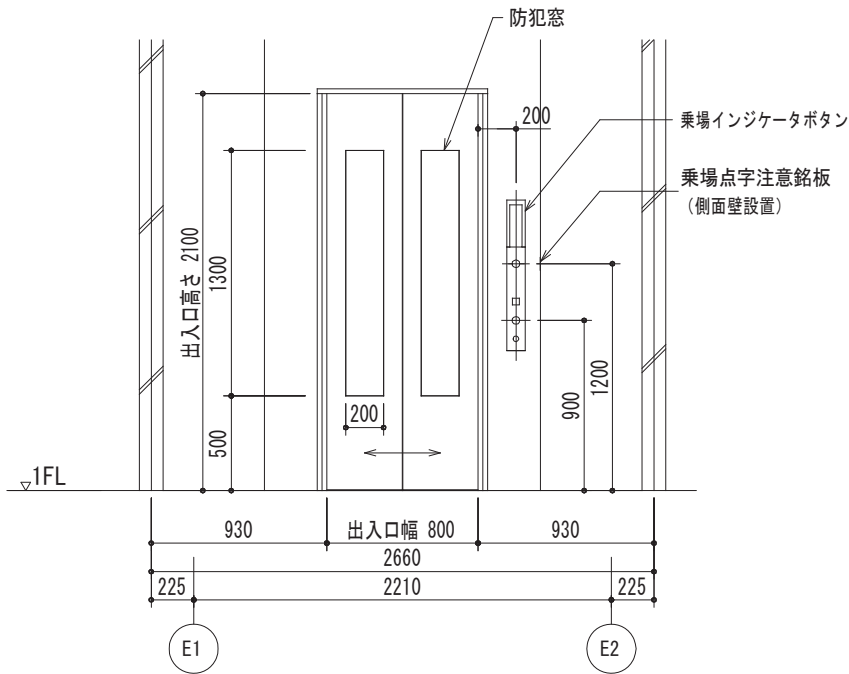
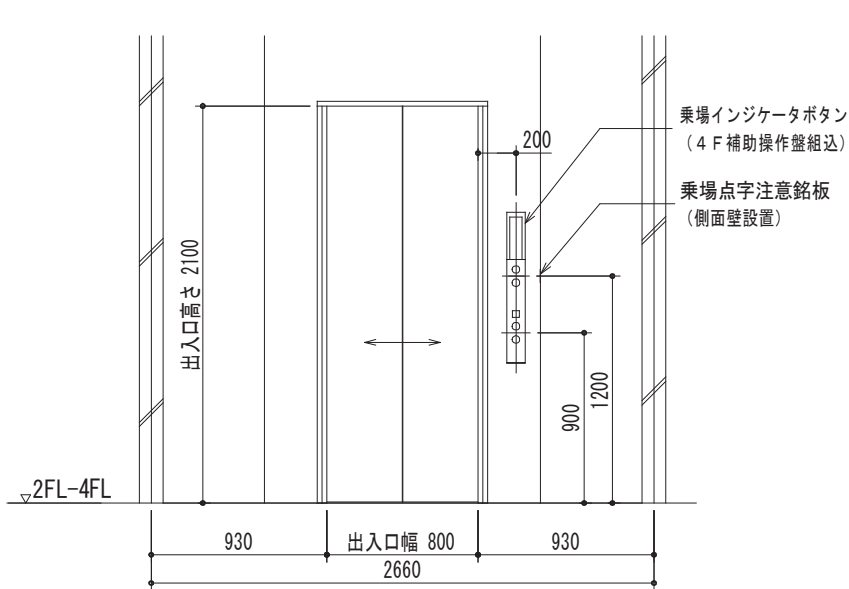
昇降路平面図(2 ~ 4 F L)

1 : 20

耐火被覆厚: 25 mm(全階)

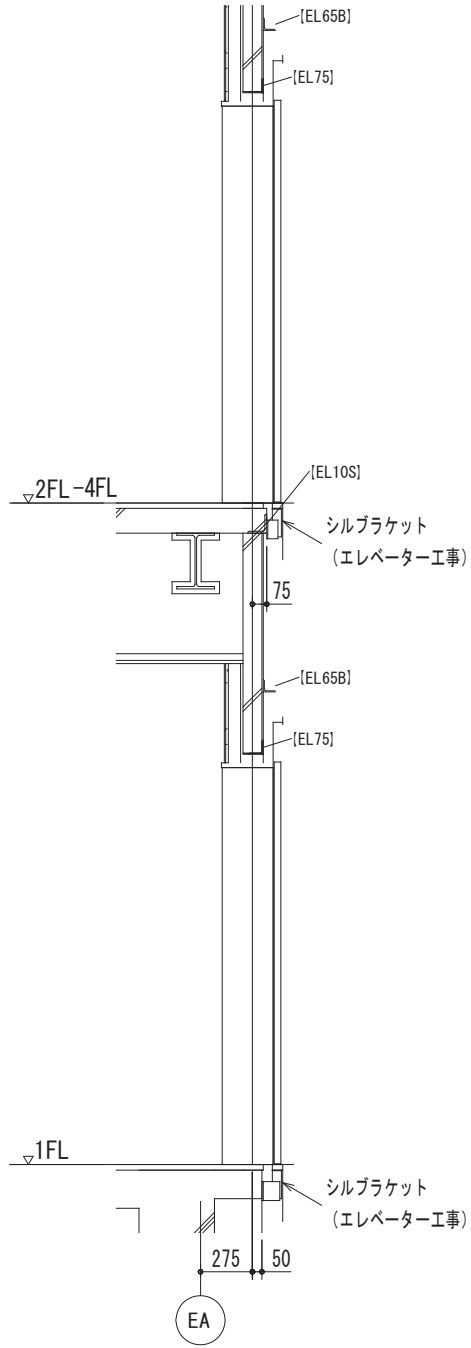
吊元フック ・荷重: 9.8 kN	(建築工事)
電源引込み(受電盤への接続) ・動力・照明・接地線 最上停止階F L - 1350 mm 引出長さ 3 m	(電気工事)
配線引込み ・インターホン配線・電話線 最上停止階F L - 650 mm 引出長さ 3 m	(電気工事)

鉄骨部材記号表（建築工事）		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EP12	レール支持柱	H-125x125x6.5x9
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元（荷重9.8kN用）	t12（φ75穴付）
EB15T-2	トロリービーム（荷重9.8kN）	H-150x150x7x10
EB15T-1	トロリービーム（荷重19.6kN）	H-150x150x7x10



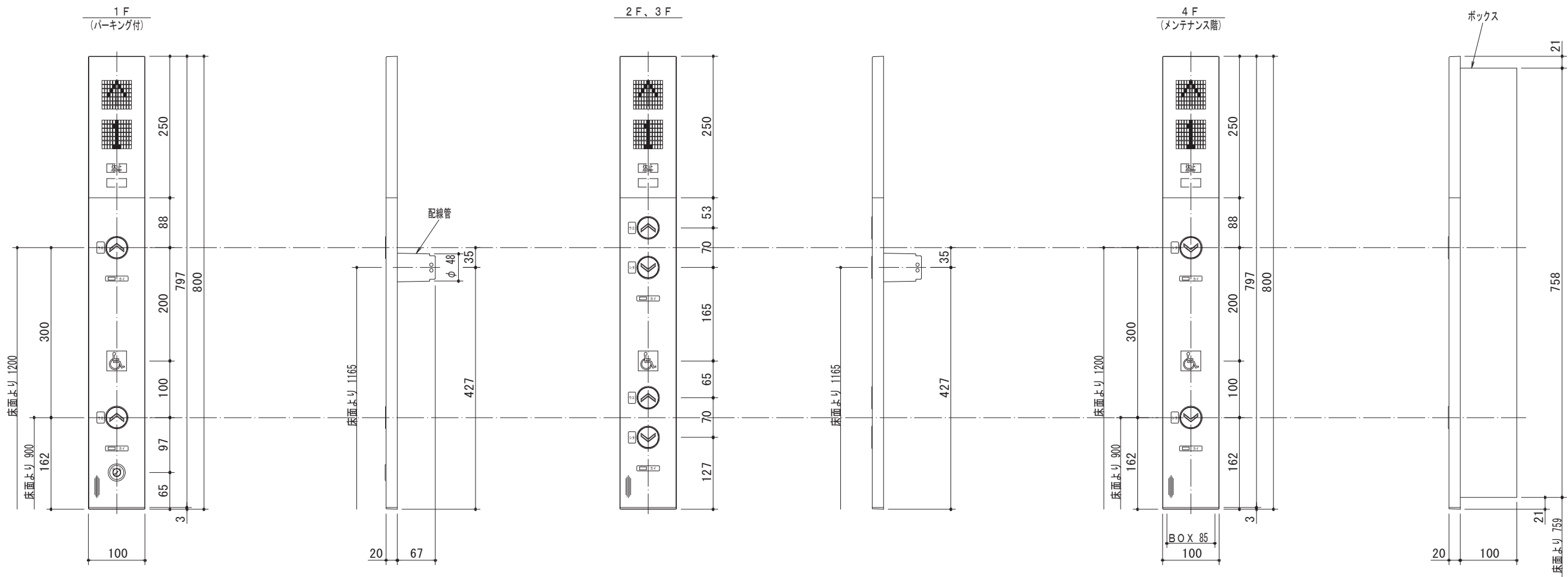
出入口正面図

1 : 20



断面図

1 : 20

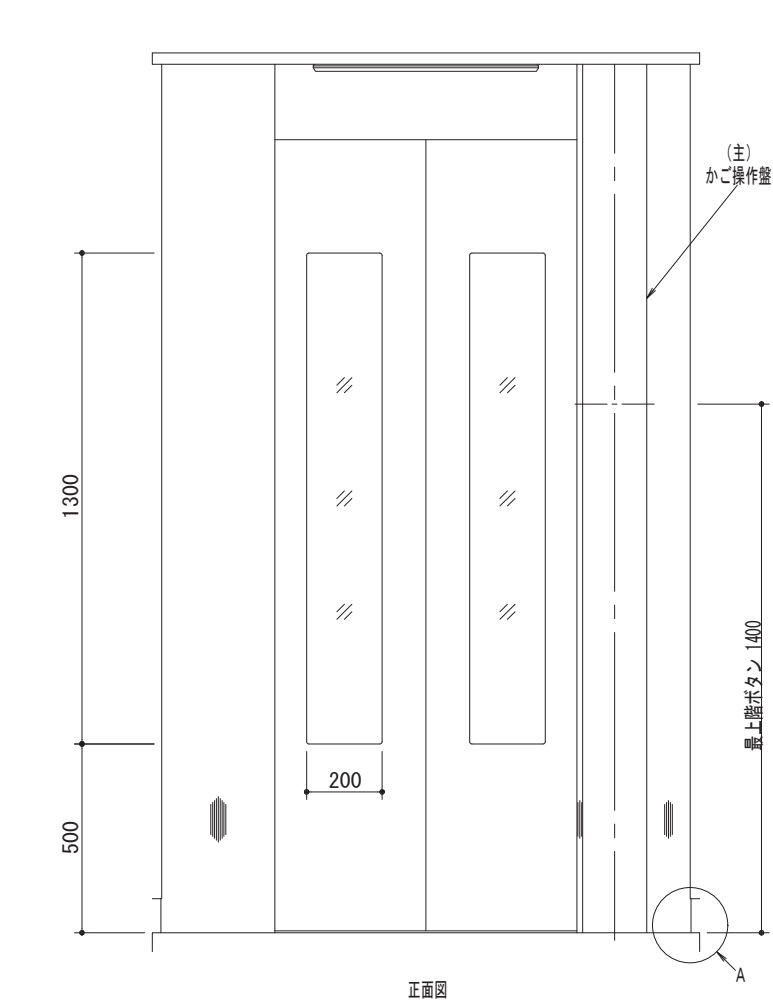


乗場インジケータボタン

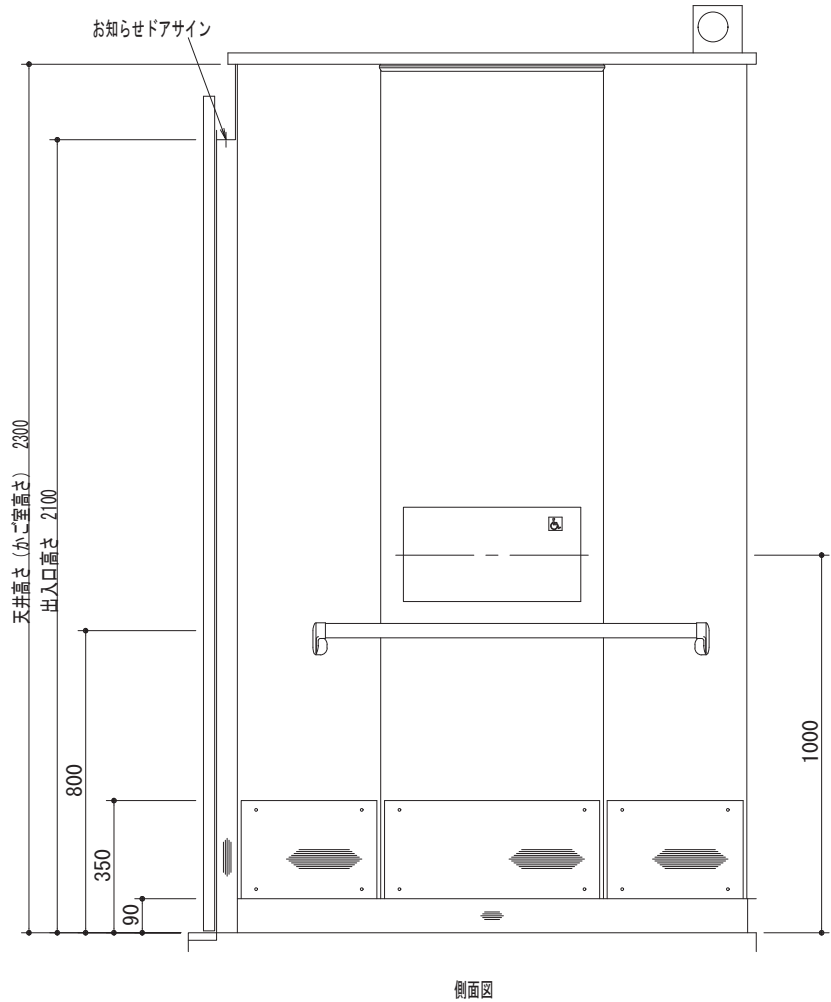
階床名	1 F
プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
下プレート	樹脂製（黒色）
表示部	樹脂製（スモーク）
方向灯	点灯時［アンバー色］，〔LED、ドット式〕
位置灯	点灯時［アンバー色］，〔LEDデジタル、ドット式〕
表示灯	点灯時（赤色），〔LED〕
呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色），矢印（乳白色），枠（白色） 応答時［アンバー色、矢印点灯］，〔LED〕
シンボルマーク	銘板貼付 地色（青色），絵文字（銀色）
パーキング スイッチ	キースイッチ
点字銘板	ステンレス製

階床名	2 F、3 F
プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
下プレート	樹脂製（黒色）
表示部	樹脂製（スモーク）
方向灯	点灯時［アンバー色］，〔LED、ドット式〕
位置灯	点灯時［アンバー色］，〔LEDデジタル、ドット式〕
表示灯	点灯時（赤色），〔LED〕
呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色），矢印（乳白色），枠（白色） 応答時［アンバー色、矢印点灯］，〔LED〕
シンボルマーク	銘板貼付 地色（青色），絵文字（銀色）
点字銘板	ステンレス製

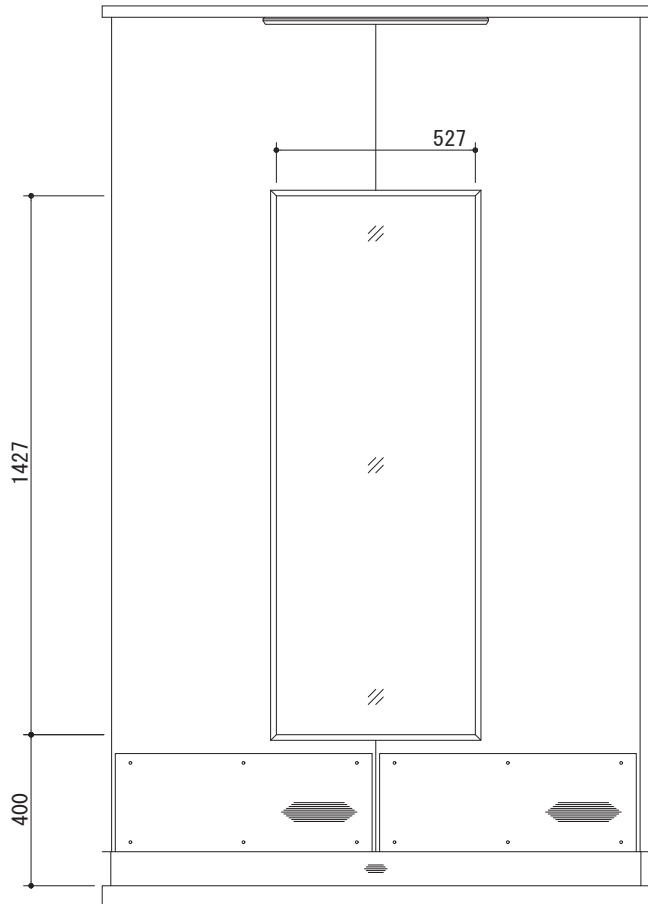
階床名	4 F
プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
下プレート	樹脂製（黒色）
表示部	樹脂製（スモーク）
方向灯	点灯時［アンバー色］，〔LED、ドット式〕
位置灯	点灯時［アンバー色］，〔LEDデジタル、ドット式〕
表示灯	点灯時（赤色），〔LED〕
呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色），矢印（乳白色），枠（白色） 応答時［アンバー色、矢印点灯］，〔LED〕
シンボルマーク	銘板貼付 地色（青色），絵文字（銀色）
点字銘板	ステンレス製



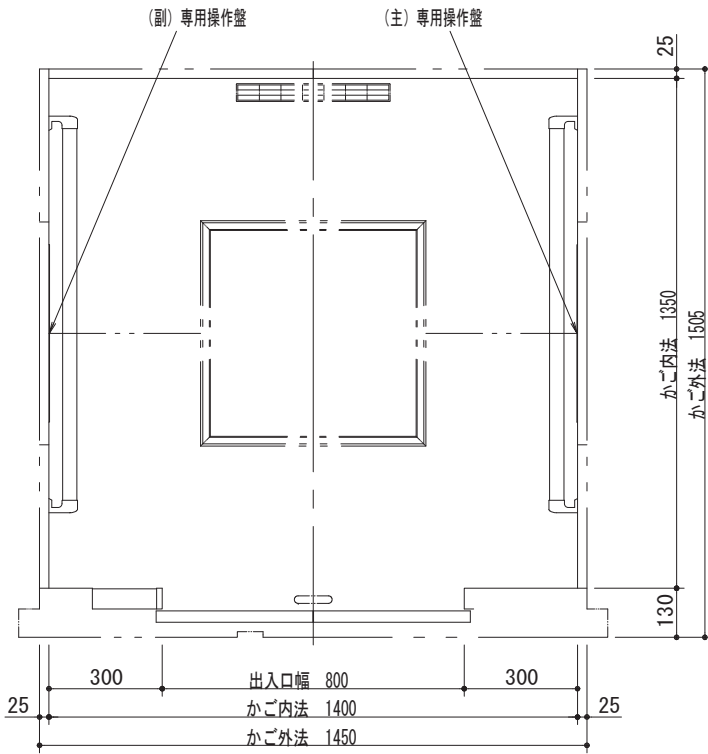
正面図



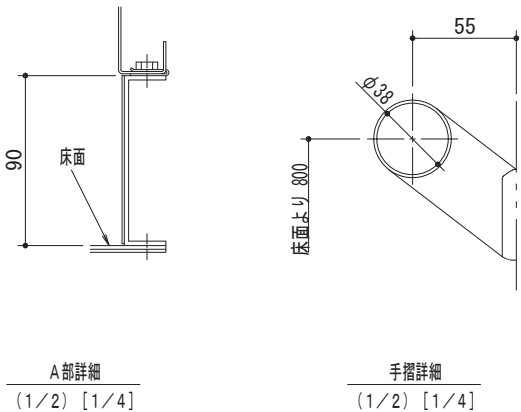
側面図



背面図



平面図



A部詳細
(1/2) [1/4]

手摺詳細
(1/2) [1/4]

NO. 1
かご室意匠図

天井	〔照明部〕 薄光板LED屋光色照明 〔天井面〕 化粧鋼板
照明	LED
停電灯	LED (兼用)
出入口柱	ステンレス製ヘアライン仕上
リターンパネル	ステンレス製ヘアライン仕上
かご扉	化粧鋼板
防犯窓	網入ガラス (t 6. 8) (JIS R 3 2 0 4) とフロートガラス (t 3. 0) (JIS R 3 2 0 2) を合わせたもの・大窓 [ドア面と面ー]
側板	化粧鋼板
幕板	化粧鋼板
幅木	ステンレス製ヘアライン仕上
床	非塩ビ系タイル (t 2)
敷居	硬質アルミ製
換気方式	横流ファン
鏡	ステンレス
手摺	ステンレス製 端部：亜鉛ダイカストニッケルメッキサンドブラスト仕上
荷摺	ステンレス製ヘアライン仕上 (t 1. 5)
お知らせドアサイン	樹脂製 (乳白色) , 点灯時 (赤色点滅)
備考	・イオン発生器付 ・2D多光軸ドアセフティ付 ・機械式ドアセフティ (両側) 付 ・お知らせドアセンサー付 ・お知らせドアビーム付 ・BGMスピーカー付 ・音声案内装置付

（主）かご操作盤	
表示部	樹脂製（スモーク）、液晶式
定格文字	文字（白色）
連絡装置	インターホン（同時通話式）
非常呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（赤色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点滅〕 呼出中〔絵文字点灯〕、〔ＬＥＤ〕
非常呼ボタンガード	ステンレス製ヘアライン仕上（縦方向ヘアライン）、絵文字（赤色）
非常呼ボタン銘板	銘板貼付、地色（銀色）、文字（黒色）
行先階ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色）、文字（乳白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、文字点灯〕、〔ＬＥＤ〕
戸開ボタン	抗菌仕様 樹脂製（緑色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点灯〕、〔ＬＥＤ〕
戸開ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点灯〕、〔ＬＥＤ〕
点字銘板	ステンレス製
上部プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
ハーフミラープレート	広角ミラー 樹脂鏡面仕上
操作プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
スイッチボックスプレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
説明文	銘板貼付、地色（銀色）、文字（黒色）
下部プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
（主・副）専用操作盤	
表示部	樹脂製（スモーク）
方向灯	点灯時（アンバー色）、〔ＬＥＤ、ドット式〕
位置灯	点灯時（アンバー色）、〔ＬＥＤデジタル、ドット式〕
連絡装置	インターホン（同時通話式） ※（主）側のみ
非常呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（赤色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点滅〕 呼出中〔絵文字点灯〕、〔ＬＥＤ〕
非常呼ボタンガード	ステンレス製ヘアライン仕上（縦方向ヘアライン）、絵文字（赤色）
非常呼ボタン銘板	銘板貼付、地色（銀色）、文字（黒色）
戸開ボタン	抗菌仕様 樹脂製（緑色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点灯〕、〔ＬＥＤ〕
戸開ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点灯〕、〔ＬＥＤ〕
行先階ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色）、文字（乳白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、文字点灯〕、〔ＬＥＤ〕
点字銘板	ステンレス製
シンボルマーク	銘板貼付 地色（青色）、絵文字（銀色）
フェースプレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）

１．実際の版下文字とは、図形文字の為若干異なる。

２．文字詳細は、文字書体集での確認による。

用途

乗用

FOR PASSENGER

定員

11名

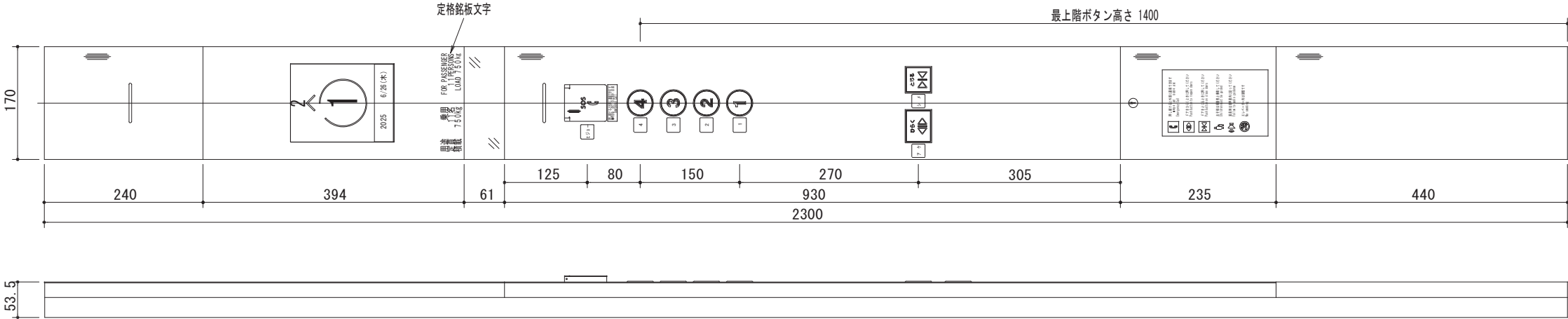
11PERSONS

積載

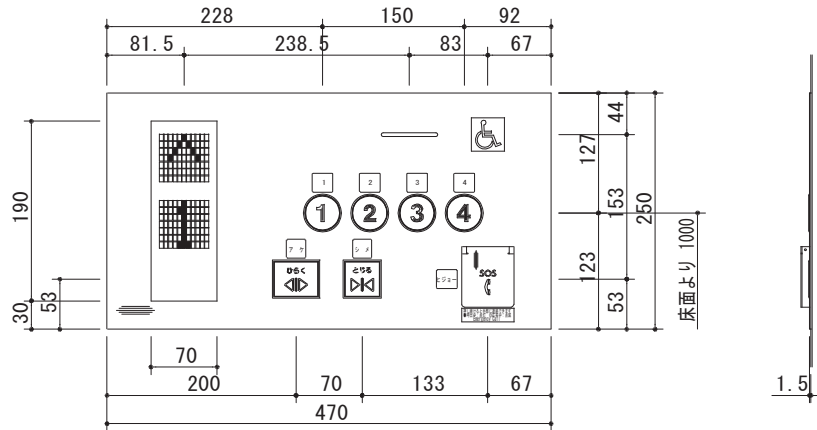
750kg

LOAD 750kg

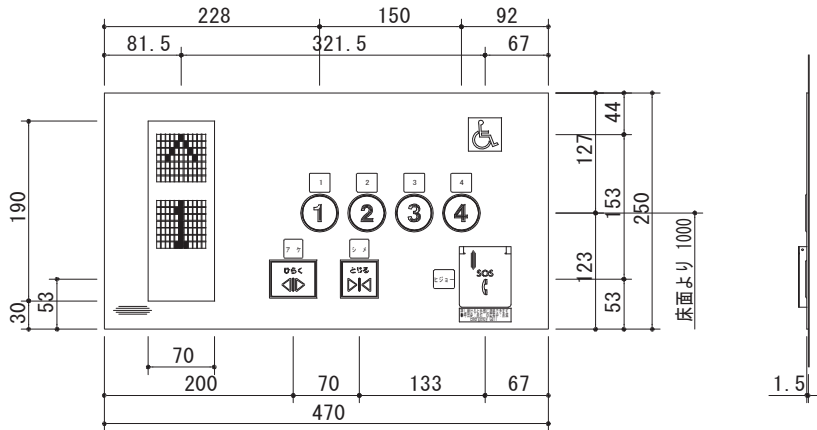
定格銘板文字



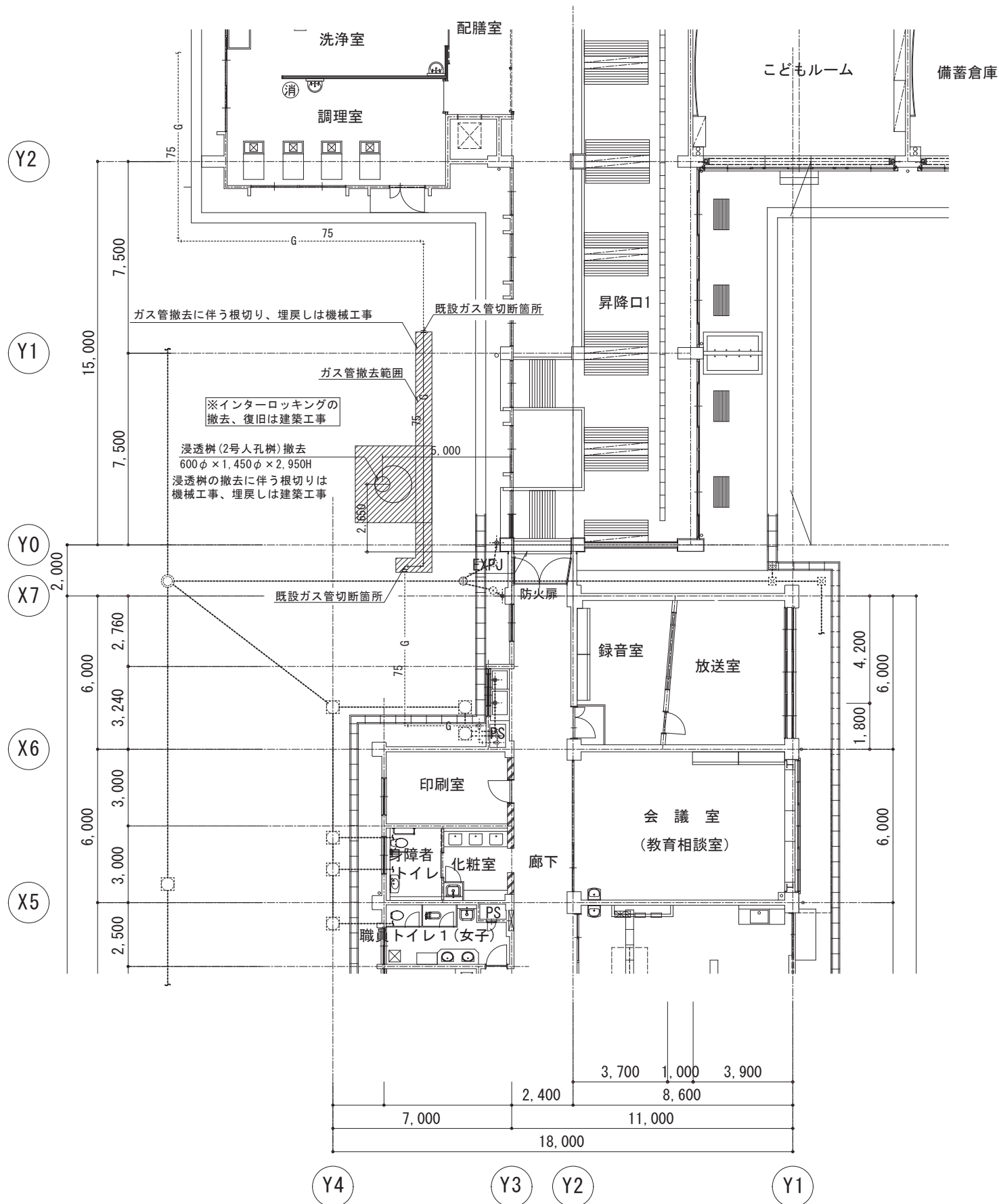
（主）かご操作盤



（主）専用操作盤

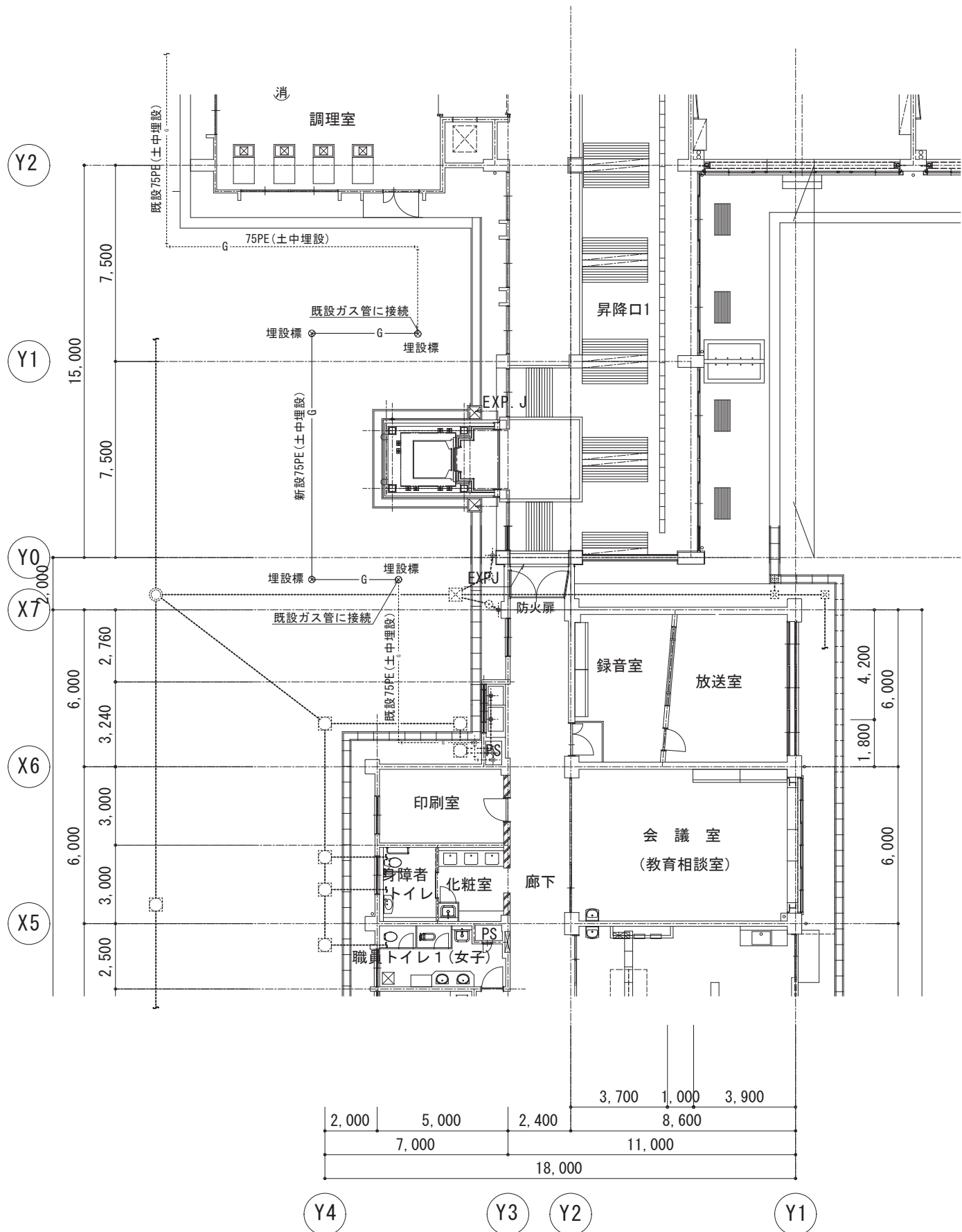


（副）専用操作盤



は撤去範囲を示す。

撤去図

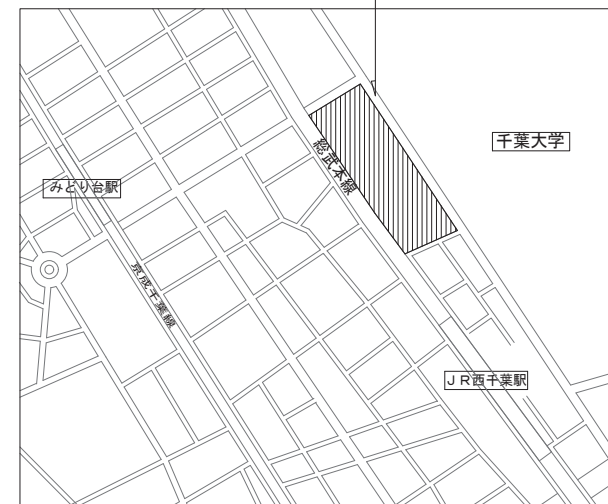


特記事項
・ガス工事の切り廻し工事に伴う根切り、埋戻しは機械工事とする。
・ガス工事の切り廻し工事に伴う外構インターロッキング仕上げ撤去、復旧は建築工事とする。

改修図



千葉市立弥生小学校
千葉市稲毛区弥生町3番18号



案内図: NS

- ・エレベータシャフト内の制御盤取り付け位置、点検コンセントの取り付け位置や数量等のレイアウト、及び各種配線の仕様については参考とし、選定されたエレベーターメーカーの仕様に基づいた最適な施工を行うこと。
- ・また、エレベーターメーカーの仕様により、接地の打設工事が必要な場合には、受注者の負担で打設を行うこと。

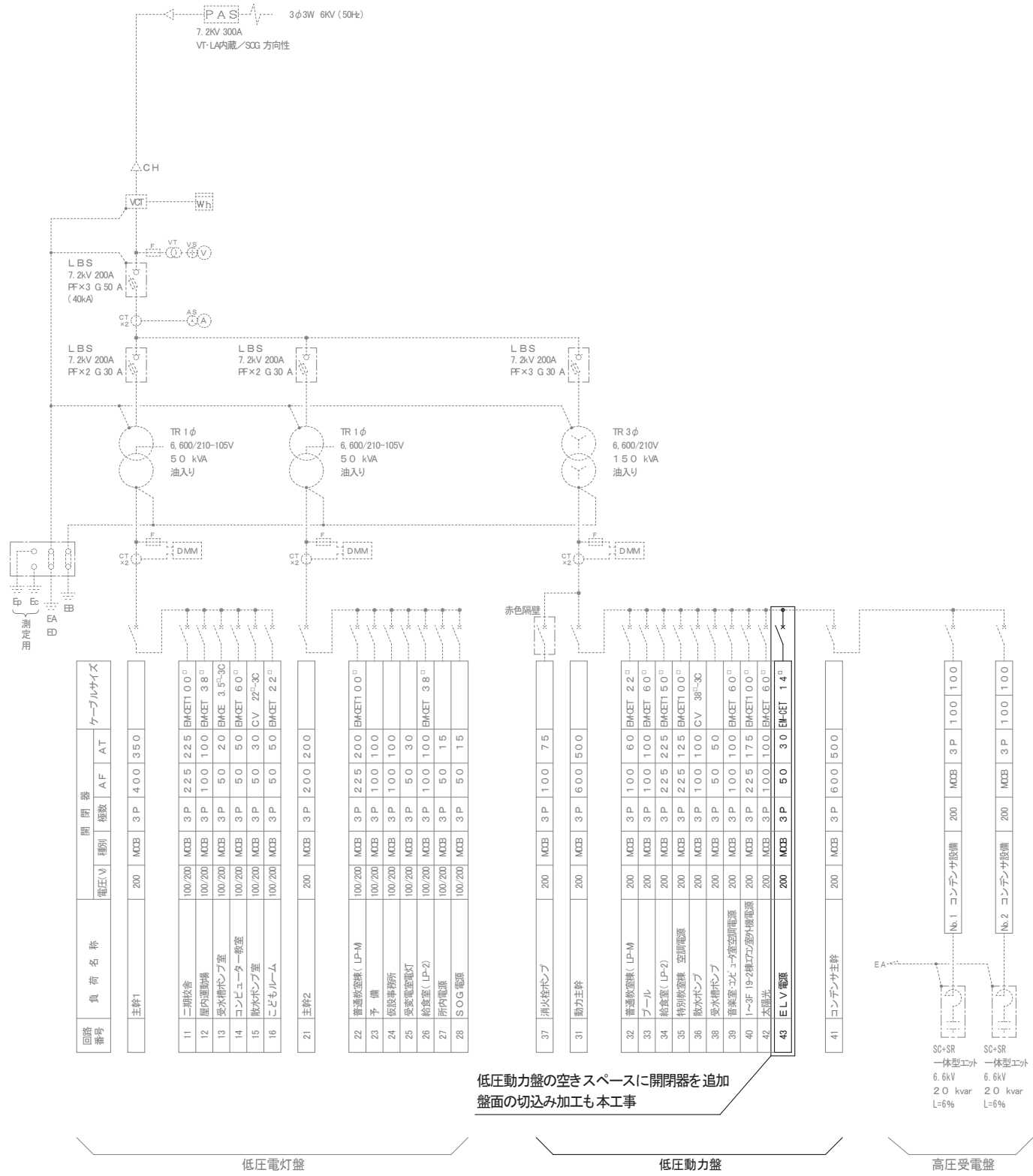
千葉市都市局建築部営繕課

工事名	千葉市立弥生小学校エレベータ設置工事
-----	--------------------

設計年月日			令和 7年 10月 日	変更年月日			令和 年 月 日	変更年月日			令和 年 月 日
特記事項				特記事項				特記事項			

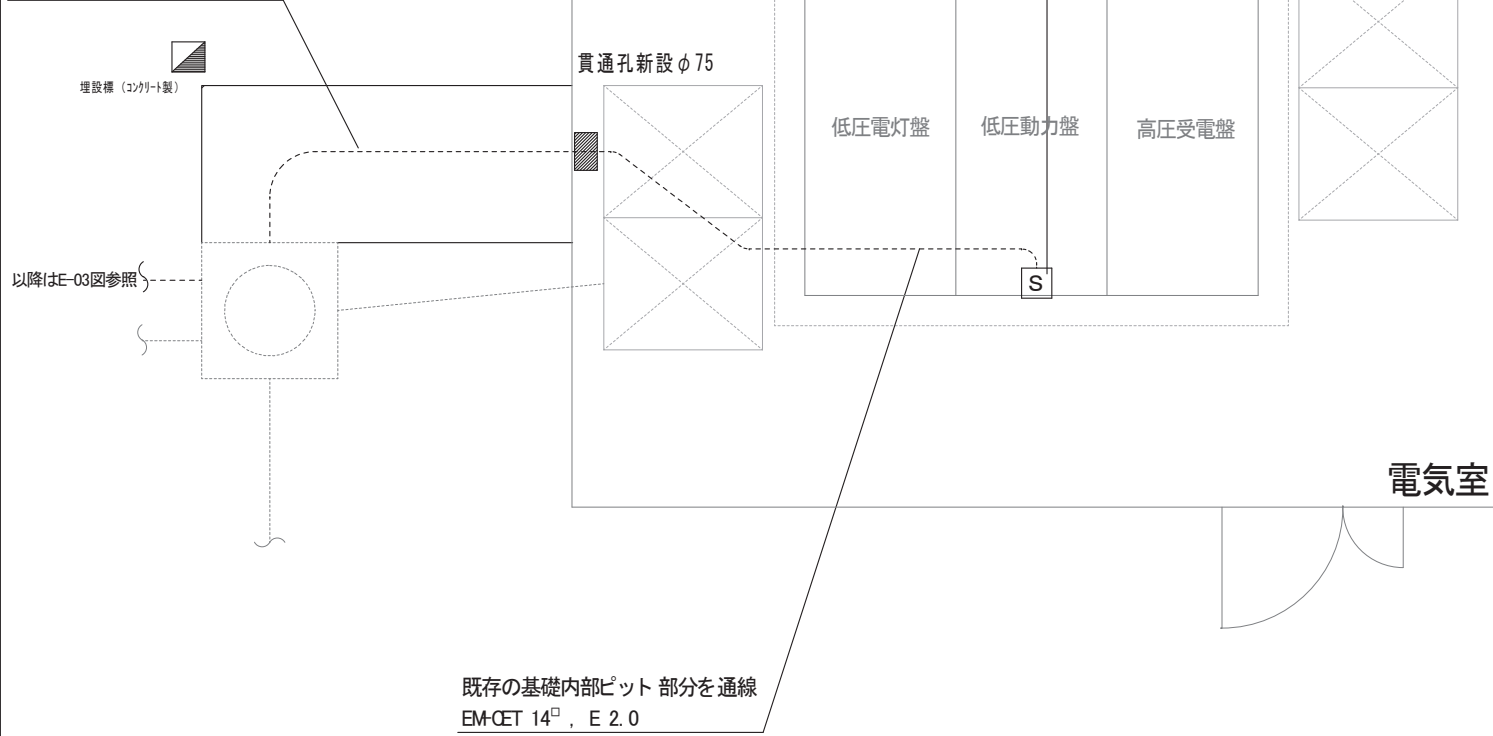
案内図・配置図

縮尺	A1	1:400	図面番号	E-01
	A3	1:800		



単線結線図

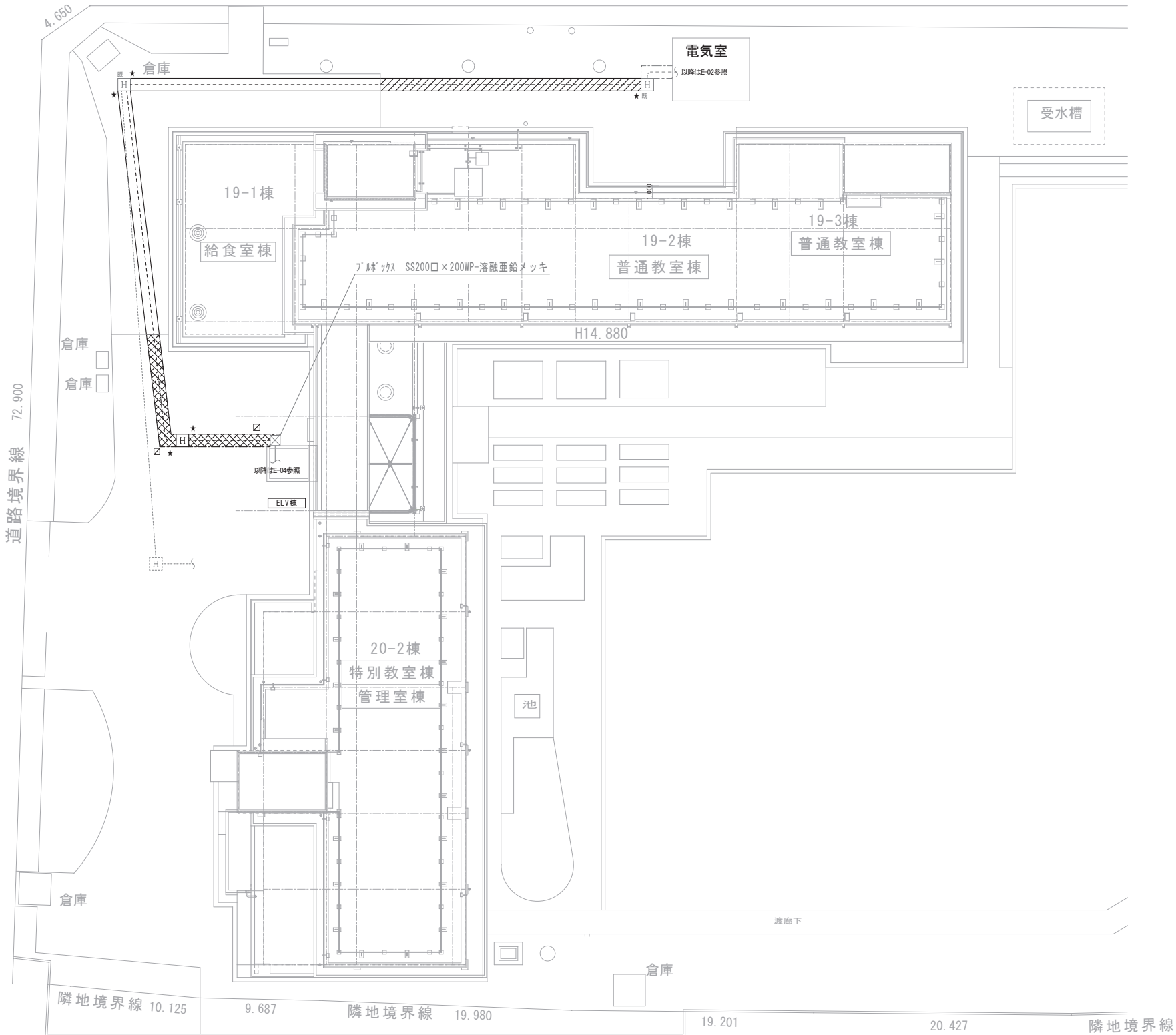
地中埋設配管配線新設
EM-CET 14[□] , E 2.0 (FEP 50)
根切埋め戻し 共本工事



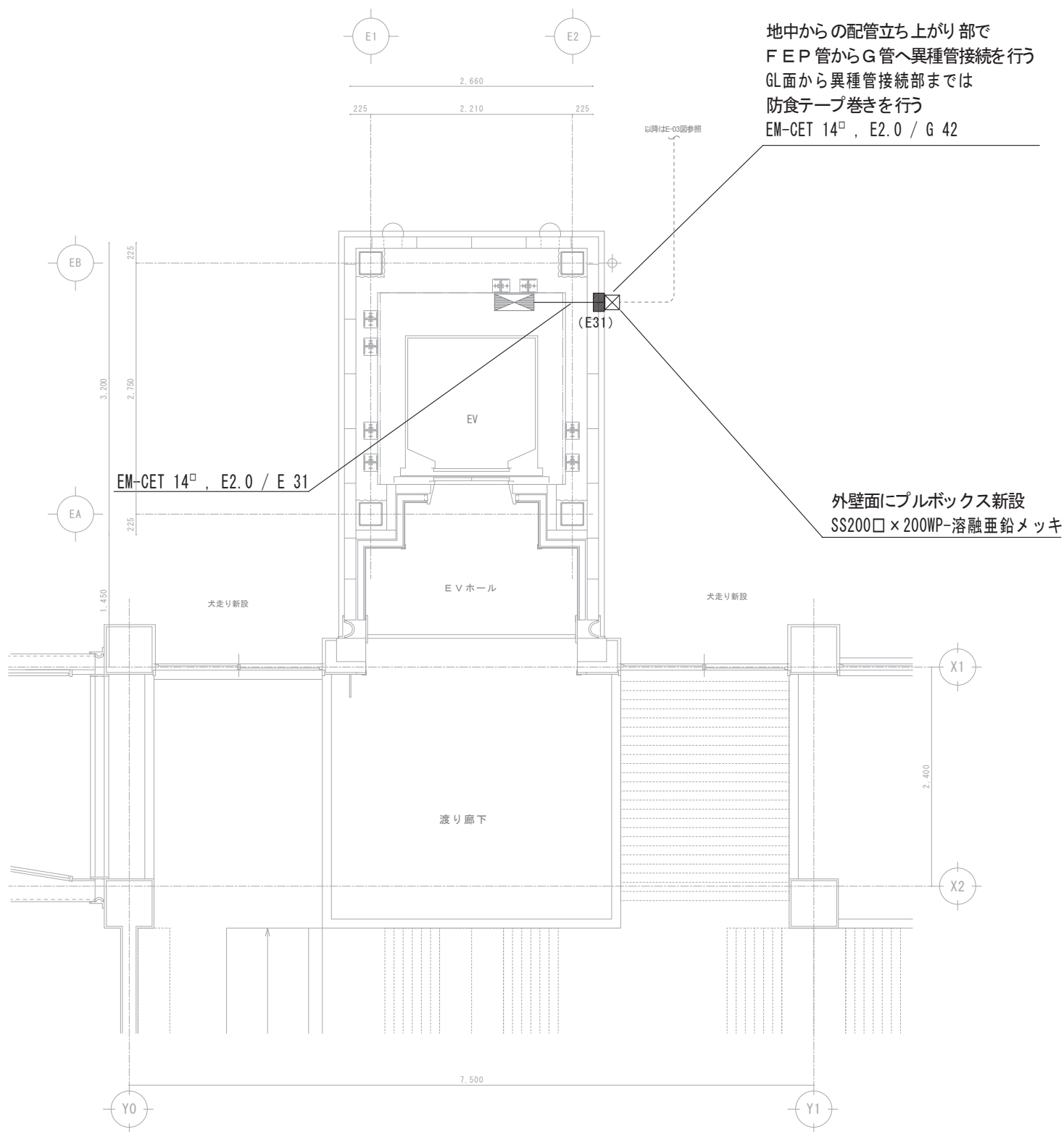
電気室内詳細図 1/100

凡 例		
図 示 記 号	名 称	備 考
<div>H</div>	ハンドホール	H2-9
<div>H既</div>	ハンドホール	既設
★	貫通孔新設	φ75
<div>□</div>	地中埋設標（鉄属製）	新設
配線凡例		
<div>—</div>	EM-CET 14 [□] , E 2.0 (FEP 50)	

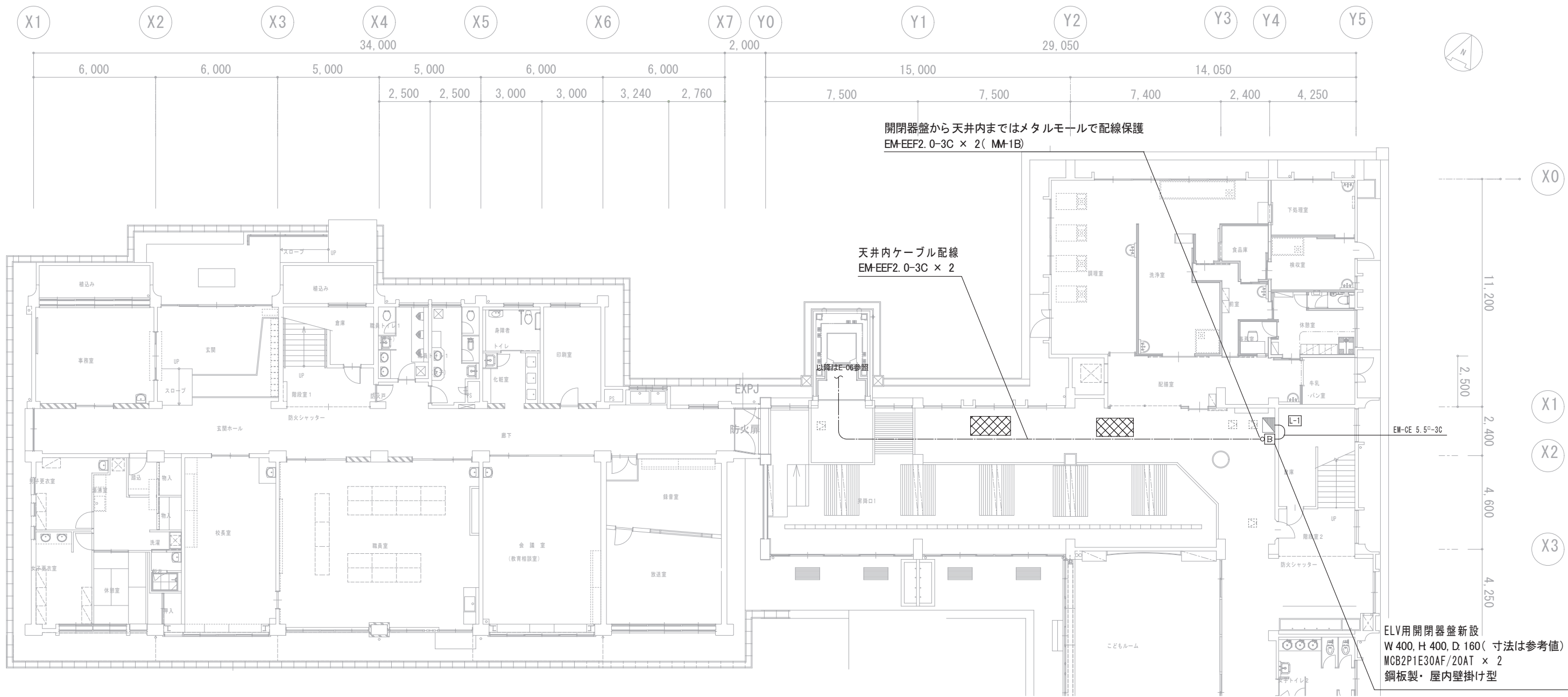
<div>構内インターロッキング舗装</div> <div>車両乗り入れ部</div> <div><div>インターロッキングブロック</div><div>クッション材 (砂又は空練りモルタル)</div><div>再生クラッシャーラン</div><div>埋設シート</div><div>路床工 (根切り土中の良質土) 注) 200mm毎に転圧を行うこと</div><div>埋設物 (配管等)</div><div>d+400</div></div>	<div>構内アスファルト舗装</div> <div>車両乗り入れ部</div> <div><div>影響幅 200</div><div>(再生密粒度A₅)</div><div>表層工</div><div>上層路盤工 (再生碎屑+5% 0~40)</div><div>埋設シート</div><div>路床工 (根切り土中の良質土) 注) 200mm毎に転圧を行うこと</div><div>埋設物 (配管等)</div><div>d+400</div></div>
<div>土工事</div> <div><div>600</div><div>埋設シート</div><div>路床工 (根切り土中の良質土) 注) 200mm毎に転圧を行うこと</div><div>埋設物 (配管等)</div><div>d+400</div></div>	



外構図 1 : 200



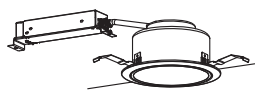
1 階平面詳細図 S=1:30



1 階平面図 1:100

○

LEDダウンライト A

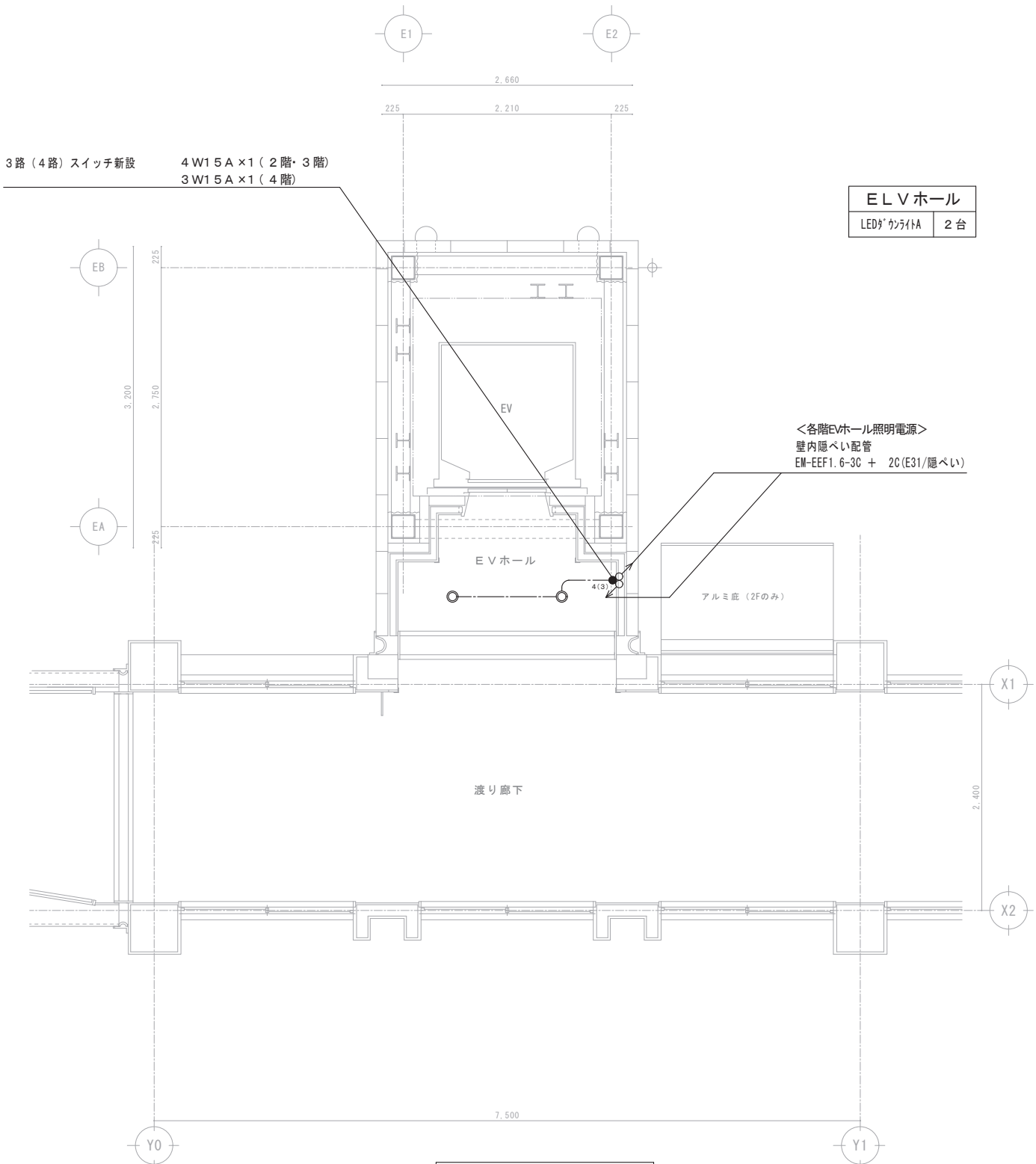
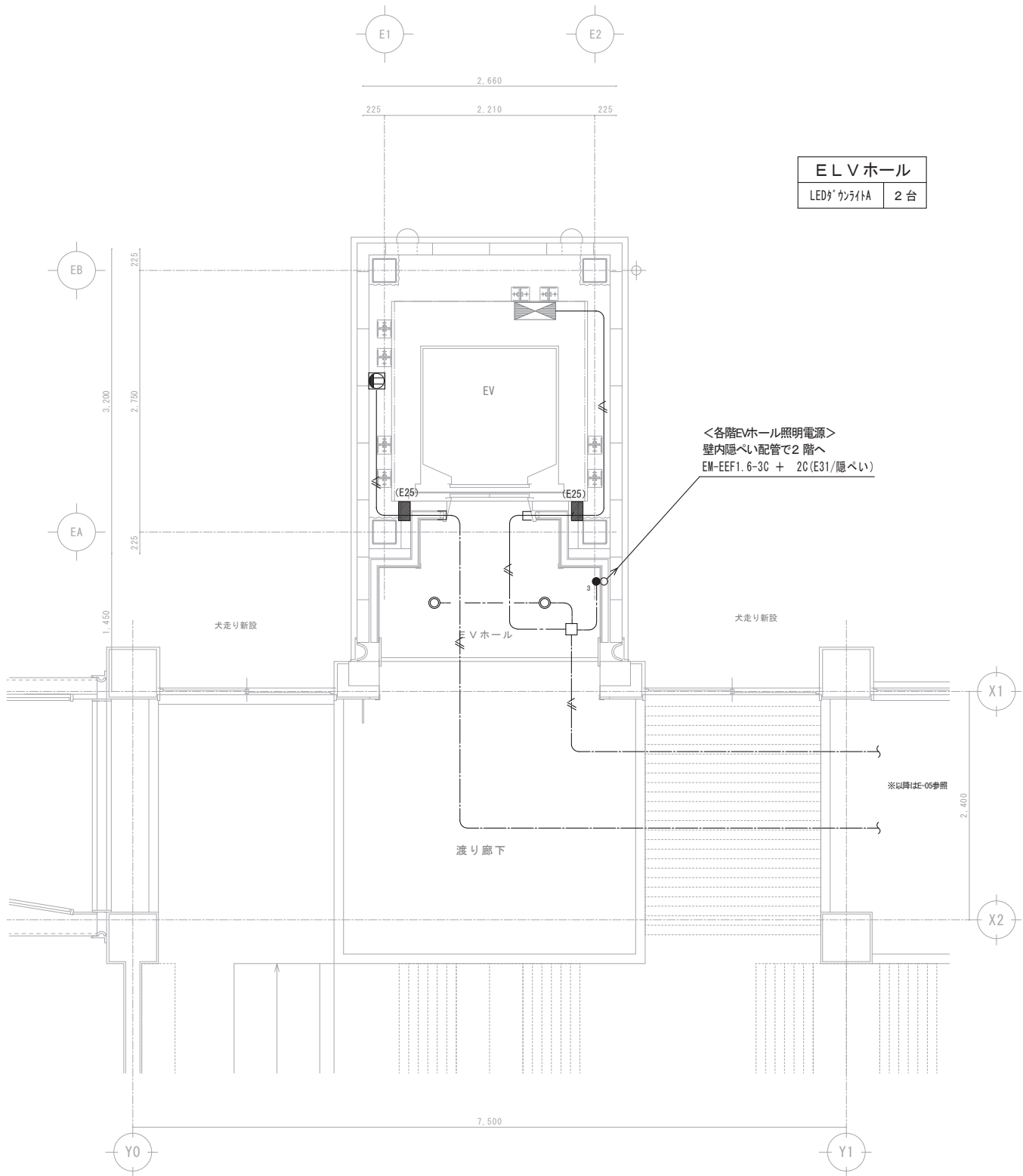


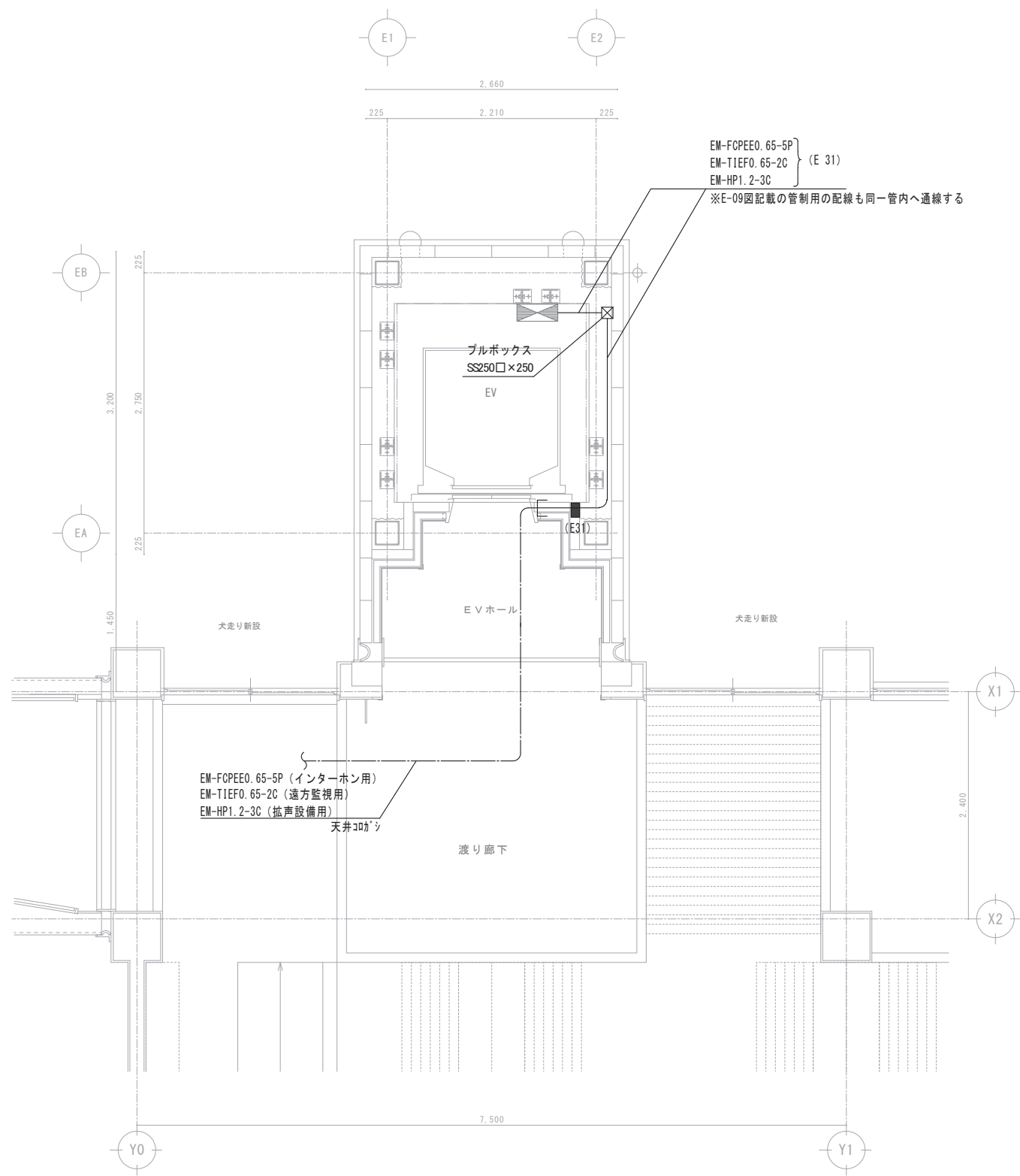
公共施設型番: LRS1-05

凡 例		
図示記号	名 称	備 考
<div></div>	合成樹脂製アウトレットボックス 中4角	
<div>●₃</div>	3路スイッチ	3W15A×1
<div>●₄</div>	4路スイッチ	4W15A×1
<div></div>	区画貫通箇所	
<div></div>	点検用コンセント	2P15A×2 (ET付)

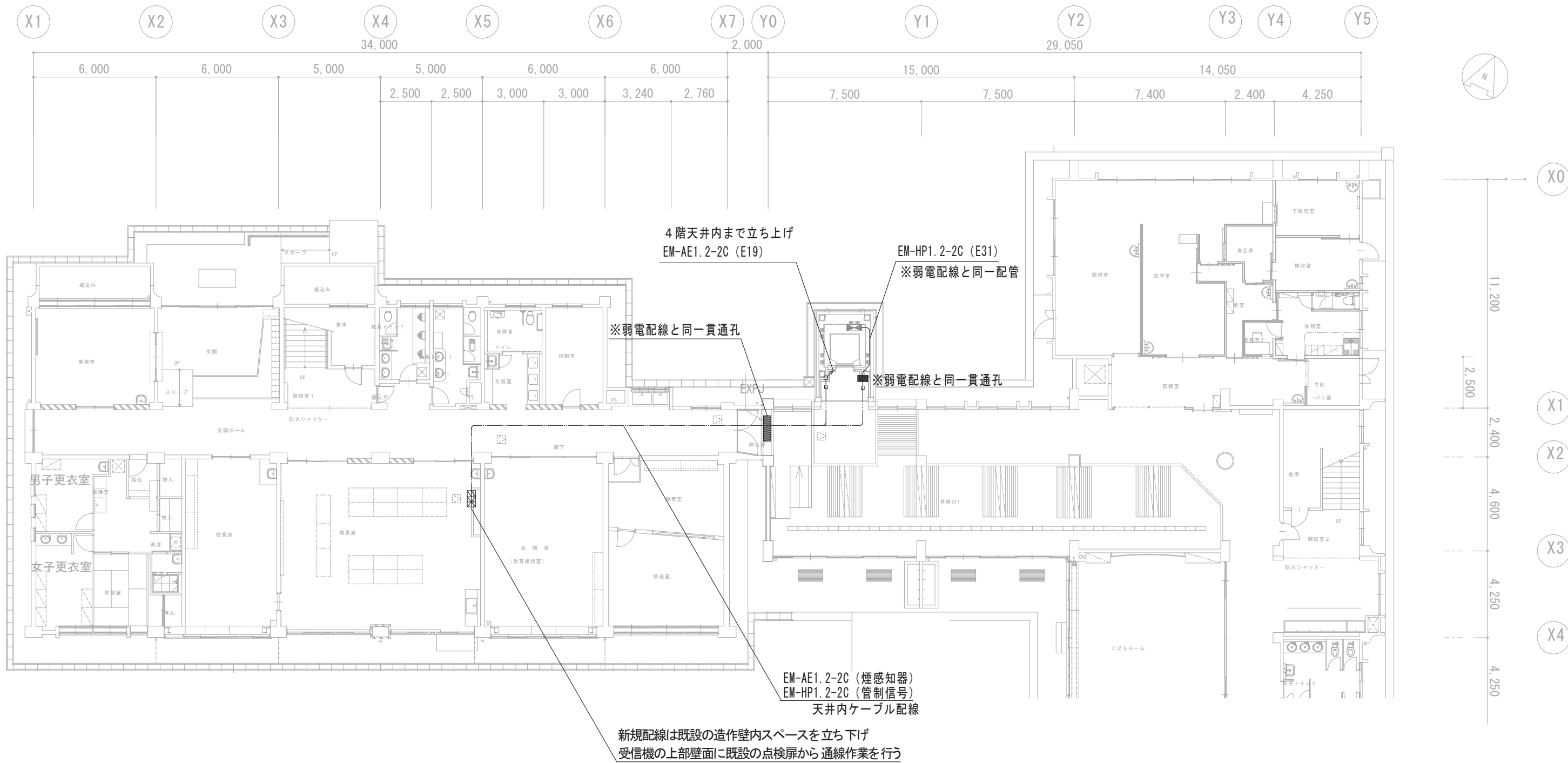
配線凡例	
特記等無き配管・配線は下記による。	
	EM-EEF 2.0-3C 天井30φｼ
	EM-EEF 1.6-3C 天井30φｼ/(PF22)
	EM-EEF 2.0-3C (E25)

※開仕切り室内等はPF管にて保護すること





1 階平面詳細図 S=1:30



1 階 平 面 図 1:100

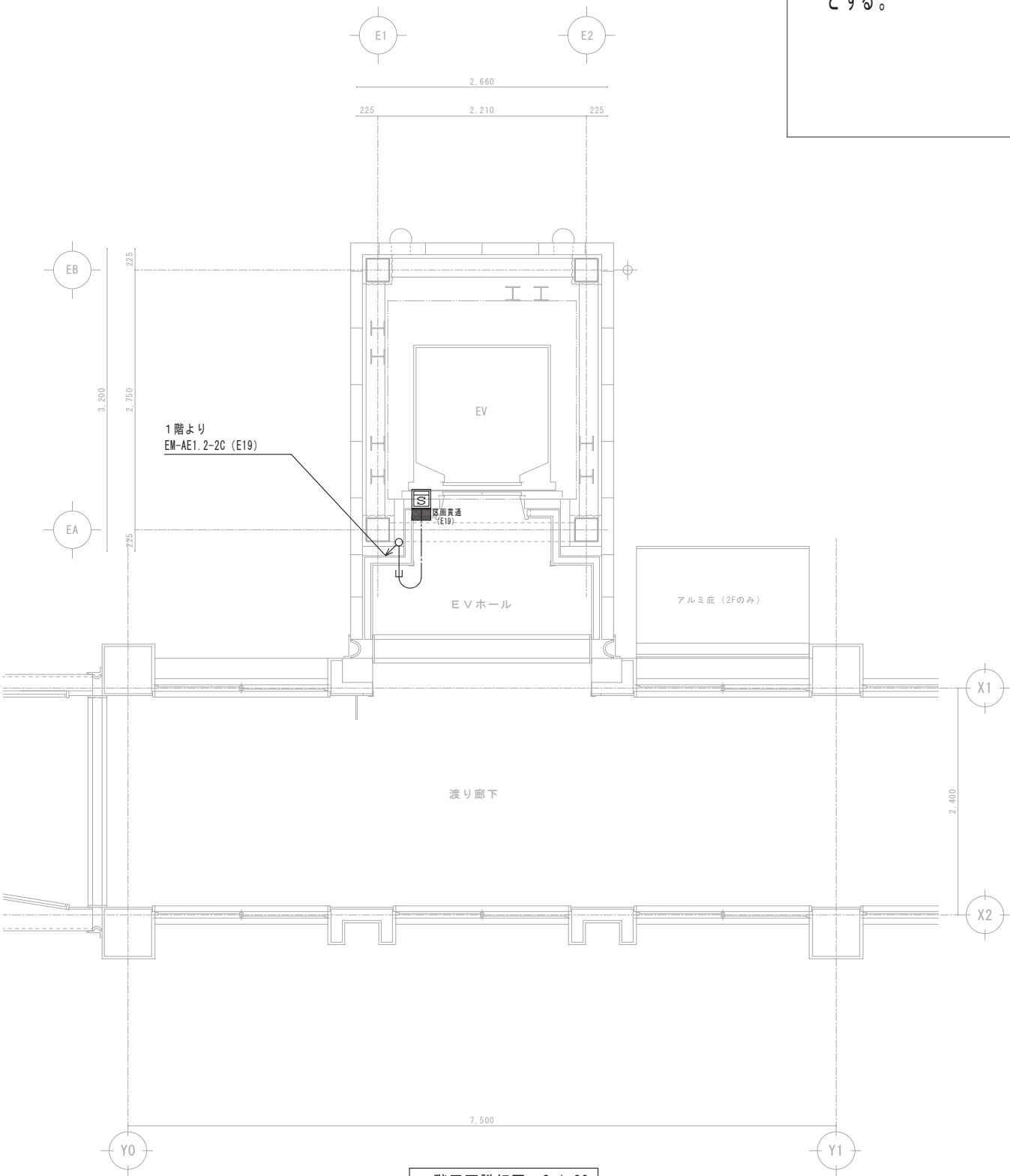
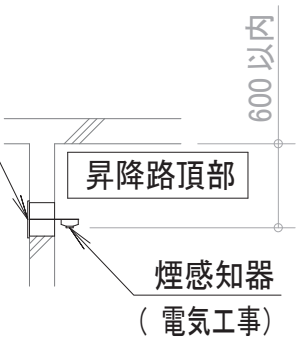
エレベータシャフト内煙感知器詳細（参考）

施錠装置付点検扉

1. 5mm 以上の鋼板製(電気工事)

リミットスイッチ付(エレベーター工事)

昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は
外部に引き出した状態で点検可能な構造とする。



4 階平面詳細図 S=1:30